

山伏山町文書目録

凡例

- ・山伏山町文書は、京都市中京区室町通蛸薬師下ルに位置する山伏山町が所蔵する合計 1616 点の文書目録である。
- ・袋・包紙などは、文書に付属して採用しているが、単体のものは個別に番号を付与した。
- ・表記は、原則として常用漢字を用い、常用漢字がないものは正字を用いた。ただし一部の仮名（江、茂）などはそのまま使用した。
- ・虫損などで文字が判読できない場合、字数が明らかなものは□で記し、字数が不明なものは〔 〕で表記した。
- ・番号は、箱 - 番号とす。筆筒内の文書は引出別に T 引出 - 番号、土蔵天井裏木札に付属する文書は○番号で表す。
- ・文書名は、原則として原題を採り、原題のみで内容がわからないものは（ ）で内容を補った。また、原題のないものは適宜文書名を付け〔 〕で記した。
- ・年月日は、原則として作成年代を採り、年月日が内容・干支などから推定できるものは（ ）で記した。記述がない時は「―」とした。
- ・差出・作成・宛名については、文書の表記の通りに記し、→で関係を補足した。押印がある場合は（印）、殿・様・御中などの敬称もそのまま記した。
- ・形式は、古文書学の形状分類により、近代文書で分類にあてはまらないものは適した名称を記した。
- ・備考で、文書の概要の他、一括状況や包紙・貼紙・端裏・奥書の有無とその記載内容、地名など上記で表せなかった内容を記載した。また D I -2・E-7 等の番号は、『史料 京都の歴史』第 9 巻中京区（京都市、平凡社、1985）掲載の目録番号である。

番号	文書名	年月日	差出・作成→宛名	形式	備考
1-1	千木秤員数改書	安政 5 年 2 月	年寄與兵衛・五人組源兵衛・同喜兵衛・彦兵衛他 1 名→	縦帳	店別に千木秤・皿秤・秤の数。1～12 こより一括。D I -2
1-2	〔会所普請勘定書〕	慶 応 2 寅 年 6 月 27 日	林幸助・土井与左衛門・七條左京→御年寄萬兵衛・五人御組中様・御町中	縦帳	E-7
1-3	貸渡申地向之事	嘉永 5 年 壬子 5 月	地主升屋治右衛門・受人若山屋又兵衛→枳屋甚兵衛	縦紙	枳屋の屋敷を 30 ヶ年貸付。屋敷地・貸地図。B-19
1-4	〔集会順席一覧〕	慶 応 2 年 寅 5 月 25 日	―	継紙	25 日鳥羽清席にて。D I -3
1-5	間取書書出候写	9 月 3 日	―	綴	山伏山町の屋敷間取・帖数。G-13
1-6	〔土地寸法図〕	―	―	絵図	室町通東側
1-7	町触	未 7 月	年寄・五人組→	継紙	葬式香典白銀 1 枚、通夜香典無用等。A-51
1-8	乍恐口上書	慶 応 元 丑 年 12 月	年寄万兵衛（印）・五人組源助（印）→御奉行様	縦帳	地藏堂・番部屋 7 月焼失、再建願、絵図、町ひかへ。C I -10
1-9	覚（代金受取証）	寅 8 月 20 日	菊水鉾町（印）→山伏山御町	切紙	教諭所戻シ金。B-176
1-10	覚（代金受取）	丑 12 月	天神山町（印）→山伏山御町	切紙	八組入用割、米 30 石割等。B-190
1-11	覚（金銭書上）	7 月	月当番善長寺町（印）→山伏山御町	切紙	御 朱 印・御 利 息 納 入 用。B-110
1-12	〔米切手頂戴、代銀受取書〕	慶 応 2 年 寅 6 月 15 日	山伏山町年寄源助・五人組孫兵衛・佐兵衛→	折紙	中西屋常太郎・三文字屋安兵衛等 11 名印。C I -12
1-13	一札（家屋敷売渡）	安政 3 辰 年 5 月 2 日	万屋利助（印）→山伏山町年寄源助殿	継紙	家屋敷 2 ヶ所。包紙「万り家町内へ買取直段取極メ候ニテ売渡候間違無之趣之一札」。13～93 こより一括。B-23

1-14	送り券之事	明治4末年8月	本上神明町年寄高野喜兵衛(印)→山伏山町年寄林幸助殿・御町中	竪紙	岩崎恒助、熊谷佐兵衛家へ借宅。包紙「送り券 本上神明町」。J-38
1-15	人別送券請取書	明治6年4月	本町通拾六町目戸長中村宗太郎(印)→山伏山町戸長山田弥兵衛(印)	竪紙	倅万助分家で中井嘉七引越。包紙「人別送券請取書 本町通拾六町 中井万助殿江」。J-63
1-16	送書之事	壬申(明治5)6月	綾小路通矢田町戸長服部小三郎(印)→山伏山町御戸長	竪紙	中塚重助娘たけ、松見栄助方へ嫁入。J-49
1-17-1	〔宗旨証書〕	明治6年10月	下寺町五条下ル無本寺長講堂(印)→	罫紙	太田源助一家が浄土宗。包紙「寺送り状 式通 太田源助」。17-1・2は包紙一括。J-71
1-17-2	〔宗旨証書〕	明治6年10月	下寺町五条下ル無本寺長講堂(印)→	罫紙	17-1に同じ。J-71
1-18	死後譲り御願	明治14年1月11日	戸主西村政助(印)→伍頭平田平七殿	罫紙	地所1ヶ所、建物6棟を養子の裕次郎へ。B-175
1-19	人別送り一札	明治元年辰11月	高倉通五條上ル町議事者年寄外之助(印)→議事者年寄孫兵衛殿	竪紙	香具屋てい、中西屋久右衛門方へ引取。包紙「人別送り一札香具屋てい」。J-14
1-20	家屋敷買請状之事	文久2戌年閏8月	買請人鍵屋卯兵衛(印)・買主近江屋佐兵衛(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組御町中	継紙	伊川屋きぬ所持の家屋敷1ヶ所。B-38
1-21	請取証	明治6年4月	大阪東大組第拾八区本町式丁目戸長小澤新六(印)→山伏山町戸長御中	罫紙	山田林兵衛の弟卯七、山田安兵衛の養子へ。「区长津山仙太郎(印)」。J-64
1-22	送籍之事	明治5年壬申6月	古門前通古西町戸長石田想七(印)→山伏山町戸長中井嘉七殿	一紙	和田宇之助従弟女子奈賀、坂田庄兵衛へ養娘。包紙「送籍状老通 丹後国中郡新治村戸長下川仙次郎」。25の包紙カ。J-48
1-23	証(祇園社修復)	弘化5申年2月	祇園一社中(印)・轅十町(印)・二帖半敷町・釘隠町(印)→山伏山町御年寄・御町中	竪紙	寄付金目録を社納。包紙「祇園社修復上納受取書 町中金十両 店中金三両二歩」。包紙裏面に絵図。DⅡ-6
1-24	人別送り一札	明治5年壬申11月20日	亀屋町戸長樋口保三郎(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿	竪紙	亀谷町倉留藤七、倉留みね方へ引取。包紙「送り券坂田庄三郎娘六月」。包紙違いカ。137 関連カ。J-51
1-25	送籍状之事	明治6年11月日	右村副戸長小北徳右衛門(印)・戸長下川仙治郎(印)→山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	丹後国新治村の中村長右衛門三男・徳次郎が中村忠兵衛方へ養子。J-74
1-26	人籍送り請取一札	明治4辛未年11月	大阪府下東大組百組式番上人町少年寄栗生与三兵衛(印)→山伏山町年寄中井嘉七殿	継紙	島田東吉郎弟・今三郎、津国屋三郎方へ養子。J-43
1-27	人別送一札	明治3庚午9月	上京廿七番組下白山町年寄安兵衛(印)→山伏山町年寄幸助殿	竪紙	綿屋佐七と家族が榎屋利兵衛宅へ借宅。J-25

1-28	送籍之事	明治7年6月	右町戸長岩田喜八(印)→山伏山町戸長下村忠兵衛殿	罫紙	祇園町北側長谷川浅娘・千代が山伏山町西村政介方へ引取。包紙「西村氏 受籍入」。J-77
1-29	〔苗字帯刀許可御断状〕	明治3年3月	大蔵省貨幣改方小田善衛門(印)→山伏山町年寄議事者佐兵衛殿	罫紙	明治2年に御用拝命。C I-25
1-30	御裏判請取書	明治元年辰9月	—	包紙	包紙「手洗水町一通」。紙背に、七條左京手代・助蔵の人別送り状
1-31	一札(身元引取)	明治3年庚午7月5日	大和屋佐兵衛(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿・御町中	罫紙	増田屋つぎが大和屋方へ。包紙「御断書 小田善左衛門」。包紙付札「当時東京在勤仕旅宿人別之儀ハ東京府御支配ニ御座候」箱1-29の包紙カ。B-101
1-32	引取証文	明治3年庚午2月	出引取升屋かつ(印)・請人銀紙屋五兵衛(印)・呉服渡世借主升屋源助(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿・家主近江屋佐兵衛殿	継紙	升屋源助が借宅。B-96
1-33	覚(人籍証請取)	慶応戊辰(4)9月3日	烏丸通(カ)錦小路上ル町年寄喜十郎(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・三条通烏丸西江入御倉町年寄嘉助殿	切紙	包紙「人籍送請取券 大坂東大組拾八区本町貳丁目」。B-79
1-34	一札(金子受取)	慶応3子(マ)年9月	笹屋吉兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿・御町中	切紙	近江屋藤次郎へ家屋敷売渡。B-71
1-35	一札	慶応3卯年7月	買受人笹屋利兵衛(印)・売主笹屋吉兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿五人組中	罫紙	近江屋藤次郎へ家屋敷売渡、屋敷の寸法。B-70
1-36	家屋舗買請状之事	慶応3卯年7月	買受人近江屋作太郎(印)・買主近江屋藤次郎(印)→山伏山町年寄源助殿五人組御町中	罫紙	笹屋吉兵衛家屋敷。B-69
1-37	譲状之事	明治4年辛未2月	譲主倉留(富カ)藤兵衛→山伏山町年寄林幸助殿・町中	罫紙	家屋敷1ヶ所、妹・みねへ。B-113
1-38	譲状之事	明治4末年3月	譲主榎本武兵衛(印)→山伏山町年寄林幸助殿町中	罫紙	家屋敷1ヶ所を息子・武三郎。B-115
1-39	譲状之事	明治3年庚午9月	譲主三文字屋こと(印)→山伏山町年寄幸助殿・町中	罫紙	家屋敷1ヶ所、息子・寅之助こと利兵衛へ。B-104
1-40	覚(借宅)	—	出引取升屋かつ・請人銀紙屋五兵衛・呉服渡世借主升屋源介→年寄近江屋佐兵衛殿・家主右同断	切紙	箱1-32の下書カ。近江屋佐兵衛は、八条防(坊)門大宮東入浄土宗知恩院末寺龍岸寺の旦那。B-184
1-41	覚(御裏印預かり)	嘉永3年正月25日	千本一条二本松町年寄庄助(印)→山伏山年寄源助殿・御町中	切紙	御裏印1通を拝見。B-14
1-42	〔宗門請状〕	—	—	切紙	呉服物渡世借主升屋源助は浄土宗知恩院末寺龍岸寺旦那。箱1-32に関連カ。B-185

1-43	人別請取券	—	東丸太町年寄作兵衛 (印) → 山伏山町年寄幸助殿	豎紙	石津発三郎と家族を加籍。J-34
1-44	寺請状之事	慶応 4 辰年 8 月	惣本山知恩院末四条大宮西入妙教院 (印) → 年寄・町中	豎紙	増田屋つさ、室町錦小路上ル町に借宅。J-12
1-45	地屋敷買請状之事	明治 2 巳年 3 月	買請人木津屋義助 (印)・買主川本屋久兵衛 (印) → 山伏山町議事者年寄孫兵衛殿・議事者佐兵衛殿・同幸助殿	豎紙	家屋敷 1 ケ所。B-85
1-46	譲状之事	明治 2 巳年 4 月 4 日	譲り主川出屋久兵衛 (印) → 山伏山町議事者年寄孫兵衛殿・町中	豎紙	家屋敷 1 ケ所を妻なか他 2 名へ。B-86
1-47	譲状之事	明治 3 年庚午 9 月	譲主三文字屋寅之助事利兵衛 (印) → 山伏山町年寄幸助殿・町中	豎紙	家屋敷 1 ケ所を母こと・姉たね兩人へ。B-105
1-48	借屋請状之事	明治 3 庚午年 2 月	請人銀紙屋五兵衛 (印)・引取升屋かつ (印)・借主呉服渡世升屋源助 (印) → 山伏山町年寄佐兵衛殿・御町中参	継紙	近江屋佐兵衛より借宅。B-95
1-49	譲状之事	明治 4 年辛未 2 月	譲主倉富みね (印) → 山伏山町年寄林幸助殿・町中	切紙	家屋敷 1 ケ所を伯父佐兵衛・叔母さき・町中へ。B-114
1-50	覚	明治元辰年 12 月 12 日	松原通玉津嶋町 (印) → 山伏山町年寄孫兵衛殿	切紙	近江屋與兵衛が大和屋うの方へ借家。包紙「請取書玉津嶋町」。J-13
1-51	一札	明治 3 庚午年 3 月	売受人堺屋与兵衛 (印)・売主枅屋仁兵衛 (印) → 山伏山町年寄佐兵衛殿・五人組御町中	豎紙	室町通所持の屋敷売渡。B-97
1-52	地屋敷買受状之事	明治 3 庚午年 3 月	買受人近江屋清兵衛 (印)・買主嶋屋武兵衛 (印) → 山伏山町年寄佐兵衛殿・五人組御町中	豎紙	枅屋仁兵衛所持の地屋敷 1 ケ所。B-98
1-53	覚 (寄付金請取)	明治 2 巳年 9 月	下京三拾番組年寄山中善兵衛 (印)・添年寄林彦一 (印) → 山伏山町御衆中	継紙	有志より小学校へ。包紙「明治二年巳九月 小学校有志寄附請取書 山伏山町」。E-9
1-54	送り一札之事	明治 3 午年 4 月	綾小路烏丸東入竹屋之町年寄清七 (印) → 山伏山町年寄佐兵衛殿	豎紙	松坂屋伊兵衛・嶋屋武兵衛、引越。包紙「町内入用書附」。J-20
1-55	一札	慶応 2 寅年 4 月	売受人千切屋武兵衛 (印)・売主柊屋源兵衛 (印) → 山伏山町年寄源助殿・五人組中	一紙	家屋敷を俵屋清兵衛へ売渡。包紙「借家請状信濃屋嘉助」。B-61
1-56	借家請状之事	慶応 4 歳辰 4 月	請人信濃屋茂兵衛 (印)・引取人枅屋平七 (印)・借り主信濃屋嘉助 (印) → 山伏山町年寄孫兵衛殿・御町中参	豎紙	山伏山町大坂屋半兵衛家を借用。B-75
1-57	引取証文	明治 2 年巳 10 月	引取權屋治兵衛 (印)・請人丹後屋万助 (印)・借主丹後屋忠兵衛 (印) → 年寄佐兵衛殿・家主俵屋新兵衛殿	継紙	包紙「一札 古来ヨリ帯刀由来書付 当時左京様文政五年五月御役所伺書写之 大仏師職七條左京・倅七條大学」。包紙は 62 のものカ。B-90
1-58	相続方頼之一札	文化 5 年戊辰 11 月	近江屋定次郎 (印)・母ふさ (印)・証人近江屋喜助 (印) → 年寄勘右衛門殿	豎紙	家屋敷を兄与兵衛より母へ譲渡。B-7

1-59	譲り状之事	文化 5 年辰 11 月 14 日	譲主近江屋ふさ(印)→山伏山町年寄勘右衛門殿・町中	縦紙	家屋敷、倅寅次郎こと与兵衛へ。B-5
1-60	譲り状之事	文化 5 年辰 11 月 14 日	譲主定次郎事近江屋与兵衛(印)→山伏山町年寄勘右衛門殿・町中	縦紙	家屋敷 1 ケ所を母ふさ・町中へ。B-6
1-61	一札之事	寛政 10 年戊午 7 月	買請人近江屋嘉助(印)・買主近江屋与兵衛(印)→山伏山町年寄伴兵衛殿・御町中	継紙	笹屋源兵衛所持の家屋敷 1 ケ所。包紙「近江屋与兵衛殿買得一札寺請合式通入寛政十年午七月廿七日 年寄伴兵衛」。B-4
1-62	一札	文政 5 年丑 5 月	法橋七條左京(印)→年寄久右衛門殿・御町中	切紙	日光宮様・御奉行様帯刀仰付。C I -4
1-63	一札	寛政 11 年未 9 月	大佛師職七條左京(印)・麩屋町二條上町請人大宮屋文吉(印)→山伏山町年寄伊兵衛殿・御町中	縦紙	七條左京、法眼位を願出書。C I -1
1-64	送り一札之事	慶応 4 辰年閏 4 月	富小路松原上ル町年寄政次郎(印)→年寄孫兵衛殿・五人組御町中	縦紙	蝶屋又兵衛借家の信濃屋嘉助、大坂屋半兵衛借家へ転居。J-11
1-65	引取一札	明治 3 庚午年 11 月	引渡人松居卯兵衛(印)・請人安田左七(印)・借主松居庄七→山伏山町年寄林屋幸助(印)・家主西村政助(印)	縦紙	B-108
1-66	覚(請取書)	嘉永 2 年酉 12 月 3 日	東江州神崎郡新村庄屋介治郎(印)→京都越後屋利右衛門殿	縦紙	御奉行様御表判 1 通。「墨付穢等無之」。B-13
1-67	地屋敷買請状之事	慶応 2 寅年 4 月	買受人升屋茂左衛門(印)・買主俵屋新兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組御町中	縦紙	包紙「売請状買請状町送り共明治三年三月 嶋屋武兵衛」。B-60
1-68	宗旨人別送り一札之事	文久元酉年 3 月	和州南都東大寺下野田村庄屋平六郎(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿	縦紙	柳屋新助同居の嘉蔵、堺屋七右衛門殿方に下人。包紙「宗旨人別送一札 南都野田村」。J-5
1-69	借屋請状之事	明治 2 年巳 10 月	請人丹後屋万助(印)・引取權屋治兵衛(印)・借主丹後屋忠兵衛(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿・御町中参	縦紙	俵屋新兵衛家に丹後屋忠兵衛が借家。包紙「借屋請状引取証文二通、越後屋専助借家桝屋佐七、七條左京証文入、安政六寅年十二月九日認」。B-89
1-70	〔将軍上洛拝礼等証文写〕	慶応 2 年寅 4 月	下古京巽組惣代上柳町年寄矢部太兵衛印・扇酒屋町年寄河南喜兵衛印・高橋町年寄上村太七印→下古京 7 組御衆中	縦紙	巽組支配下大佛 33 町組の惣代 1 人の御礼口上を許容。C I -11
1-71	借屋請状之事	明治 3 年 8 月 24 日	請人松屋安兵衛(印)・引取人菱屋浅次郎(印)・借屋津荷屋順輔(印)→山伏山町年寄銭屋幸助殿・御町中参	縦紙	銭屋幸助の家屋。B-102
1-72-1	送り券請取書	明治 4 年未 3 月 7 日	西洞院町年寄徳田清七(印)→山伏山町林孝助殿	包紙	倉富藤兵衛妹たねが村上五兵衛方へ養女。包紙。J-36
1-72-2	人別請取一札	明治 4 年辛未 3 月	請人廣田甚兵衛(印)・小山甚五郎(印)→山伏山町年寄林幸助殿	包紙	倉角藤兵衛の息子市太郎が小山甚五郎へ養子。J-37

1-72-3	請取之事	辛未(明治4)2月	葛野郡西院邸庄屋太田喜兵衛(印)→山伏山町年寄林幸助殿	包紙	太田清八の娘・加子が倉角藤兵衛に不縁、送籍。J-35
1-73	一札	元治元子年10月	売受人北国屋源右衛門(印)・売主亀屋彦兵衛(印)→山伏山町年寄万兵衛殿五人組町中	縦紙	地屋敷1ヶ所、土蔵1ヶ所。包紙「証」。B-42
1-74-1	一札(金銭受取)	元治元甲子年11月	亀屋彦兵衛(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組御町中	縦紙	奥書「子十一月 親類惣代濱口屋九兵衛(印)」。74-1・2一括
1-74-2	入置申証札之事	—	—	切紙	平松家家来として召抱。C I-8
1-75	借家請状之事	明治4年辛未正月	請人吉田利助(印)・引取人田中武助(印)・借主河田新助(印)→山伏山町年寄幸助殿・御町中参	継紙	田中利兵衛宅へ借宅。B-112
1-76	引取証文	明治4年辛未正月	引取人田中武助(印)・請人吉田利助(印)・借主河田新助(印)→山伏山町年寄林幸助殿・家主田中利兵衛殿	縦紙	田中利兵衛宅へ借宅。包紙「上」。B-111
1-77	乍恐奉伺上候	明治2庚午(ママ)年11月15日	年寄林幸助(印)・五人組頭熊谷佐兵衛(印)→京都御政府	縦紙	石津発三郎、平松家に召抱。箱1-79と関連。C I-20
1-78	借家請状之事	明治3庚午年12月	請人安田左七(印)・引取人松居卯兵衛(印)・借主松居庄七(印)→山伏山町年寄幸助殿・御町中参	縦紙	西村政助宅へ借宅。B-109
1-79	入置申証札之事	明治2庚午(ママ)年11月	石津発三郎(印)→御当役林幸助殿	縦紙	石津発三郎、平松家へ召抱。箱1-77と関連。C I-22
1-80	送り一札	明治2巳10月	坂東屋町(印)→山伏山町御年寄佐兵衛殿	切紙	嶋屋みね家へ借宅の丹後屋忠兵衛が引越。J-16
1-81	譲状之事	明治4辛未年3月	譲主万兵衛事平井万蔵(印)→山伏山町年寄林幸助殿・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所を倅・万助こと万兵衛へ。B-118
1-82	譲状之事	慶応2寅年10月24日	譲主俵屋新兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組町中	縦紙	屋敷1ヶ所を妻さよ・娘りう・同さかえへ。B-66
1-83	引取証文之事	明治3庚午年10月	引取人杉本長兵衛(印)・請人平田忠兵衛(印)・地借り主西村政助(印)→山伏山町御年寄幸助殿・地主発三郎殿	継紙	午10月～戌10月の5ヶ年。箱1-85と関連。B-106
1-84	引取証文	慶応4歳辰4月	引取人榊屋平七(印)・請人信濃屋茂兵衛(印)・借り主信濃屋喜助(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・家主大坂屋本兵衛殿	縦紙	包紙「引取証文信濃屋喜助」。B-76
1-85	借地請状之事	明治3庚午年10月	請人平田忠兵衛(印)・引取人松本長兵衛(印)・地借主西村政助(印)→山伏山町御年寄幸助殿・御町中	縦紙	箱1-83と関連。B107
1-86	寺請状之事	慶応4辰歳4月	本願寺御門跡末錦小路順照寺(印)→年寄・町中	縦紙	室町蛸薬師下ル大坂屋半兵衛借家の信濃屋嘉助。J-10
1-87	乍恐奉差上候一札(諸色高直)	明治元年辰12月	用人平六(印)→御年寄様・御役中様・御町中様	縦紙	包紙「上 平六」。C II-14
1-88	譲状之事	明治4辛未年3月	譲主万助事平井万兵衛(印)→山伏山町年寄林幸助殿・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所を父万蔵・妹しの・町中へ。B-119

1-89	地屋敷買請状之事	慶応2寅年正月	買請人丹後屋十蔵(印)・買主近江屋清次良(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組御町中	竪紙	桔梗屋ちか所持の地屋敷1ヶ所と土蔵1ヶ所。B-59
1-90	人別送状	丑11月	四条東洞院東入町年寄嘉助(印)→室町蛸薬師下町年寄万兵衛	竪紙	三文字屋源次郎が蛸薬師へ借宅。J-83
1-91	譲状之事	明治2年4月4日	譲主近江屋清次郎(印)→山伏山町年寄議事者源兵衛殿・議事者佐兵衛殿・同幸助殿	竪紙	家屋敷1ヶ所を兄政助・同猪三郎へ。B-87
1-92	受籍証	明治10年3月27日	小結棚町戸長邨田彦三郎(印)→同山伏山町戸長太田理助殿	一紙	松見永助・妻たけ・長男栄治郎転居。J-80
1-93	〔久右衛門荷物戻し、難渋一札〕	嘉永2年11月	笹屋五兵衛(印)・親類八文字屋勇祐(印)・中西道益後家せい(印)他1名→山伏山町御年寄源祐様・御町衆中様	継紙	前欠、裏書「明治七年八月十三日 伍頭立会検」。C I -5
1-94	差入申一札	明治6年7月8日	小田善右衛門(印)・証人小田七右衛門(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・御町中	竪紙	貸付銀受取。B-146
1-95-1	買得請合一札之事	明治8年2月11日	買請人安田太七(印)・買主平田平七(印)→山伏山町戸長岡田儀兵衛殿・組頭中西久右衛門殿・町中	罫紙	七条康教より屋敷1ヶ所、建家1ヶ所、土蔵1ヶ所。包紙「買得一札 売請一札 平田平七」。95-1・2は包紙一括
1-95-2	売請一札	明治8年2月11日	売請人北村助造(印)・売主七条康教(印)→山伏山町戸長岡田儀兵衛殿・組頭中西久右衛門殿・町中	罫紙	屋敷1ヶ所、建家1ヶ所、土蔵1ヶ所。包紙「買得一札 売請一札 平田平七」
1-96	奉拝借銀子之事	安政6未9月	平六(印)→御年寄様・御役中様・御町中様	竪紙	御町講銀より。C II -10
1-97	奉拝借証文之事	嘉永5子4月	用人平六(印)・妻ぬい(印)→御町中様	竪紙	C II -9
1-98	奉願口上書	文政11子年正月24日	町平六(印)・大津屋佐助(印)→御年寄様・御町中様	継紙	大津屋佐助大病。C II -5
1-99	覚(月々勘定)	卯3月	平六→	竪紙	元服様、子供衆等代金書上。C II -23
1-100	引取証文	明治4年末8月	引取人吉田喜平次(印)・請人堤喜兵衛(印)・借主吉村甚三郎(印)→山伏山町年寄林幸助殿・家主内藤源助殿	継紙	B-124
1-101	借屋請状之事	明治4未年8月	請人堤喜兵衛(印)・引取人吉田喜平次(印)・借り主吉村甚三郎(印)→山伏山町年寄林幸助殿・御町中参	竪紙	B-123
1-102	〔土地買取願書〕	—	買主杉本佐兵衛・買請人清水長兵衛・売主小田七右衛門・売受小田長兵衛→山伏山町「町中」(抹消)組頭熊谷佐兵衛殿町中	切紙	小田七右衛門所持の所内、杉本佐兵衛の土蔵付き分地。奥書に、地券1通、家1棟、物置1棟を借り入れの記載。坪数等表記の絵図
1-103	送籍証	明治7年5月	右町戸長杉本佐兵衛(印)→山伏山町戸長下村忠兵衛殿	包紙	包紙「上送り券 井上清兵衛」

1-104-1	代人証書	明治8年3月20日	小林万平(印)・証人中村忠兵衛(印)→山伏山町伍頭総代中西久右衛門殿・御町中	罫紙	実甥山本定光へ委任状。包紙「小林万平殿繁用候付代理相立代勤二付代人証書代理受書入」。104-1・2包紙一括。B-162
1-104-2	代理証書	明治8年3月20日	山本定光(印)・証人中村忠兵衛(印)→山伏山町伍頭総代中西久右衛門殿・御町中	罫紙	実叔父小林万平委任状。B-161
1-105	〔貨幣改所免職届〕	明治6年5月	小田善右衛門(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・御役中	罫紙	去1月27日付
1-106	借家請状之事	明治6年酉12月	請人安田太七(印)・引請人平田勘兵衛(印)・借主平田平七(印)→山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	七條康教宅へ借宅。B-154
1-107-1	借家引取請証書	明治7年10月27日	引取人金子惣兵衛(印)・請人澤田吉助(印)・借主金子喜次郎(印)→山伏山町伍頭中西久左衛門殿・家主中井嘉兵衛殿・御町中	冊子	包紙「借家引取請証書五百四拾七番屋敷之内1番屋敷 金子喜次郎」。107-1・2は包紙一括
1-107-2	〔田原源次郎借宅書付〕	—	—	切紙	—
1-108	引取証文	明治4辛未年8月	引取人田原宗右衛門(印)・請人清水清助(印)・借主田原源次郎(印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・家主中村範兵衛殿	罫紙	帯封「明治四年辛未十一月田原源次郎引取一札壱通」。B-130
1-109	乍恐歎願奉申上候口上	明治元年辰11月	用人平六(印)→御年寄様・御役中様・御町中様	罫紙	諸色高直、用人髪結賃値上願。C II -13
1-110	覚(白米返納証)	2月21日	糧米渡所(印)→室町通蛸薬師下ル町年寄へ	切紙	鈴木伴次郎その他残り
1-111-1	譲渡二付引請証之事	明治9年3月5日	譲主小林万平(印)・引受中村忠兵衛(印)→山伏山御町戸長中井嘉兵衛殿・伍頭林幸助殿	罫紙	土地、建屋2ヶ所、土蔵1ヶ所を甥山本定光へ。包紙「明治九丙子三月/小林万平殿お山本定光殿江譲り之節一札」。111-1～3は包紙一括。B-165
1-111-2	引取証書	明治7年5月1日	引取人市嶋久七(印)・請人松浦虎之助(印)・借主山田林兵衛(印)→山伏山町伍頭西村政助殿・家主中井新兵衛殿	罫紙	B-156
1-111-3	借家請証之事	明治7年5月1日	引取人市嶋久七(印)・松浦虎之助(印)・借主山田林兵衛(印)→山伏山町伍頭西村幸助殿・御町中参	罫紙	中井新兵衛宅へ借宅。B-157
1-112	乍恐奉誤一札	天保13年寅3月	平六(印)・証人佐助(印)・証人弥兵衛(印)→御年寄様・御町中様	罫紙	町の用向に仰付。C II -7

1-113	借屋請状之事	明治4 辛未年 8 月 朔日	請人澤田直七 (印)・引取人野 崎利三郎 (印)・借主岩崎恒助 (印)→山伏山町年寄林幸助殿・ 五人組頭并御町中	継紙	熊谷佐兵衛宅へ借家。B-121
1-114	引取証文	明治4 辛未年 8 月 朔日	引取人野崎利三郎 (印)・請人 澤田直七 (印)・借主岩崎恒助 (印)→山伏山町年寄林幸助殿・ 家主熊谷佐兵衛殿	継紙	B-122
1-115-1	銭屋幸助履歴	明治元年辰	銭屋幸助妻あい→	切紙	夫が嘉永2 年に上京、明治元 年に死去。J-15
1-115-2	口上	文久2 年戌9 月	→御役中	切紙	高倉通二条下ル町近江屋弥兵 衛方へ幾を遣わす。「明治元 辰廿式才 常盤屋與左衛門」
1-116	引取証文	明治6 年酉9 月	引取人小谷九兵衛 (印)・請人 熊谷佐兵衛 (印)・借主長谷川 又平 (印)→山伏山町戸長西村 政助殿・御町中	継紙	B-149
1-117	買得請合一札	明治10 年3 月12 日	買請人井上清兵衛 (印)・買主 今井善兵衛 (印)→山伏山町戸 長太田理輔殿・伍頭平田平七殿・ 町中	罫紙	山伏山町 553 番地の建物 6 棟
1-118	〔出生証明書〕	—	—	綴	「但州生野銀山 桜屋升蔵倅 政助」、文化子年7 月9 日に 若林屋庄兵衛誕生等、生国 や出生の証明。江戸後期か。 16 点綴
1-119	〔抱地屋敷改添証文〕	慶 応 元 丑 年 8 月 14 日	年寄万兵衛 (印)・五人組源助 (印)・同吉兵衛 (印) 他 1 名→ 御奉行様	継紙	升屋甚兵衛所持の屋敷改。抱 地 絵 図、箱 1-119 関連。C I -9
1-120-1	御請証	明 治 8 年 3 月 18 日	請人浅野又次郎 (印)→山伏山 町伍頭総代中西久右衛門殿・御 町中	冊子	町用人廃止。包紙「当町用人 廃止二付御請証書納并二御恵 金受証書入」。120-1・2 こよ り一括。C II -20
1-120-2	証	明治8 年3 月	請人浅野又次郎 (印)・佐々木 嘉七 (印)→山伏山町伍頭総代 中西久右衛門殿・御町中	冊子	高山竹次郎不和により送籍。 C II -21
1-121-1	御町中召送人請状之 事	明治6 年2 月	請人佐々木嘉七 (印)・引取人 浅野又次郎 (印)・高山竹次郎 (印)→山伏山御町戸長山田孫 兵衛殿・御町中	竪紙	明治9 年迄高山竹次郎、町用 人に召抱え。包紙「用人平六 退身竹次郎相続仕候二付・・・ 明治六年二月十一日」。121- 1・2 こより一括。C II -17
1-121-2	一札	明治6 年2 月	親高山平六 (印)・親類浅野又 次郎 (印)・同佐々木嘉七 (印)→ 山伏山御町戸長山田孫兵衛殿・ 御町中	竪紙	老年により勤めを息子・高山 竹次郎へ相続。C II -16
1-122	証 (金請取)	明治5 壬申年 7 月 8 日	長谷川清兵衛 (印)→山伏山御 町戸長中井嘉七殿	切紙	

1-123	証(中野万助の戸籍)	明治7年3月12日	上平野町戸長井上八郎兵衛(印)→山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	罫紙印字「無印紙証書用紙」 「京都府管下」
1-124-1	売請一札之事	明治7年戊1月	売請人川橋重蔵(印)・売主平井万蔵(印)→山伏山町戸長西村政助殿・町中	罫紙	家屋敷1ヶ所、土蔵1ヶ所を井上清兵衛へ。包紙「平井万蔵殿 売請一札」。124-1・2こより一括
1-124-2	人別送請取証書	明治7年1月10日	一蓮社町戸長桂重助(印)→山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	平井万蔵一家が借宅
1-125	差入申証書之事	明治6年12月	親類惣代川橋重蔵(印)・本人平井万兵衛(印)→山伏山町戸長西村政助殿・御町中	罫紙	発狂により相続不可、万蔵へ相続。罫紙印字「無印紙証書用紙」 「京都府管下」。包紙「一札 平井万兵衛」
1-126	送籍券	明治6年10月13日	戸長藤村弥次郎(印)→山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	太田源助一家が借住。包紙「上京三拾区橘町送り状一通太田源助」。J-71
1-127	証	明治8年8月30日	区長前田和助(印)・副区長下村忠兵衛(印)→山伏山御中	切紙	小学校建設への寄付。1銭の印紙。第3区役場印
1-128	売請一札	明治7年5月	売請人吉岡新助(印)・売主土橋清次郎(印)→山伏山町戸長下村忠兵衛殿・伍頭西村政助殿御中	罫紙	屋敷1ヶ所、建家1ヶ所、土蔵1ヶ所
1-129-1	売請一札	明治8年8月30日	売請人中井嘉兵衛(印)・売主中井新兵衛(印)→山伏山町戸長内藤源助殿・伍頭林幸助殿・町中	罫紙	屋敷・建家・土蔵各1ヶ所を古坂甚助へ。129-1・2こより一括
1-129-2	買得請負一札之事	明治8年8月30日	買請人吉岡卯兵衛(印)・元法然寺町(印)・買人古坂甚助(印)→山伏山町戸長内藤源助殿・伍頭林幸助殿・町中	罫紙	屋敷1ヶ所、建家1ヶ所、土蔵1ヶ所を古坂甚助へ
1-130	買得請合一札	明治9年12月8日	買請人内藤源助(印)・買主木邨嘉兵衛(印)→山伏山町戸長太田理助殿・伍頭熊谷佐兵衛殿・町中	罫紙	古坂甚助所持の土地1ヶ所。包紙「明治九 十二月八日木村嘉兵衛買得請人之一札」
1-131-1	買得請金一札	明治11年5月6日	買請人木村安兵衛(印)・売主津荷順輔(印)→山伏山町戸長岩尾徳兵衛殿・伍頭奥野与左衛門殿	罫紙	地所1ヶ所、建物1棟
1-131-2	買得請金一札	明治11年5月6日	買請人西村政助(印)・買主松井庄七(印)→山伏山町戸長岩尾徳兵衛殿・伍頭奥野与左衛門殿	罫紙	松本佑兵衛所持の地1ヶ所、建物1棟
1-132	相続之儀付御願	明治13年12月14日	西村政助(印)・兄西村左兵衛(印)→山伏山御町総代平田平七殿・御町中	罫紙	実子ではない祐次郎へ相続
1-133	買得請合一札之事	明治11年11月26日	買請人齋藤万助(印)・天神山町谷沢よし→山伏山町戸長上尾徳兵衛殿・伍頭奥野与左衛門殿・町中	罫紙	地所1ヶ所

1-134	引取証文	明治第6年10月7日	引取人岸本源六(印)・請人内田嘉七(印)・借り主太田源助(印)→山伏山町戸長西村政助殿・家主田中利兵衛殿	罫紙	包紙「借家請状田中利兵衛殿借家太田源助殿十月十七日」。J-71
1-135	差入申候一札之事	明治6年1月	引取人中井嘉兵衛(印)・請人小野清三郎(印)・借主中井嘉七(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・御町中	罫紙	開店準備金。包紙「請引取証文 中井嘉七」
1-136	〔書状〕	6月25日	和泉国船尾村小田助左衛門→山伏山町御町役御衆中様	継紙	善衛門家名。包紙「西京室町通山伏山町御町役御衆中様尊下御願用」。L-4
1-137	藤七加籍之儀二付入置一札	明治5年壬申11月	錦小路西洞院東入ル町井上佐兵衛(印)・西洞院松原上ル町村上五兵衛(印)→戸長山田孫兵衛殿・御町中	継紙	倉留みね方へ。包紙「井上佐兵衛 村上五兵衛」。J-52
1-138	〔屋敷間取り図〕	—	—	絵図	帖数・面積・土蔵1ヶ所。M-4
1-139	一札(家屋敷引き渡し)	安政6末年4月	山伏山町五人組桔梗屋孫兵衛(印)・同亀屋彦兵衛(印)・同枡屋万兵衛(印)他1名→年々寄近江屋与兵衛殿	継紙	端裏書「家持譲り御割印」、裏書「明治七年八月十三日伍頭立会検」。139～167こより一括。B-31
1-140	〔帯封〕	嘉永3戌10月14日	七條左京→町中へ	帯封	「死後ハ母かち」。B-15
1-141	〔帯封〕	12月	—	帯封	「□輪屋与左衛門譲り状」
1-142	〔帯封〕	慶応4年辰5月24日	—	帯封	「升田屋藤兵衛殿譲り状式通」。B-77
1-143	譲状之事	元治元年12月4日	譲主西村屋政助(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組町中	罫紙	地屋敷2ヶ所を妻そと他2名へ。帯封「西村屋政助子12月」。B-47
1-144	譲状之事	嘉永6丑年11月24日	譲主千切屋清兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組町中	罫紙	家屋敷1ヶ所を悞源助他3名へ。B-21
1-145	宗旨請状之事	元治元年子12月	本願寺御門跡御役寺黒門通下立売ル町盛林寺(印)→年寄・町中	罫紙	西村屋政助・妻。包紙「寺送り 西政」。J-9
1-146	地屋敷買受状之事	元治元子年11月	買受人小倉屋長兵衛(印)・買主西村屋政介(印)→山伏山町年寄万兵衛・五人組町中	継紙	地屋敷1ヶ所。包紙「譲り状二通 小林万平 中村忠兵衛壬申九月廿四日」。B-52
1-147	譲状之事	明治2巳年3月24日	譲主袋屋ひで(印)→山伏山町年寄議事者孫兵衛殿・議事者佐兵衛殿・同幸助殿	罫紙	家屋敷2ヶ所を甥太市郎・庄太郎へ。B-83
1-148	譲状之事	明治2巳年3月24日	譲主袋屋しま(印)→山伏山町年寄議事者孫兵衛殿・議事者佐兵衛殿・同幸助殿	罫紙	家屋敷2ヶ所を母ひでへ。包紙「袋屋ひで分 譲り状式通寺請状在中 明治二巳三月廿四日」。B-84
1-149	宗門人別寺請一札之事	嘉永5子年2月	惣本山知恩院門葉五条下寺町本覚寺知事(印)→年寄・町中	罫紙	枡屋萬兵衛と家内一統。帯封「嘉永五子二月四日 升屋万兵衛 死後ハ万之介、本家徳右衛門兩人へ」。J-1

1-150	譲状之事	慶応元丑年 8 月 4 日	譲主近江屋てい(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組町中	竪紙	家屋敷 1 ケ所を忒嘉兵衛・徳太郎へ。帯封に「近江屋嘉七」。B-57
1-151	家屋敷買請状之事	嘉永 4 亥年 12 月	買請人益田屋勘兵衛(印)・買主升屋万兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	竪紙	B-17
1-152	譲状之事	嘉永 5 子年 2 月 4 日	譲主升屋万兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	竪紙	家屋敷 1 ケ所、死後は忒万之助・本家升屋徳右衛門へ。B-18
1-153	譲状之事	慶応元丑年 8 月 4 日	譲主近江屋嘉七(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組・町中	竪紙	家屋敷 1 ケ所を、妻ていへ。B-58
1-154	譲状之事	慶応 2 寅年 10 月 24 日	譲主近江屋嘉七(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	竪紙	家屋敷 1 ケ所を、死後は妻てい・忒徳太郎へ。B-64
1-155	家屋敷買請状之事	文久 4 子年正月	買請人近江屋弥兵衛(印)・買主常盤屋与左衛門(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組・町中	継紙	B-40
1-156	譲状之事	慶応 2 寅年 10 月 24 日	譲主近江屋てい(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	竪紙	家屋敷 1 ケ所を夫嘉七へ。B-65
1-157	譲状之事	文久 2 戌年 8 月 24 日	譲主伊勢屋友次郎(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組・町中	竪紙	家屋敷 3 ケ所を、金助こと源助へ。帯封「伊勢屋源助死後は妻あい、忒友治郎、妹きの右三人へ相譲り」。B-35
1-158	升甚約定口書	子正月 4 日	枅屋甚兵衛→山伏山御町御年寄様・御役中様	継紙	家屋敷 1 ケ所の支払滞分、納入。C I -53
1-159	譲状之事	元治元子年 12 月 4 日	譲主常盤屋与左衛門(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組・町中	竪紙	地屋敷 1 ケ所、死後妻たま他 2 名へ。B-48
1-160-1	〔帯封〕	安政 4 巳年閏 5 月 4 日	—	帯封	「千切屋清兵衛死後、母とみ・兄清造右兩人江、此度改忒源助・忒源三郎・娘きの右三人へ」。160-1～3 帯一括。B-25
1-160-2	譲状之事	明治 2 巳年 10 月	譲主伊勢屋佐助(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿・町中	竪紙	屋敷 1 ケ所、死後は妻きし・忒松次郎へ。B-93
1-160-3	〔帯封〕	嘉永 6 丑年 11 月 24 日	—	帯封	「千切屋清兵死後ハ忒源助・同利兵衛・同人妻きの・姪ちか右四人江」B-21
1-161	譲状之事	文久 2 戌年 8 月 24 日	譲主金助事伊勢屋源助(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組・町中	竪紙	居宅家屋敷 3 ケ所を、死後は妻あい他 2 名へ。B-36
1-162	譲状之事	嘉永 3 戌年 10 月 14 日	譲主大仏師大弐事七條左京(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	竪紙	家屋敷、七條左京死後は、母かち・町中へ。B-15
1-163	一札	明治 2 己巳年 7 月	売受人近江屋清三郎(印)・売主近江屋嘉七(印)→山伏山町議事者年寄孫兵衛・議事者・御町中	切紙	近江屋嘉七所持地屋敷、伊勢屋源介へ売渡請状。B-88
1-164	譲状之事	明治 2 巳年 10 月	譲主伊勢屋源助(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿・町中	竪紙	地屋敷 1 ケ所伊勢屋佐吉へ。B-92

1-165	譲状之事	明治 5 年壬申 9 月	譲主中村忠兵衛→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・町中	縦紙	町家屋敷を中村忠兵衛の死後は、妻ふみ・町中へ。B-140
1-166	譲り状の事	明治 5 年壬申 9 月	譲主小林万平→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・町中	縦紙	家屋敷を甥中村忠平衛へ。包紙。B-141
1-167	同居一札	明治 5 壬申 10 月	請人吉岡万助(印)・引取吉岡利助(印)・同居人小林万平(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・御町中・家主中村忠兵衛殿	継紙	身元保証、政府の法度は遵守。B-143
1-168	地所融通分地の義二附約定書	明治 9 年 1 月	預主中西嘉兵衛(印)・伍頭原田六兵衛(印)・戸長小井嘉助(印)→山伏山町戸長中井嘉兵衛殿・伍頭林幸助殿・町中	一紙	中西嘉兵衛が買得分地、明治 10 年に地券を書換。C I -52
1-169	借屋請状之事	明治 4 年辛未 11 月	請人清水清助(印)・田原宗右衛門馬(印)・借主田原源次郎(印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・御町中江参	切紙	田原源次郎、身元保証。帯封「明治四年辛未十一月田原源次郎借家請状壱通」。B-131
1-170	引取証文	明治 4 年辛未 11 月	引取人梅原嘉助(印)・請人梅原善兵衛(印)・借主光嶋文助(印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・家主中村半兵衛殿	縦紙	中村半兵衛の借家を借宅。包紙「引取証文光嶋文助」
1-171	引取証文之事	明治 4 年未 11 月	引取人松見孫三郎(印)・請人中塚重助(印)・請主松見永助(印)→山伏山町年寄嘉七殿・家主榎本武兵衛殿	縦紙	松見永助が榎本武兵衛宅を借屋。B-129
1-172	証(祇園御旅所修復上納受取書)	万延元年庚申 9 月	祇園御旅寄進所月当番御旅町(印)→山伏山御町様	縦紙	金千疋寄進。包紙。D II -9
1-173	借屋請状之事	明治 4 歳辛未 11 月	請人北條重助(印)・引取人三谷源七(印)・借主奥村佐七(印)→山伏山町年寄嘉七殿・御町中参	継紙	西利兵衛家に奥村佐七借家。B-127
1-174	引取証文	明治 4 歳辛未 11 月	引取人三谷源七(印)・請人北條重助(印)・借主奥村佐七(印)→山伏山町年寄嘉七殿・家主長西利兵衛殿	継紙	長西利兵衛借屋、奥村佐七借宅。B-128
1-175	〔町中所持家券状〕	明治 8 年 10 月	下京第三区長下村忠兵衛(印)・同副区長川北喜兵衛(印)・同戸長内藤源助(印)→滋賀県管轄庄屋土田詮良(印)→山伏山町戸長中井嘉七殿	一紙	山伏山町 542 番地の家作・物置・土蔵の建坪と土地代金。裏面に配置図。G-11
1-176	人別送り券之事	明治 5 壬申 4 月	滋賀県管轄庄屋土田詮良(印)→山伏山町戸長中井嘉七殿	縦紙	近江国甲賀郡倉治村農民土田主司娘はるを町内倉谷佐助方へ縁付。J-46
1-177	送り籍之事	明治 4 年辛未 10 月	右村(近江栗太郡橋本村)年寄政次郎(印)・庄屋善太郎(印)→山伏山町年寄中井嘉七様	縦紙	近州栗太郡橋本村平松又兵衛娘しう、坂田庄兵衛と縁組。包紙「送り券 坂田庄兵衛妻之分」。J-41
1-178	〔建物売渡請状〕	明治 9 年 5 月 15 日	売主林幸助(印)→山伏山町御町中・伍頭熊谷佐兵衛殿	縦紙	553 番地主屋、土蔵等の建物 4 ヶ所の配置図。奥書に戸長中井嘉兵衛(印)。B-167

1-179	借屋請状之事	明治4年辛未11月	請人梅原善兵衛(印)・佛具屋町五条上ル町引受人梅原嘉助(印)・借主光嶋文助(印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・御町中参	切紙	光嶋文助、中村半兵衛に借屋、身元保証。包紙。包紙「借家請状 光嶋文助」
1-180	乍恐奉歎願口上書	明治元辰年10月	当院庄兵衛(印)→御旦那様	切紙	諸色高値、一軒前32文御助成。C II -12
1-181	就御尋口上書	慶応元丑年8月14日	室町錦小路上町年寄万兵衛(印)・五人組源助(印)・同吉兵衛(印)・同孫兵衛(印)→御奉行様	竪紙	抱地屋敷改め、借受金返済遅滞、箱1-119関連。C I -9
1-182	借家請状之事	明治6年6月	引取人少将井御旅町山下甚蔵(印)・請人清水町奥村藤五郎(印)・借主三井三郎助へ通勤山崎甚五郎(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・御町中	冊子	山伏山町石津初三郎宅へ山崎甚五郎借屋。後半に引取証文。
1-183	御拝借品書	明治4辛未10月2日	山伏山町松居庄七・年寄中居嘉七・五人組頭山田孫兵衛他3名→京都御政府	竪帳	庄七所持の建家と家財諸道具等33点町役預かり。183～194こより一括。C I -30
1-184	御拝借品書	—	松屋庄七印・年寄印・五人組印・町中惣代印→	竪紙	建屋・家財書道具拝借。下書カ。C I -45
1-185	乍恐口上書	辛未年10月7日	山伏山町西村政助・松井庄七・年寄中井嘉七→京都府御庁	竪帳	尾上彦太郎からの借入金返済。諸道具封印解き。C I -34
1-186	乍恐済状奉差上候	明治4辛未10月20日	山伏山町願方西村政助・松居庄七・年寄中井嘉七他7人→京都府御庁	竪帳	松井庄七、小山平兵衛他二人相手取り呉服代金御滞り。C I -36
1-187	御請書	辛未10月	山伏山町松居庄七・年寄中井嘉七・五人組頭山田孫兵衛・町中惣代林幸助→	竪紙	松居庄七所持の家財道具差押え、本日解除。C I -37
1-188	乍恐口上書	明治4年未年8月	倉留みね(印)・年寄林幸助(印)・五人頭中西久右衛門(印)→御政府	竪紙	伯父藤七召捕えにより食物・金子等差入れ。C I -29
1-189	乍恐口上書	明治4年未年10月15日	倉留みね同居つき(印)・年寄中井嘉七(印)・五人頭倉谷佐助(印)→御政府	竪紙	つきの兄藤七召捕えられ、綿入・食物料差入れ。C I -35
1-190	乍恐奉願上口上書	明治4年辛未8月	倉留みね(印)・年寄林幸助(印)・五人頭中西久右衛門(印)→御政府	竪帳	兄藤兵衛借財多分、みね名跡のうえ、親族相寄り渡世。C I -28
1-191	御附立品書	—	山伏山町松居正七→	竪帳	屋敷の表口、奥行、家財道具等書上。C I -44
1-192	御附立品書	明治4辛未10月2日	山伏山町西村政助→京都御政府	竪帳	屋敷の表口、奥行、家財道具等書上。C I -32
1-193	〔家財道具封印届〕	明治4辛未10月2日	山伏山町年寄中井嘉七・五人組・町中惣代何印→京都御政府	竪紙	家財道具封印。中年寄、添年寄の奥書。C I -31
1-194	御附建品書	明治4年辛未10月2日	山伏山町松居庄七→京都御政府	竪帳	建家2階付、物入納家、便所や家財等33点書上。C I -33
1-195	〔金上納通達写〕	2月13日	—	一紙	御親征、徳川貸下げ金上納。A-55

1-196-1	譲状之事	明治6年7月14日	譲主小田七右衛門(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・町中	縦紙	建家・土蔵各1ヶ所、死後母むめ他4名へ。包紙「明治六年七月十四譲状一通死後譲状一通」。196-1・2包紙一括。B-147
1-196-2	譲状之事	明治6年7月14日	譲主小田善右衛門(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・町中	縦紙	建家・土蔵各1ヶ所、従弟七右衛門へ。包紙「明治六年七月十四日譲り状一通小田善右衛門死後譲状1通小田七右衛門」。B-148
1-197-1	人別送券之事	明治6年7月20日	衣棚通三条上ル突抜町戸長丹羽伊兵衛(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿	罫紙	山崎甚五郎・母・妻・長男、発三郎方借宅。包紙「送籍上京第廿八区 突抜町」。帯「借家譲状并に寺送り入町送籍明治六年六月石津発三郎借家山崎甚五郎分」
1-197-2	〔寺送り状〕	明治6年酉6月	油小路御池上ル照円寺(印)→	罫紙	山崎甚五郎、真宗信徒
1-198	請状之事	明治4年末11月	請人中塚重助(印)・引取人松見弥三郎(印)・借主同永助(印)→山伏山町年寄嘉七殿・御町中参	縦紙	山伏山町の榎本武兵衛宅に松見永助、借家。B-129
1-199	口上一札	明治6年6月	小田善右衛門→山伏山町御戸長山田孫兵衛殿・御町中	縦紙	小田善右衛門引越し、居住地同家七右衛門に譲渡。B-145
1-200	証(金預かり)	明治6年12月24日	山伏山町(印)・戸長西村政助・五人頭中西久右衛門・同内藤源助→常盤村法雲院殿・臨応殿	縦紙	入用の際返済。B-153
1-201-1	引取証文	明治7年12月4日	引取人加藤小兵衛(印)・請人池田佐七郎(印)・借主鴻斎久兵衛(印)→山伏山町伍頭中西久右衛門殿・家主熊谷佐兵衛殿	冊子	鴻斎借宅。包紙「引取請証書鴻斎久兵衛」。201-1・2包紙一括。B-159
1-201-2	借家請状之事	明治7年12月4日	引取人加藤小兵衛(印)・請人池田佐七郎(印)・借主鴻斎久兵衛(印)→山伏山町伍頭中西久右衛門殿・家主熊谷佐兵衛殿	冊子	宗旨・府令順守・博打遊女置かず等の5箇条の請文。寺請状別紙。B-160
1-202-1	借家請状之事	明治4年辛未12月	請人川勝喜兵衛(印)・引取人和田宗兵衛(印)・地借主坂田庄兵衛(印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・御町中	罫紙	坂田庄兵衛、石津発三郎地面地借り。包紙「請状 一通坂田庄兵衛」。202-1・2包紙一括
1-202-2	引取証文	明治4年辛未12月	引取人和田宗兵衛(印)・請人川勝喜兵衛(印)・地借主坂田庄兵衛(印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・地主石津発三郎殿	罫紙	坂田庄兵衛身元引受。包紙「請状 一通 坂田庄兵衛」
1-203-1	譲状之事	明治5年壬申8月	譲主中井嘉兵衛(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所、死後父嘉七他2名へ。包紙。203～252こより一括。B-138
1-203-2	譲状之事	明治5年壬申8月	譲主中井嘉七(印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所、死後倅嘉兵衛へ。B-139
1-204-1	譲状之事	慶応4辰年5月	譲り主増田なを(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組・町中	縦紙	屋敷、孫藤兵衛へ。包紙「譲り状増田屋藤兵衛式通」。B-77

1-204-2	譲状之事	慶応4辰年5月	譲主常三郎事増田屋藤兵衛(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組・町中	縦紙	死後屋敷、母つる・妹みねへ。包紙「譲り状増田屋藤兵衛式通」。B-78
1-205	一札	元治元年11月	売請人大阪屋半次郎(印)・売主大阪屋たみ(印)・証人倅亀三郎(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組・町中	縦紙	銭屋幸助へ地屋敷。B-44
1-206	地屋敷買請状之事	元治元子年	買受人麴屋忠三郎(印)・買主銭屋幸助(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組中	継紙	大坂屋たみ所持。B-45
1-207	譲状之事	嘉永3戌年10月14日	譲主中西屋太郎(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	縦紙	死後屋敷、祖母せんと母まさ并町中へ。B-16カ
1-208	譲状之事	元治元子年12月4日	譲り主銭屋幸助(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組・町中	縦紙	死後屋敷を妻あい他2名へ。B-46
1-209	譲状之事	安政4巳年9月4日	譲主石津発三郎(印)→山伏山町年寄与兵衛殿・五人組・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所、死後母きく他2名へ、包紙。209・210こより一括。B-27
1-210	譲状之事	安政4巳年9月4日	譲主石津八左衛門後家きく(印)→山伏山町年寄与兵衛殿・五人組・町中	縦紙	石津屋きく所持家屋敷1ヶ所、倅発三郎へ。B-28
1-211	譲状之事	安政4巳年9月4日	譲主舩田屋藤次郎(印)→山伏山町年寄与兵衛殿・五人組・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所、死後祖母なを他3名へ。B-29
1-212	譲状之事	安政4巳年9月4日	譲主舩田屋なを(印)・同娘つる(印)→山伏山町年寄与兵衛殿・五人組・町中	縦紙	舩田屋なを・娘つる・孫藤次郎所持の家屋敷1ヶ所、藤次郎1人所持に。B-30
1-213	譲状之事	天保13寅年8月4日	譲主専蔵事越後屋周蔵(印)→山伏山町年寄彦兵衛殿・五人組・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所、死後母つや・妹ゆきへ。B-11
1-214	譲状之事	文久2戌年3月14日	譲主清兵衛事禅門千切屋道応(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組・町中	縦紙	安政4年閏5月4日、死後家屋敷1ヶ所、倅源助他2名への譲渡約定訂正、清兵衛へ。B-32
1-215	譲状之事	文久2戌年3月14日	譲主清兵衛事禅門千切屋道応(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組・町中	縦紙	嘉永6年11月24日、死後家屋敷1ヶ所、倅源助他3名への譲渡約定訂正し、源助事清兵衛へ。B-33
1-216	譲状之事	文久2戌年3月14日	譲主源助事千切屋清兵衛(印)→山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組・町中	縦紙	家屋敷2カ所、死後父道応他3名へ。B-34
1-217	譲状之事	慶応元丑年8月4日	譲主近江屋嘉兵衛(印)→山伏山町年寄万兵衛殿・五人組・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所、死後、弟徳太郎へ。B-56
1-218	譲状之事	慶応3卯年10月	譲主近江屋嘉七(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	縦紙	家屋敷2ヶ所、死後妻てい他2名へ。B-72
1-219	譲状之事	慶応3卯年10月	譲主近江屋嘉兵衛(印)→山伏山町年寄源助殿・五人組・町中	縦紙	近江屋嘉兵衛所持の家屋敷2ヶ所、父嘉七へ。B-73
1-220	譲状之事	明治3午年3月	譲主千栴屋利兵衛(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所を妻きの、死後倅由太郎へ。B-99
1-221	譲状之事	明治3午年3月	譲主千切屋清兵衛(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿・町中	縦紙	家屋敷1ヶ所を、姉婿千栴屋利兵衛へ。B-100

1-222	譲状之事	慶 応 3 卯 年 3 月 14 日	譲主小田善右衛門後家くめ事尼 貞栄(印)→山伏山町年寄源助 殿・五人組・町中	竪紙	地屋敷 2 ケ所、孫卯之吉こと 善右衛門へ。B-67
1-223	譲状之事	慶 応 3 卯 年 3 月 14 日	譲主卯之吉事小田善右衛門 (印)→山伏山町年寄源助殿・ 五人組・町中	竪紙	地屋敷 2 ケ所、死後、祖母く めこと貞栄他 2 名へ。B-68
1-224	地屋敷買請状之事	元治 2 年乙丑正月	買受人吉文字屋次左衛門(印)・ 買主近江屋儀兵衛(印)→山伏 山町年寄万兵衛殿・五人組・御 町中	竪紙	町中所持地屋敷 1 ケ所。儀兵 衛宗旨代々浄土宗。帯封「近 江屋儀兵衛譲り状 丑二月廿 四日」225 のものカ。B-53
1-225	譲状之事	元 治 2 丑 年 2 月 24 日	譲主近江屋儀兵衛(印)→山伏 山町年寄万兵衛殿・五人組・町 中	竪紙	死後、家屋敷 1 ケ所を妻きぬ・ 娘ちよ兩人へ。B-54
1-226	〔帯封〕	嘉 永 2 酉 年 8 月 14 日	一	帯封	「小田くめ死後ハ、母貞義・ 倅善之助・娘糸い右三人へ」。 227 関連カ。B-12
1-227	譲状之事	嘉 永 2 酉 年 8 月 14 日	譲主小田善右衛門後家くめ (印)→山伏山町年寄源助殿・ 五人組・御町中	竪紙	くめ死後家屋敷母他 2 名へ。 B-12
1-228	一札	元治元子年 12 月	買受人桔梗屋甚助(印)・買主 桔梗屋孫兵衛(印)→山伏山町 年寄万兵衛殿・五人組・町中	竪紙	B-49
1-229	地屋敷買請状之事	元治元子年 12 月	買受人桔梗屋勘兵衛(印)・買 主桔梗屋ちか(印)→山伏山町 年寄万兵衛殿・五人組・御町中	竪紙	地屋敷 1 ケ所、土蔵 1 ケ所。 B-50
1-230	譲状之事	元 治 2 丑 年 2 月 24 日	譲主桔梗屋孫兵衛(印)→山伏 山町年寄万兵衛殿・五人組・町 中	竪紙	地屋敷 2 ケ所、死後父孫七他 2 名へ。B-55
1-231	地屋敷買請状之事	元治元子年 12 月	買請人桔梗屋甚助(印)・桔梗 屋孫兵衛(印)→山伏山町年寄 万兵衛殿・五人組・御町中	竪紙	桔梗屋やえ所持地屋敷 2 ケ 所。B-51
1-232	譲状之事	明治 2 巳年 10 月	近江屋藤次郎(印)→山伏山町 年寄佐兵衛殿・町中	竪紙	家屋敷 1 ケ所、死後父藤兵衛・ 兄藤七へ。B-91
1-233-1	譲状之事	明 治 2 巳 年 3 月 24 日	譲主中西屋久右衛門(印)→山 伏山町年寄議事者孫兵衛・議事 者佐兵衛殿・同幸助殿	竪紙	屋敷、伯父幸助へ。包紙「中 西屋久右衛門分譲り状式通」。 B-81
1-233-2	譲状之事	明 治 2 巳 年 3 月 24 日	譲主中西屋幸助(印)→山伏山 町年寄議事者孫兵衛・議事者佐 兵衛殿・同幸助殿	竪紙	死後、屋敷甥幸助・町中へ。 包紙「中西屋久右衛門分譲り 状式通」。B-82
1-234	家屋敷買請証文之事	嘉永 6 年 11 月	買請人穀屋太兵衛(印)・買主 千切屋清兵衛(印)→山伏山町 年寄源助殿・五人組・御町中	竪紙	三井八郎右衛門地屋敷。B-22
1-235	譲状之事	安政 4 巳年閏 5 月 4 日	譲主千切屋清兵衛(印)→山伏 山町年寄与兵衛殿・五人組・町 中	竪紙	死後屋敷譲り先を母みと兄清 造から倅深助、深三郎娘さの 3 人へ。B-25
1-236	永代申家屋敷之事	明 和 4 年 亥 年 11 月	売主寅吉事万屋利助(印)・吹 挙人亀屋嘉兵衛(印)・七条新 地二之宮町買受人晒屋年寄源助 (印)→年寄源助殿・五人組・ 町中	継紙	「家屋敷之事」(明和 4 年 11 月)「永代申家屋敷之事」(安 永 3 年 8 月 21 日)・「永代申 家屋敷之事」(文政 11 年 3 月)3 通の手継ぎ証文。B-2

1-237	引取証文之事	明治3年 午8月 24日	引取人菱屋浅次郎(印)・請人 松屋安兵衛(印)・借主津荷屋 順輔(印)→山伏山町年寄銭屋 幸助殿・御町中参	竪紙	津荷屋順輔借宅。B-103
1-238	送り一札	明治3年9月	鶏鈴町年寄猪兵衛(印)カ→山 伏山町年寄幸助殿	竪紙	津荷屋順輔、借宅。J-24
1-239	宗門請状	文久2 辛酉年5月	本御門跡正院家堀川七条上ル角 性応寺役者(印)→年寄・町中	竪紙	室町通錦小路上ル小田方同居 の堺屋七右衛門、妻当院門徒。 J-7
1-240	地屋敷買得請負証文 之事	明治2 巳年11月	買受人近江屋忠兵衛・買主名年 寄近江屋佐兵衛→山伏山町五人 組頭幸助殿・同嘉七殿・町中	竪紙	B-94
1-241	借地請状之事	慶応2 寅年5月	受人絹屋幸助(印)・引取人一 文字屋半兵衛(印)・借主同源 助(印)→山伏山町年寄源助殿・ 御町中参	継紙	俵屋新兵衛より借地の一文字 屋源助、屋敷新築。地料支払 い、新兵衛宗旨。243 関連。 B-63
1-242	送り一札之事	文久元年10月	烏丸高辻上ル大政所町年寄甚助 (印)→年寄孫兵衛殿	切紙	美濃屋友七、千切屋清兵衛借 家へ宅替え、宗旨送。J-6
1-243	引取証文	慶応2 寅年5月	引取人一文字屋半兵衛(印)・ 請人絹屋幸助(印)・借主一 文字屋源助(印)→山伏山町年寄 源助殿・地主俵屋新兵衛殿	竪紙	俵屋新兵衛地面を借り、一 文字屋源助が家を建て住む、 241 関連。B-62
1-244	人別送り之事	文久2 戌年6月	四条通室町東入町年寄吉兵衛 (印)→年寄孫兵衛殿	竪紙	沼津屋宇右衛の借家に鍵屋市 兵衛が転宅。包紙「送り状 鍵屋市兵衛」。J -8
1-245	借用中銀子之事	天保4 年巳7月	借り主銭屋半右衛門(印)・同 母もよ(印)・岡松屋源兵衛(印)・ 江州彦根炭屋伊右衛門(印)→ 山伏山町年寄彦兵衛殿・御町中	継紙	包紙裏面、暑中見舞い。包紙 「銭屋半右衛門かしつけ崩し 証文一通、天保四年巳七月□ 改メ、年寄彦兵衛殿年寄彦兵 衛」。B-10
1-246	家屋敷買得請合証文 之事	安政4 巳年5月	不明門五条上町買請人亀屋吉兵 衛(印)・買主近江屋嘉七(印)→ 山伏山町年寄與兵衛殿・五人組・ 御町中	竪紙	帯封「近江屋嘉七殿買受一札 不明門五条上ル亀屋吉兵衛」。 B-26
1-247	一札	安政3 年5月	借り主万屋利介(印)・七条新 地二ノ宮町受人晒屋源次郎→山 伏山町年寄源助殿・五人組・町 中	継紙	抱屋敷3ヶ所取込、借用。借 地図面、朱書「貸地」・「カリ 地」2ヶ所。B-24
1-248	人別送り之事	万延2 年酉2月	間之町五条下ル大津町年寄治兵 衛(印)→山伏山町御年寄・御 町中江	竪紙	大津町居住の増屋七右衛門、 引越。J-4
1-249	送り手形之事	万延2 年酉2月	竹屋町通高倉東入和久屋町年寄 重兵衛(印)→山伏山町御年寄 孫兵衛殿	竪紙	和久屋町居住山城屋武兵衛、 千切屋清兵衛に借宅。J-3

1-250	家屋敷之事	明和 4 亥年 11 月	持主万屋嘉右衛門 (印)・年寄白粉屋久兵衛 (印)・五人組亀屋八郎右衛門 (印) 他 2 名→	継紙	宝暦 5 年家城氏より万屋嘉右衛門買得の沽券改に安永 3 年丹波屋六右衛門へ売渡、文政 11 年万屋利助へ、安政 3 年町中へ、手継証文 4 通。包紙。B-1orB-3
1-251-1	〔常帯刀覚雛形〕	—	年寄印・五人組印→当町大仏師職七條左京	縦紙	左京、帯刀身分証。包紙「日光宮様帯刀之儀七條左京書付入」。C I -55
1-251-2	口上覚	巳 4 月	法眼七條左京→	縦紙	寛政 5 丑年家督相続。包紙「日光宮様帯刀之儀七條左京書付入」。J-82
1-252	七條左京先例常帯刀御請書案文	4 月	大仏師職法橋七條左京→	横帳	宝暦 9 年山門由緒帯刀願。C I -55
2-1	借宅者町則	明治 34 年 6 月	堀江ふみ・六鹿清次・山田音吉他 9 人→	縦帳	町内移住者へ。A-50
2-2	乍恐済状	文 政 2 年 卯 5 月 10 日	近江屋喜助 (印)・煩二付代母さよ (印)・年寄惣助 (印) 他 8 名→御奉行様	継紙	近江屋与兵衛死後相続取次、位牌取次。包紙「まつゝ当町中へ得買御判返上古沽券三通并得買相違無之一札」(包紙と中身が相違、3 の包紙力)。CI-3
2-3	家屋舗之事	明和 4 年亥 11 月	持主中村屋利兵衛 (印)・年寄白粉屋久兵衛 (印)・五人組亀屋八郎右衛門 (印) 他 4 名→	継紙	家屋敷売渡証文 4 通貼り継ぎ (明和 4 年・安永 7 年・文政 11 年・安政 3 年)。B-1orB-3
2-4-1	〔聖護院御宮袈裟寄進状〕	天保 12 年丑 6 月	山伏山町→	縦帳	包紙「聖護院御宮様御寄附薄紫色総結袈裟右御免除老通下候諸願入」「年寄平兵衛・五人組久右衛門・源助・利右衛門・老分彦兵衛」。D II -4・N-4
2-4-2	〔寄進状〕	天 保 12 年 6 月 3 日	岩坊 (花押)・雑務 (花押)・師 (花押) →山伏山町中	折紙	浄蔵貴所袈裟寄附。包紙「室町蛸薬師下ル山伏山町中」。D II -3
2-5	議事者江御下文ノ写	明治元年 10 月	山伏山町→	縦帳	町会議、定儀。A-12
2-6	〔京都府達写〕	11 月	京都府→	綴	御仁政。A-70
2-7	奉伺候御封印附二相成居候義二付	辛未(明治4)12月 23日	山伏山町年寄中井嘉七 (印)・五人組頭山田孫兵衛 (印)・町中惣代熊谷佐兵衛 (印) →京都府御一庁	綴	奥野与左衛門家財道具掃除等伺。CI-43
2-8	寄留人名録并二毎月書抜控	明治元～6 年	山伏山町→	縦帳	「町控」「当時不用」、府内外の区別。J-18
2-9	山町参会諸事控 当番山伏山町	万延元申 5 月 7 日	先役興兵衛・年寄孫兵衛・五人組彦兵衛・同万兵衛→	横帳	祇園祭新調品、借用品目録、閑阿弥での参会入用、費用負担書上。D II - 8
2-10-1	新調もの	万延元年 6 月	—	一紙	まんちう・竈札蠟そく等書上。袋「山町参会 / 当番相勤候 / 諸書附入 / 山伏山町」10-1～4 袋一括。D II -7
2-10-2	覚	—	—	綴	参会諸費用 10 通。D II -7

山伏山町文書目録

2-10-3	〔参会準備品覚〕	—	—	一紙	御神酒、小鉢、八寸等。D II -7
2-10-4	五月七日御献立	5 月 7 日	—	一紙	D II -7
2-11	古京八組町之図	—	—	地図	袋「中之組九町組当町江覚山伏山町」、祇園祭山鉾町。M-2
2-12	〔七條左京由緒書〕	明治元辰年 10 月	山伏山町年寄孫兵衛 (印) →京都御府	縦帳	下書。CI-13
2-13	乍恐御届ケ奉申上候上書	—	—	一紙	西村屋政介呉服類を買入れ
2-14	〔触書控〕	2 月	行政官・京都府→	一紙	天皇東幸。A-56
2-15	〔京都府達写〕	正月	京都府→	綴	出版、衛生、扶持家来の入京等。A-54
2-16	〔触書町中連印書〕	慶応 4 年 6 月	西村屋政助 (印)・近江屋与兵衛 (印)・近江屋佐兵衛 (印) →御役人中	綴	不審者、帯刀者宿借禁止。A-3
2-17	〔町組運営府達書〕	12 月	京都府→	縦帳	諸町組町集会。A-73
2-18	〔布告調印書〕	辛未 (明治 4) 9 月	町役→平井万兵衛 (印)・大橋清次郎 (印)・内藤源助 (印) 他 26 名連印	縦帳	未 9 月、光嶋文助による器物類所持覚書。A29
2-19	町組五人組仕法	慶応 4 年辰 7 月	京都府→	縦帳	上京下京諸支配変更。A-5
2-20	〔京都府達写〕	明治元辰年 9 月	—	綴	五人組、博奕。A-7
2-21	〔京都府達写〕	正月	京都府→御年寄	縦帳	浮浪の者の取り扱い。A-52
2-22	〔町組改正触書写〕	慶応 4 辰年月	→何御組御年寄衆中様	縦帳	町代召抱役所出勤等。C II -11
2-23	〔京都府達写〕	6 月	京都府→	一紙	私鑄貨幣取締。A- 63or64
2-24	〔京都府達写〕	11 月 23 日	京都府→	綴	酒造株等廃止。A-13
2-25	町役心得條目	明治 2 年己巳 3 月	京都府→	縦帳	大年寄、中年寄、町年寄の職務規定書。町年寄孫兵衛写す。A-26
2-26	〔淀川堤防等京都府達〕	11 月	京都府→山城国中社寺共	縦帳	治河使設置。A-68
2-27	買得之節認もの御断書	己 (明治 2 カ) 3 月	何町年寄誰・議事者誰・何屋誰 →京都御政府	縦紙	家屋敷買得御断書雛形。B-187
2-28	作事買物帳	明治 8 年 4 月	山伏山町→	横帳	針金、材木等の買物帳
2-29	〔中西屋久衛門家屋敷譲状〕	明 治 2 己 年 3 月 24 日	山伏山町議事者孫兵衛・同佐兵衛・讓主中西屋九衛門→京都御政府	縦紙	中西屋久衛門所持家屋敷伯父幸助へ。中西屋幸助の譲状。B-81
2-30	〔贖金所持之者取調帳〕	明治 2 年 8 月	山伏山町年寄佐兵衛 (印)・五人頭幸助 (印)・同嘉七 (印) →	縦帳	贖金所持町中取調。A-39
2-31	奉敷願口上書	明治 7 年 9 月	山伏山町清酒渡世倉富みね (印) 他 4 名→京都府知事長谷信篤殿	縦帳	藤原末吉、徴兵免除。C I -51
2-32	諸方ヨリ送籍ノ受書之扣	明治 7 年戌 8 月	山伏山町中西久右衛門支→	縦帳	戸籍移動書類控え。J-78
2-33	新定建	天保 14 癸卯年	山伏山町→	縦帳	明治 4 年 4 月迄、触書・諸町費出銀仕方・祇園祭等町定書。A-2
2-34	市街一筆限地券願帳	明治 13 年 6 月	山伏山町総代内藤源助 (印)・木村嘉兵衛 (印)・評価人平田平七 (印) 他 2 人→京都府知事榎村正直殿	縦帳	税法改正、宅地の面積・地租持主等を取調

2-35	市街一筆限地券願帳	明治 13 年 6 月	山伏山町総代内藤源助 (印)・木村嘉兵衛 (印)・評価人平田平七 (印) 他 2 人→京都府知事植村正直殿	縦帳	34 と同内容。朱書訂正
2-36	御改正御定目	明治元年戊辰 9 月	議事者年寄孫兵衛・議事者佐兵衛・議事者幸助→	縦帳	町組五人組仕法等の改正。A-8
2-37	借入金証書	明治 9 年 5 月 18 日	山伏山町借主町中・伍頭熊谷佐兵衛・同西村政助他 1 名→塚本与三次殿	継紙	金 500 円の借用証。地所、建物抵当。B-168
2-38	売渡証書	明治 9 年 5 月 15 日	山伏山町売主林幸助 (印)・摂津国島上郡神内村売請人林庄治郎 (印)→山伏山町御町中・伍頭熊谷佐兵衛殿	継紙	山伏山町西側 153 番地の地所。B-166
2-39	〔建物譲渡証書〕	明治 9 年 11 月 25 日	譲主倉留みね (印)・戸長太田理助 (印)→兄倉留藤兵衛殿	縦紙	559 番地、図。B-170
2-40	〔分地建物売渡証書〕	明治 10 年 2 月 9 日	売主小田七右衛門 (印)・戸長太田理輔 (印)→杉本佐兵衛殿	縦紙	556 番地、図。B-172
2-41	譲渡之証書	明治 9 年 11 月 25 日	山伏山町譲主倉留みね (印)・戸長太田理助 (印)→兄倉留藤兵衛殿	縦紙	倉留みね地所・建物を兄倉留藤兵衛へ。箱 2-39 と関連。B-169
2-42	売渡証書	明治 10 年 2 月 10 日	山伏山町売主小田七右衛門 (印)・大黒町売請人小田長兵衛 (印)・戸長太田理輔 (印)→杉本佐兵衛殿	継紙	B-173
2-43	〔上洛御祝儀金割賦状〕	文久 3 年癸亥 4 月	→仲九町組	一紙	将軍家茂上洛。CI-6
2-44	御拝借品書	明治 4 辛未 12 月 19 日	山伏山町奥野与左衛門・年寄中井嘉七・五人組西村政助・町中惣代林幸助→京都府御庁	縦帳	与左衛門所持建家・家財諸道具を町役預かり、生活道具 58 点中 24 点を借用願。「中年寄森川吉右衛門」の奥書。箱 2-7 と関連。CI-42
2-45	〔救売米府達〕	6 月	京都府→	綴	難済者大人 1 人 8 升、小児 1 人 4 升を渡
2-46-1	町中申合規則	明治 34 年 5 月	山伏山町→	縦帳	町内運営、家屋売買、用人、神事、寄付金品、衛生、年中行事規則。A-49
2-46-2	葬式申合規約書	—	山伏山町→	縦帳	表紙に「総代 平田平七郎 (印)」他 17 名に順達。挟込文書
2-47	御附立	明治 4 辛未 12 月 19 日	山伏山町中井嘉七・五人頭西村政助・町惣代林幸助→	縦帳	奥野与左衛門が差押えられた家屋敷と諸道具 58 点の目録と請状。箱 2-7、箱 2-44 と関連。CI-41
2-48	〔京都府への投書と回答写〕	明治 2 年己 2 月	京都府→大年寄・中年寄・孫年寄・諸町年寄	縦帳	物価高騰、困窮。A-25
2-49-1	市街一筆限地券願帳	明治 13 年 6 月	地主総代内藤源助・木村嘉兵衛・評価人平田平七・山本室光・戸長永田孝助→	縦帳	宅地合計 2195 坪 7 合 5 勺それぞれの地価と持主の書上げ

2-49-2	〔山伏山町神事費及町入費坪数割宛金書上〕	—	—	縦帳	49-1 に挟込
2-50	御触書	—	京都府→	縦帳	小学校建営入費、獄中死の勤王志士霊山で祭祀等。学校間取図。A-74
2-51	〔京都府達写〕	3 月 19 日	京都府→	縦帳	霊山鎮魂祭執行の触書写。A-59
2-52	乍恐口上書	明治 2 年巳 4 月	室町通蛸薬師下ル町調査者孫兵衛・同佐兵衛→京都御政府	綴	町々焼地面等取調。G-1
2-53	〔触書留〕	辰 12 月	京都府・行政官→	縦帳	小学校建設資金、旧幕拝礼諸入用、平安隊見廻り、勤王の志士忠魂。A-20
2-54	〔八坂神社祭礼費用出金名簿〕	—	山伏山町行事→	綴	私祭清々講費・御山蠟燭御有志・中飯料上。54 ～ 105 より一括
2-55	明治五年七月神事費	明治 5 年 7 月	—	綴	印。神事費の額と人名記載
2-56-1	〔鬺札〕	—	—	包紙	「占出山町」「郭巨山行事」等町名および行事を記す紙片 9 点。包紙「廻章 当番山伏山町」
2-56-2	〔廻状〕	7 月 4 日	当番山伏山町→	包紙	鬺抜き、御政府へ出頭。包紙「廻章 当番山伏山町」
2-57	受書	明治 13 年 7 月 18 日	土田作兵衛 (印) →山伏山御町	一紙	御神供粽 2 抱を例年の通僧より拝受。J-91
2-58	入日記	明治 7 年 11 月	郭巨山町→山伏山御町	一紙	「寄合入用帳」等 10 点の数量書上。D II 15
2-59 ～ 92	〔山手伝人名札〕	—	—	一紙	「大 山手伝人御手代衆」、朱書「飯」「大壺人 伊藤氏」。J-91
2-93	記 (代金書上)	(明 治)24 年 7 月 19 日	山伏山町→	一紙	金銭の分配目録に請取印
2-94	鬺番御下ヶ渡御願	明治 21 年 7 月	山鉾町惣代山伏山町番戸平民中川和助・函谷鉾町番戸平民一井政七→	一紙	八坂神社私祭山鉾巡行順
2-95	鬺番御下ヶ渡御願	明治 21 年 7 月	山鉾町惣代山伏山町番戸平民中川和助・函谷鉾町番戸平民一井政七→	一紙	箱 2-94 と同文
2-96	御預書	(明 治)27 年 7 月 17 日	京柳馬場錦小路上ル杉位治市兵衛 (印) →	一紙	御山桐油合羽預り書
2-97	〔八坂神社祭礼費用出金名簿〕	—	—	冊子	御山蠟燭御有志・清々講費・神事供物料・弁当料等
2-98	〔八坂神社祭礼費用出金名簿〕	明治 25 年 7 月	行司内藤源介・吉村太介・木村米七→	冊子	御山蠟燭代有志、日中飯料、供物料
2-99	〔八坂神社祭礼費用出金名簿〕	明治 22 年 7 月	—	冊子	弁当料・御山蠟燭御有志・ちょうちん代受取・御山蠟燭有志等
2-100	〔八坂神社祭礼費用出金名簿〕	明治 21 年 7 月 17 日	神事行事倉留末吉・西村徳兵衛代島地政吉→	冊子	御山蠟燭御有志等
2-101	〔八坂神社祭礼費用出金名簿〕	明 治 19 年 11 月 13 日	清々講社 (印) →山伏山町御中	冊子	清々講社私祭費受取 2 通
2-102	御山蠟燭有志	明治 19 年 11 月	行事→	冊子	寄付出金者名簿

2-103	覚	明治8年7月10日	綾傘鉾町五人頭吉岡卯兵衛(印)→山伏山御町	竪紙	御神号・山町定書等祇園会関連物品の預書。D II -17
2-104	〔祇園会山鉾保存府達書〕	明治9年7月3日	京都府→山鉾有之各区へ	一紙	祇園会山鉾古典保存のため博物館員出張点検。D II -18
2-105	覚	慶応4辰年6月3日	御幸町通海老屋町(印)→山伏山町	切紙	地之口米白米2斗5升納。D II -12
2-106	証	慶応3年卯6月	御幸町通三条下ル海老屋町(印)→山伏山御町	切紙	地之口米7斗5升3ヶ年分預。D II -10
2-107	〔行政官達写〕	正月	京都府→	竪帳	移籍届、種痘、疱瘡の件等。A-53
2-108	〔町組・町役改正府達写〕	9月22日	京都府→	竪帳	町札の図。117と同じ。A-11
2-109	〔行政官達写〕	2月	京都府→	竪帳	諸寺院願・伺に関する布告等の留A-76
2-110	〔金札通用触書写〕	10月3日	→山城国中社寺共	竪帳	四条油小路東入町銭両替渡世油屋沼郎右衛門等10名書上。A-67
2-111	〔年頭御礼取決〕	正月	—	一紙	D I -11
2-112	〔練兵場金札・機械焼捨府達〕	6月22日	大年寄→	切紙	A-61
2-113	〔大砲音通達〕	6月	大年寄→	切紙	
2-114	砂持諸入費控	明治9年10月	(山伏山町)→	横帳	蠟燭・縄等持寄物の書上げ、人足・山伏山町他町の弁当等書付。E-16
2-115	町用役向諸帳面控	明治第7年8月	山伏山町→	竪帳	町内保管帳面目録D I -7
2-116	〔小学校建営計画案〕	辰ノ10月	—	綴	小学校建営に関する調達案、御断書
2-117	〔町組・町役改正府達写〕	辰9月	京都府→	竪帳	町札の図。108と同じ。A-10
2-118	〔七條左京由緒書〕	明治元辰年10月	山伏山町年寄議事者孫兵衛(印)抹消)→京都御府	竪帳	「七條左京(印)」抹消、案文カ。C I -14
2-119	〔山伏山町屋敷図〕	—	—	綴	町人所有の屋敷図。住所、間取。M-1
2-120	〔行政官・京都府達書写〕	2月	行政官・京都府→	竪帳	行政官よりの布達を京都府が町へ。金納金米・貨幣鑄造等。A-57
2-121	〔称号改正府達〕	2月	京都府→触当番不動町	一紙	伏見役所定役出役の称号を伏見京都府出張へ。A-58
2-122	静寛院宮自今京都御住居御治定之事	6月5日	京都府→	切紙	東京より布達山城国中へ。A-62
2-123	乍恐口上書	明治2年巳4月17日	山伏山町袋屋ひて(印)・年寄孫兵衛(印)・同幸助(印)→京都御政府	竪紙	松平図書頭へ下宿伺書。C I -18
2-124	引越之義二付御願書	明治6年6月27日	山伏山戸長山田孫兵衛(略印)・伍組頭長西利兵衛(略印)→京都府知事長谷信篤殿	冊子	山伏山町小田善右衛門一家、東京へ。送籍之事、宗門送り手形、情実取調書。J-65
2-125-1	〔建物図面〕	明治24年12月18日	山伏山町債務者所有主中西こう(印)・債務者中西重固(印)・柳馬場通二条下ル柳馬場六丁目同今井重高(印)他1名→上長者町通裏門東入須濱町債権者吉村伊兵衛	一紙	山伏山町548番地。125-1～9封筒一括。125-1・2重ねて折込

2-125-2	〔建物図面〕	明治 25 年 6 月 7 日	山伏山町債務者中西こう(印)・今井重高(印)→債権者吉村伊兵衛殿	一紙	山伏山町 548 番地
2-125-3	弁済証	明治 25 年 9 月 15 日	借権者吉村伊兵衛(印)→中西こう殿・中西重固殿・今井重高殿	罫紙	
2-125-4	弁済証	明治 25 年 9 月 15 日	債権者吉村伊兵衛(印)→中西こう殿・今井重高殿	罫紙	125-1・2 と関連
2-125-5	金銭貸借書入契約証正本	(明治)24 年 12 月 18 日	洋糸商平民債権者吉村伊兵衛・毛織業士族連帯債務者今井重高・山伏山町売薬商平民連帯債務者中西こう他 2 名→(債権者吉村伊兵衛)	冊子	末尾に公証人竹上正之助(印)・中西重固(印)
2-125-6	〔内藤源助宛葉書〕	(明治)25 年 9 月 12 日	上長者町裏門東江入吉村伊兵衛→内藤源助様	葉書	土地建物の登記取消、利金勘弁
2-125-7	印鑑証明願	明治 23 年 11 月 4 日	柳馬場六町目拾番戸今井重高(印)→上京区長増田正殿	罫紙	
2-125-8	記(利子勘定書)	(明治)25 年 9 月 11 日	吉村伊兵衛→中西様	切紙	異筆にて「用捨」
2-125-9	金円貸借書入契約証書正本	—	毛織業平民債権者吉村伊兵衛・毛織業士族債務者今井重高・右代理人兼債務者山伏山町売薬商平民中西こう他 1 名→(債権者吉村伊兵衛)	冊子	125-5 と類似。明治 25 年 6 月 7 日地所登記
2-126	〔町組改正触書写〕	巳正月	大年寄→	縦帳	A-23
2-127	覚(軒役免除)	5 月 19 日	大年寄→	一紙	取調書を京都府詰所へ持参
2-128	〔証券印税規則〕	—	—	一紙	
2-129	口上(止宿届)	巳 6 月	袋屋ひて(印)→御町内衆中・御役人衆中様	切紙	丹州亀山藩小林勇吉・家来 2 人
2-130	療病院砂持用請雑費控	—	—	横帳	E-21
2-131	買得請合一札	明治 10 年 1 月 25 日	買請人内田嘉七(印)・買主太田芳三郎(印)→山伏山町戸長太田理助殿・伍頭熊谷佐兵衛殿・御町中	罫紙	町中所持の地所 1 ケ所。証券界紙に記載。B-171
2-132	地所融通分地之義二付約定書	明治 9 年 1 月	山伏山町伍頭林幸助(略印)・町中代熊谷佐兵衛(略印)戸長中井嘉兵衛(略印)→天神山町戸長小林嘉助殿・伍頭原田六兵衛殿・町中	罫紙	平井新兵衛抱屋敷地、
2-133	町掟	嘉永 4 年亥 11 月	用人平六(印)→御町中	継紙	新規追加町掟一つ書。C II -8
2-134	乍恐願書	寅 2 月	佐助(印)・親類惣代弥兵衛(印)→御年寄様・御町中御旦那様	縦紙	平六の不埒弁明書 C II -22
2-135	買得請合一札	明治 11 年 3 月 4 日	買請人大久井清兵衛(印)・買主桐畑むめ(印)→山伏山町戸長上尾徳兵衛殿・組頭奥野与左衛門殿・御町中	継紙	川本久七所持の地所 1 ケ所。証券界紙に記載
2-136	乍憚願書	天保 7 年申 5 月	町用人平六(印)・伯父佐助(印)→山伏山町年寄久右衛門殿・御町中	縦紙	三条方平年行事治見の孫七、引退し嘉兵衛を後見に。C II -6

2-137-1	売券御割印願	明治7年戊1月	山伏山町売主平井万蔵(印)・買主井上清兵衛(印)・戸長西村政助(印)他1名→京都府7等出仕国重正文殿	罫紙	家屋敷・土蔵各1ヶ所。同文1点。包紙「買請一札売請一札井上清兵衛殿平井万蔵殿」。包紙は別の譲状を使用
2-137-2	永代売渡券状	明治7年甲戌1月	売主平井万蔵(印)・戸長西村政助(印)・伍頭中西久右衛門(印)他4名→井上清兵衛殿	罫紙	建家・土蔵各1ヶ所代金受取。包紙「買請一札売請一札井上清兵衛殿平井万蔵殿」。包紙は別の譲状を使用
2-137-3	買得請合一札之事	明治7年戊1月	橋弁慶町買請人岡田儀兵衛(印)・買主井上清兵衛(印)→山伏山町戸長西村政助殿・町中	罫紙	平井万蔵所持の家屋敷・土蔵各1ヶ所。包紙「買請一札売請一札井上清兵衛殿平井万蔵殿」
2-138-1	売請一札之事	明治9年2月5日	鯉山町売請人岡田勘助(印)・売主田中利兵衛(印)→山伏山町戸長中井嘉兵衛殿・伍頭林幸助殿・御町中	冊子	地所・建家・土蔵各1ヶ所。包紙「五百五拾七番地田中利兵衛殿所持分地買得証書」。138-1・2包紙一括
2-138-2	証(分地)	明治9年2月5日	鯉山町売主田中利兵衛(印)・同町証人岡田勘助(印)→山伏山町伍頭林幸助殿・倉留みね殿・倉谷益治郎殿・御町中	継紙	土地の面積・代金等。
2-139-1	買得請合一札之事	—	山伏山町買請人中井嘉兵衛(印)・一蓮社町買主中井新兵衛(印)→山伏山町戸長井上久左衛門殿・伍頭西村政助殿・町中	罫紙	西村藤次郎所持の屋敷・建家・土蔵各1ヶ所。包紙「買請一札売請一札引取一札山田林兵衛殿中居新兵衛殿西村藤治郎」。139-1・2包紙一括
2-139-2	売請一札之事	明治7年4月25日	井筒屋町売請人茂岡清治郎(印)・立売東町売主西村藤次郎(印)→山伏山町戸長井上久左衛門殿・伍頭西村政助殿・町中	罫紙	西村藤次郎所持の屋敷・建家・土蔵を中井新兵衛へ
2-140	売請一札之事	明治8年11月	妙満寺前町売請人川嶋弥三郎(印)・売主奥野与左衛門(印)→山伏山町戸長内藤源助殿・伍頭中井嘉兵衛殿・町中	罫紙	地所1ヶ所を分地
2-141	死亡御届	明治14年1月13日	父政助死去ニ付長男西村祐次郎→伍頭平田平七殿	罫紙	
2-142	〔戻消質券〕	明治9年5月18日	戸長中井嘉兵衛(印抹消)→	罫紙	553番地の建物図面、山伏山町建物持主町中・伍頭熊谷佐兵衛から塚本與三治宛
2-143	記(金受取)	明治9年5月20日	—	罫紙	
2-144	覚(金受取)	明治9年12月2日	塚本與三治(印)→内藤源介殿	切紙	利息金32円50銭
2-145	売請一札之事	明治8年1月12日	山伏山町売請人倉谷佐助(印)・虎石町売主榎本武兵衛(印)→山伏山町戸長岡田儀兵衛殿・伍頭中西久右衛門殿・御町中	罫紙	屋敷1ヶ所・建家1ヶ所を西村徳兵衛へ

2-146	買得請合一札之事	明治8年1月12日	橋本町買請人西村徳蔵(印)・中島町買主西村徳兵衛(印)→山伏山町戸長岡田儀兵衛殿・伍頭中西久右衛門殿・御町中	罫紙	榎本武兵衛所持の屋敷1ヶ所・建家1ヶ所
2-147	記(地券預)	明治9年8月11日	山伏山町伍頭熊谷佐兵衛(印抹消)→塚本与三治殿	罫紙	
2-148	送り券之事	明治6年12月	堀之上町戸長和田嘉十郎(印)→山伏山町戸長西村政祐殿并御町中	罫紙	平田平七他3名山伏山町へ借宅。包紙「送り券 平田平七」
2-149	借家請状之事	明治6年10月7日	上小川町請人内田嘉七(印)・梅忠町引取人岸本源六(印)・借主太田源助(印)→山伏山町戸長西村政助殿・御町中	継紙	田中利兵衛家へ借宅。包紙「引取証文 田中利兵衛殿借家太田源介殿」
2-150	奉公人請状之事	文化6年巳11月	請人大和屋藤吉(印)・引取人油屋佐介(印)・奉公人平六(印)→山伏山町年寄勘右衛門殿・御町中	継紙	平六の身分証明書。父平助の素性の付札。C II -4
2-151	証(金受取)	明治6年1月29日	出納方(印)、下京第三区村田五兵衛(印)→山伏山町中	切紙	八坂神社拝殿建営有志金20両
2-152	引取証文	明治6年酉12月	引取人平田勘兵衛(印)・請人安田太七(印)・借主平田平七(印)→山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	平田平七、七條康教借家。B-155
2-153	御尋二付答証書	明治11年5月10日	雁金町証人平田勘六(印)→山伏山町伍頭山本定光殿・御中	一紙	桔梗屋平兵衛、相続証文。包紙「証」
2-154	奉公人請状之事	寛政12年庚申5月	請人油屋安治郎(印)・引取人大和屋藤吉(印)・奉公人平六(印)→山伏山町年寄伊兵衛殿・御町中	継紙	平六を町用人として雇用。155と関連。C II -3
2-155	覚(町用人心得)	寛政12年庚申5月	請人油屋安治郎(印)・引取人大和屋友吉(印)・奉公人平六(印)→山伏山町年寄伊兵衛殿・御町中	継紙	町内寄合・会所普請等。C II -2
2-156	覚(聖護院献上金品書上)	一	一	一紙	宮様・修験御奉行・修験御取次方へ。156～229こより一括。D II -23
2-157	乍恐奉願上候	天保12辛丑年6月	山伏山町年寄唯(誰カ)(略印)・五人組〃(略印)・町惣代〃(略印)他1名→森御殿・御役人中様	一紙	岡田但馬掾より調進の袈裟破損のため、御本山御殿様へ寄付願。D II -5
2-158	[金銀七百目預証文]	嘉永3年戌12月	年寄源助(印)・五人組吉兵衛(印)・同与兵衛(印)他1名→中西屋常太郎	一紙	町中入用として。裏書「譲り状当時入用 安政四巳九月□」。156～229を包む
2-159	往来券	明治4辛未正月17日	年寄林幸助(印)→諸国市在御役人中	罫紙	林幸助等東京へ罷越。159～178こより一括。J-32
2-160	人別請取之事	明治3午年5月	下京三番組蛸葉師通姥柳町年寄善兵衛(印)→山伏山町年寄佐兵衛殿	罫紙	堺屋卯兵衛転居。J-21
2-161	譲状之事	明治4年辛未年3月	譲主友次郎事内藤源助(印)→山伏山町年寄林幸助殿・町中	罫紙	家屋敷2ヶ所を父源三郎他2名へ。B-116

2-162	御届ケ書	1 月 27 日	倉谷佐助 (印) → 御町様	一紙	江州甲賀郡倉治村土田正司らの出立覚書。裏書「送籍請取書 西錦小路町」。J-88
2-163	送籍請証	明治 6 年 7 月	西錦小路町戸長津田伊兵衛 (印) → 山伏山町戸長山田弥兵衛殿	罫紙	高山竹次郎他 3 名、野崎七三郎借家へ。包紙「人別籍送り請取 中井新兵衛」。J-66
2-164	送り一札	明治 3 年 庚午 12 月	新町通袋屋町年寄外池万助 (印) → 山伏山町年寄林幸助殿	罫紙	金子惣兵衛の女子いと、中井嘉七へ縁付。J-30
2-165	譲状之事	明治 4 辛未年 3 月	譲主源助事内藤源三郎 (印) → 山伏山町年寄林幸助殿・町中	罫紙	内藤源三郎所持家屋敷 2 ケ所を倅源助へ。B-117
2-166	人別送り券請取之事	明治 6 年 3 月 22 日	一蓮社町戸長桂余助 (印) → 山伏山町戸長山田孫兵衛殿	罫紙	中井嘉兵衛、藤井藤助方へ同居。J-61
2-167-1	引取証文之事	明治 6 年 10 月 7 日	引取人竹下藤兵衛 (印)・請人竹下平兵衛 (印)・借り主竹下きく (印) → 山伏山町戸長西村政助殿・御町中	罫紙	町中持家へ借宅。包紙、167-1・2 包紙一括。B-152
2-167-2	借家請状之事	明治 6 年 10 月 7 日	請人竹下平兵衛 (印)・引取人竹下藤兵衛 (印)・借り主竹下きく (印) → 山伏山町戸長西村政助殿・御町中	罫紙	B-151
2-168	一札 (地屋敷売渡)	慶応 3 卯年 11 月	売受人山田屋源助 (印)・売主近江屋儀兵衛 (印) → 山伏山町年寄源助殿・五人組町中	罫紙	地屋敷 1 ケ所を町中へ。B-74
2-169	送り券受取一札	明治 5 壬申年 7 月 21 日	小嶋町戸長多羅甚八 (印) → 山伏山町戸長中井嘉七殿	罫紙	野村弥助。J-50
2-170	人別送り一札之事	明治 3 午年 6 月	大坂東拾三番組備後町式丁目役人 (印) → 山伏山町御役人中	罫紙	象牙屋安兵衛方娘はる、枳屋林兵衛方へ転居。J-23
2-171	一札 (家屋敷売渡)	文久 2 戌年 閏 8 月	売請人糸屋与兵衛 (印)・売主伊川屋きぬ (印)・証人従弟半兵衛 (印) → 山伏山町年寄孫兵衛殿・五人組町中	罫紙	伊川屋きぬ所持の家屋敷 1 ケ所・土蔵 1 ケ所を近江屋佐兵衛へ。B-39
2-172	引取証文之事	明治 4 年 辛未 11 月	引取人尾崎佐兵衛 (印)・請人木田源兵衛 (印)・借主熊木忠七 (印) → 山伏山町年寄中井嘉七殿・家主平井新兵衛殿	罫紙	熊木忠七、平井新兵衛へ借家。177 と関連。B-132
2-173-1	人別送り請取之事	明治 6 年 2 月 11 日	弓矢町戸長代伍頭清水佐兵衛 (印) → 山伏山町戸長山田孫兵衛殿	罫紙	田中利兵衛へ借宅の木原利三郎、木原嘉助へ引取。173-1・2 包紙一括。J-57
2-173-2	人別送り請取証	明治 6 年 2 月 11 日	坂東屋町戸長藤林茂平 (印) → 山伏山町戸長山田孫兵衛殿	罫紙	岩崎常助、藤野嘉兵衛借家へ引越。包紙「人別送り請取事二通 弓矢町 坂東屋町」、裏面に明治 6 年の人別送り券。J-56
2-174	人別送一札	明治 4 年 辛未 正月 27 日	室町通御池之町年寄立本伊兵衛 (印) → 山伏山町御年寄林幸助殿	罫紙	丹羽善兵衛に借宅する河田新助・妻たみ・男子亀次郎・女子はね、田中利兵衛の借家へ転宅。J-33
2-175	記 (人別送券受取)	明治 7 甲戌年 2 月	乙訓郡開田村戸長丸岡勘兵衛 (印) → 戸長西村政助殿	罫紙	山伏山町竹下きく孫女とし、八木藤兵衛方へ養子。J-76

2-176	借用申証文之事	元治元子年 5 月	山伏山町年寄升屋万兵衛 (印)・五人組近江屋嘉七 (印)・同伊勢屋源助 (印) 他 2 名→大坂屋半兵衛殿	継紙	家屋敷 3 ヶ所を引当に銀 20 貫目を借用。B-41
2-177	借屋請状之事	明治 4 年 辛未 11 月	請人木田弥兵衛 (印)・引取尾崎佐兵衛 (印)・借主熊木忠七 (印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・御町中	縦紙	熊木忠七、平井新兵衛へ借家。172 と関連。B-133
2-178	引取一札之事	明治 4 年 辛未 9 月	引取人村上治兵衛 (印)・請人吉岡万助 (印)・借主中村忠兵衛 (印)→山伏山町年寄嘉七殿・家主小林万平殿	継紙	中村忠兵衛、小林万平家へ借宅。B-125
2-179	送り書之事	明治 5 年 壬申 5 月	弓矢町年寄福本五兵衛 (印)→山伏山町年寄中井嘉七殿・御町中	縦紙	弓矢町町人木原利三郎、田中利兵衛借家へ別宅。J-47
2-180-1	〔包紙〕	明治 6 年 9 月 12 日	近江国神崎郡木流屋 (カ)→	包紙	180-1・2 包紙一括。「証 土橋店 卯助送り土橋送り 近江国神崎郡第五区 □□ (木流カ)」追記。本文なし
2-180-2	〔包紙〕	—	油屋町→七條栄助殿	罫紙	裏に「願奉」。送籍状の包紙カ。包紙のみ、本文なし
2-181	証書	明治 5 年 申 10 月	弓矢町木原喜助 (印)→山伏山町戸長山田孫兵衛殿・御町中	縦紙	忰木原利三郎、商業のため留守。包紙「引請一札 木原喜助」。B-144
2-182	送籍之事	明治 5 年 壬申 3 月	勾天神町年寄西山忠兵衛 (印)→山伏山町年寄中井嘉七殿	縦紙	藤井久助雇入れ野村弥助、山伏山町持家へ借宅。包紙「送り一札 野村弥助」。J-45
2-183	〔包紙〕	—	—	包紙	「村送一札 高山平六 養子竹次郎方へ」
2-184	一札	—	—	包紙	「内藤氏事件ニ付 小林万平」
2-185	差入申一札之事	明治 5 年 壬申 9 月	本人小林万平 (印)・請人中村忠兵衛 (印)→戸長山田孫兵衛殿	継紙	旧亀岡藩県より金子調達。B-142
2-186-1	〔通達書綴〕	—	—	綴	通達書計 11 点、筏丸太払下・博覧会中奈良鹿扱方・斬髪通達・馬車道筋通行等、明治 5・6 年か。186-1・2 一括。A-77
2-186-2	覚 (金受取)	辛未 (明治 4 カ) 5 月 6 日	土橋清次郎 (印)→御年寄様	切紙	茨木吉助分金 150 両の内金 50 両。B-120
2-187	送り一札之事	明治 3 年 年 閏 10 月	鯉山町年寄利兵衛 (印)→山伏山町御年寄幸助殿	縦紙	鯉山町光嶋父助、中村半兵衛家へ借宅。J-29
2-188	覚 (金受取)	未 6 月 朔日	土橋清治郎 (印)→御町役林孝助様	継紙	茨木善助分金 150 両の内金 12 両。B-178
2-189	借家請状之事	明治 6 年 酉 9 月	請人熊谷佐兵衛 (印)・引取人小谷九兵衛 (印)・借主長谷川又平 (印)→山伏山町戸長西村政助殿・御町中	継紙	熊谷佐兵衛借家の長谷川又平、分家。宗旨は日蓮宗。B-150
2-190	奉預御銀子之事	文政 8 年 酉 2 月	借主寺岡惣太郎 (印)・証人越後屋貞蔵 (印)→海老屋平七殿	縦紙	金銀 46 匁入用。B-9

2-191	人別送り請取券	明治 6 年 2 月	立売西町戸長安田嘉兵衛 (印) → 山伏山町戸長山田孫兵衛殿	一紙	山田虎治郎、松浦弥四郎宅へ転宅。包紙「人別送請 立売西町」。J-60
2-192	借屋請状之事	明治 4 年辛未	請人筒井源太郎 (印)・引取人長崎儀兵衛 (印)・借り主嶋田末吉郎 (印) → 山伏山町年寄林幸助殿・御町中参	継紙	石津発三郎家に借家。B-135
2-193	村送り一札之事	明治 4 年辛未 10 月	愛宕郡白川村庄屋西村清左衛門 (印) → 山伏山町御年寄中井嘉七殿	縦紙	吉村竹治郎、高山平六方へ養子縁付。J-42
2-194	引取証文	明治 4 年辛未	引取人長崎儀兵衛 (印)・請人筒井源太郎 (印)・借り主嶋田末吉郎 (印) → 山伏山町年寄林幸助殿・家主石津発三郎殿	継紙	借宅。B-134
2-195	送券	明治 4 年辛未 12 月 2 日	饅頭屋町年寄八木伊兵衛 (印) → 山伏山町御年寄中井嘉七殿	縦紙	熊本忠七家族ら平井新兵衛方に借宅。J-44
2-196	人別請取之事	明治 3 年 9 月	富小路通塗屋町年寄喜兵衛 (印) → 山伏山町年寄幸助殿	縦紙	信濃屋嘉助、町内へ引越。J-26
2-197	〔包紙〕	—	木原利三郎 →	包紙	包紙のみ
2-198-1	覚	元治元子霜月 11 日	山伏山町年寄万兵衛 (印)・五人組嘉七 (印)・同源助 (印) 他 1 名 → 大坂屋半兵衛殿	縦紙	借用銀のため沽券状 3 通引当て。全文抹消。包紙「天保十二年辛丑八月 銀拾貫目預り手形壱通山伏山町」。198-1・2 包紙一括
2-198-2	預り申銀子之事	嘉永 5 年壬子 11 月	年寄源助 (印)・五人組與兵衛 (印)・同孫兵衛 (印) 他 1 名 → 石津おきく殿	縦紙	B-20
2-199	記	明治 6 年 9 月 16 日	副戸長坊野治兵衛 (印)・上金五郎 (印)・戸長竹中徳兵衛 (印) 他 1 名 → 山伏山町正副戸長御中	一紙	近江国神崎郡木流村布施宗五郎、町内土橋清次郎方にて死去。J-67
2-200	証 (寄付金受納)	安政元寅年 12 月	若王子殿役人 (印) → 山伏山御町中	縦紙	包紙「証 組内〆若王寺へ金十両寄付之内金千足之受取書」。D II -7
2-201	差入置一札之事	明治 6 年 2 月	何之何某 →	切紙	円地蔵尊守の宗兵衛、借宅人別送願。J-58
2-202	一札 (町勤め相続)	明治 6 年 2 月	親高山平六・親類浅野文次郎・三条町親類佐々木嘉七 → 山伏山御町戸長山田孫兵衛殿・御町中	切紙	高山平六、老年により倅竹次郎へ。203 と関連カ。箱 1 の 121 と関連カ。C II -19
2-203	御町中召遣し人請状之事	明治 6 年 2 月	引取人 ---・請人 ---・雇ハレ人高山竹次郎 → 山伏山御町戸長山田孫兵衛殿・御町中	切紙	明治 9 年 2 月迄用人として雇用。箱 1-121 と関連。C II -18
2-204	証 (金子弁済)	明治 4 辛未年 5 月 2 日	新在家町北側年寄岡崎忠兵衛 (印)・五人組中村多兵衛 (印) → 山伏山町御町中・御年寄	縦紙	茨木とも、糸代金遅滞金 150 両を支払。C I -27
2-205	覚 (絹糸、羽織ひも等代金書上)	未 5 月 10 日	→ 土橋清次郎殿	切紙	B-177
2-206	人別請取券	辛未 (明治 4) 9 月 7 日	虎石町年寄代戸田久右衛門 (印) → 山伏山町年寄中井嘉七殿	縦紙	榎本武兵衛、福智龍淵宅へ借宅。J-40

2-207	口演 (出席案内)	卯 6 月 23 日	小衣棚町吉岡太助・世話当番小 四条町橋本源助→山伏山町内藤 源助様	竪紙	印形・袴用意。包紙「仲九町 御組山伏山町内藤源助様、仲 拾町組」。C I -8
2-208	人別送り券請取之事	明治 6 年 4 月 1 日	新シ町戸長藤居寿太良 (印) → 山伏山町戸長山田孫兵衛殿	竪紙	山伏山町内林孝助倅亀次郎、 林忠兵衛方に引越。J-62
2-209	人籍送り券	明治 6 年 10 月	鶏銚町戸長土山藤兵衛 (印) → 山伏山御町西村政助殿	罫紙	竹下きく家族、町中持家へ借 宅。包紙「送り状、竹島きく」 包紙は別紙の再利用力。J-72
2-210-1	〔各町軒役書上〕	—	—	切紙	当番西六角町取り集め。包紙 「平井尊君、要用書、中村半 兵衛」。210-1・2 包紙一括
2-210-2	覚 (学校警固方入用)	—	—	切紙	7 月 8 日分山灰代、油代等 1 軒割にて勘定書。包紙「平井 尊君、要用書、中村半兵衛」
2-211	引取一札之事	明治 5 壬申 3 月	引取人瀧川久蔵 (印)・請人藤井 久助 (印)・借主野村弥助 (印) → 山伏山町年寄り中井嘉七殿・家 主御町中	継紙	町中持家へ借宅。B-136
2-212	〔品物渡添状〕	8 月 23 日	一条通新在家町北側町中 (印) → 土橋清次郎殿	切紙	端裏書「土橋清次郎様、一条 通新在家町北側」。B-183
2-213	覚 (金銭受取)	未 8 月 27 日	土橋清次郎→御年寄様	継紙	B-179
2-214	証 (人別送り券)	明治 6 年 10 月	大文字町戸長福永武兵衛 (印) → 山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	七條康教弟栄助。J-73
2-215	人別送り一札之事	明治 6 年 9 月	油屋町戸長中村藤右衛門 (印) → 山伏山町戸長西村政助殿	竪紙	佐野栄助、七條康教方へ。 J-69
2-216	人別送り請取之事	明治 6 年 2 月	富屋町戸長片山武兵衛 (印) → 山伏山町山田孫兵衛殿・御町中	竪紙	辻惣兵衛が当町谷江五郎兵衛 借家へ転宅。包紙「人別送り 請取書、辻宗兵衛分」。J-59
2-217	送り書之事	明治 4 年辛未 8 月	神明町年寄佐田玉次郎 (印) → 山伏山町年寄林孝助殿	竪紙	嶋田末吉郎家、石津発三郎借 家へ転宅。包紙「人別送り一 札」。J-39
2-218	送り一札之事	明治 3 年庚午 10 月	立売中之町年寄甚兵衛 (印) → 山伏山町年寄林孝助殿	竪紙	高山屋むめ、石津発三郎借家 より山城屋平六方へ。J-27
2-219	証 (戸籍送り券)	明治 6 年 1 月 16 日	柳馬場御池下ル八幡町戸長船橋 平八 (印) →山伏山町戸長山田 孫兵衛殿	竪紙	吉村甚兵衛外家族 1 人。J-54
2-220	借家請状之事	明治 5 壬申 3 月	請人藤井久助 (印)・引取人瀧川 久蔵 (印)・借主野村弥助 (印) → 山伏山町年寄り中井嘉七殿・御町 中	継紙	野村弥助、山伏山町持家へ。 B-137
2-221	覚 (金受取)	明治 7 戊 7 月 16 日	平井万蔵 (印) →山伏山町御役 中様	竪紙	金 20 両。B-158
2-222	譲状之事	文久 2 戌年閏 8 月 24 日	譲主近江屋佐兵衛 (印) →山伏 山町年寄孫兵衛殿・五人組町中	竪紙	家屋敷 1 ヶ所を死後妻りう他 2 名・町中へ。B-37
2-223	〔中村半兵衛書状〕	(明治 6) 2 月 11 日	中村半兵衛→平井尊大人様	継紙	長谷川氏地面始末。端裏書「別 紙相添差上置尊下」。L-2
2-224	〔中村半兵衛書状〕	—	半兵衛→平井尊君	切紙	二色本文の儀、御仁免願ひ
2-225	人籍送り一札之事	明治 6 年 9 月	山伏山町戸長中村政助 (略印) → 大外町戸長福永武兵衛殿	竪紙	佐惣栄助、橋永つた方へ養子。 J-68

2-226	送り券	明治 5 年 壬 申 11 月	錦小路通元法然寺町戸長邨田庄兵衛 (印) → 山伏山町戸長山田孫兵衛殿	竪紙	杉本佐兵衛弟定七、内藤源助方へ縁付。包紙「人別送り状、元法然寺町」。J-53
2-227	〔中村半兵衛書状〕	(明 治 カ) 2 月 10 日	中村半兵衛→平井尊大人様	継紙	長谷川氏地面始末。L-1
2-228	借家請状之事	明治 4 年 辛 未 9 月 日	請人吉田万助・引取人村上治兵衛 (印)・借主中村忠兵衛 (印) → 山伏山町年寄嘉七殿・御町中	継紙	山 伏 山 町 小 林 万 平 宅 へ。B-126
2-229	〔町送り状〕	—	—	包紙	包紙「美濃屋藤七殿町送り入、堺屋七右衛門殿町送り寺送り共、山城屋武兵衛殿町送り斗、町送り入」
2-230	覚 (銀受取)	卯 12 月	上下京会所 (印) → 中之組行事	切紙	献上物代銀・諸入用
2-231	乍恐歎願奉申上候口上	明治 2 年 巳 9 月	平六 (印) → 御年寄様・御役中様・御町中様	竪紙	諸式高値難渋、手間代値上願。C II -15
2-232	買得請合一札	明 治 10 年 2 月 9 日	買請人清水長兵衛 (印) ・ 買主杉本佐兵衛 (印) → 山伏山町戸長太田理輔殿・伍頭熊谷佐兵衛殿・町中	罫紙	山田右衛門所持の地所 1 ケ所、建物 1 棟を買得。B-174
2-233	〔町組・五人組仕方政府達書〕	辰 7 月	京都府→	継紙	改訂までの由来書。A-6
2-234	証 (金受取)	明 治 9 年 1 月 31 日	伍頭証人安田嘉兵衛 (印) ・ 売主小林嘉助 (印) → 林幸助殿	罫紙	屋敷売り渡し金 6 円
2-235-1	御触御法度条々	明暦元年極月吉日	山伏山町→	卷子	寛文九己酉二月晦日触の請状、辰十月廿三日下京町代・服装・帯刀・喧嘩等。235-2 を巻込。木片 1 点、こより 1 点。A-1
2-235-2	例年二月二日用人江為続間候箇条書之覚	安永 8 年 亥 9 月	年寄次郎三郎・五人組宇三郎・同源兵衛・同源兵衛・町中→	継紙	町運営定。C II -1
2-236	〔帯封〕	—	—	帯封	「十九日」朱印 1 ケ所
3-1	出生届	—	—	罫紙	表題のみ箱蓋「明治十五年西側之分松居 証符」。1 ～ 56 は紙箱入
3-2	〔種痘証符一括〕	明治 13 年 10 月	下京区役所→長谷川幸之助・長谷川ヒサ・雇人荒川秀吉他	一紙	包紙「長谷川」。明治 31 年 10 月「再種痘施行ニ付通知書」付属。小封筒 4 点一括
3-3	〔種痘証符一括〕	明治 7 年 4 月	京都府種痘館→松井信太郎・五十川政祐他	一紙	包紙「松居」。明治 31 年迄。小封筒 12 点一括
3-4	〔種痘証符等一括〕	明 治 23 年 4 月 9 日	→富田富太郎・祐壽他	冊子	包紙「石津 (抹消) 富田」。明治 41 年 3 月 31 日付富田家及び寄留人臨時種痘証明書。小封筒 7 点一括
3-5	受痘届	明治 36 年 11 月	富田弥三郎→下京区長中山研一殿	罫紙	長男富田秀太郎受痘
3-6	〔種痘証符一括〕	明治 27 年 3 月	→熊谷彦次郎・長島原造他	一紙	包紙「立入 (抹消) 西熊谷」。明治 32 年迄。小封筒 3 点一括
3-7	〔種痘証符一括〕	明 治 7 年 4 月 22 日	→内藤源助妻てい・内藤万次郎妹きぬ他	罫紙	包紙「北 内藤」。個別証符他、明治 41 年。小封筒 6 点一括
3-8	証符入	—	—	封筒	

3-9	〔種痘証符一括〕	明治 7 年 5 月 6 日	→鐘鑄区吉村五兵衛男吉村虎之助・藤井善七妻あい他	一紙	包紙「片山(抹消線)藤井」。小包紙包紙「証符東竹屋町上原常八」明治 41 年迄。封筒内 12 点一括。
3-10 ~ 14	〔封筒〕	—	—	封筒	包紙「藤井」。封筒 4 点一括
3-15 ~ 18	会費領収証	明治 34 年	修斎会→藤井善七殿・桑原常助殿・井上清三郎殿・富田富太郎	一紙	春・秋に金 30 銭。明治 40 年迄。15 ~ 18 こより一括
3-19	会費領収証	明治 34 年	修斎会→中川和助殿	一紙	春・秋に金 30 銭。朱方印「寶錦会印」。明治 40 年迄印
3-20	〔封筒〕	—	—	封筒	包紙「松居(抹消線)、中川久」
3-21	〔中西種痘証一括〕	明治 7 年 6 月 9 日	→中西久右衛門長女コウ・土井重固他	一紙	明治 29 年迄。包紙「中西」封筒 7 点一括
3-22	臨時種痘証明書	明治 41 年 3 月 1 日	常真横町医師浅木亘山(印)→岡田益造他 8 名	冊子	包紙「米花(抹消線)・稲葉(朱字)・岡田」
3-23	種痘証	明治 32 年 6 月 27 日	→片岡儀之助長女ハツ	一紙	種痘医杉本貞彦(印)。包紙「深見(抹消線)、片岡」
3-24	〔封筒〕	—	—	封筒	包紙「熊谷」
3-25	〔種痘証符一括〕	明治 7 年 4 月 22 日	→平田平次郎・佐竹栄次郎他	一紙	大包紙「平田」。小包紙「証符・諏訪(カ)佐竹」小封筒口裏書「平田栄三郎」明治 30 年迄。大封筒 7 点一括
3-26	種痘証符	明治 13 年 11 月	京都種痘館→井上清三郎・北村喜三郎他	一紙	北村徳三郎他。包紙「井上」。小封筒 10 点一括
3-27	種痘証	明治 7 年 4 月	→津荷順輔長女菊栄・井上良雄他	一紙	包紙「津荷」。明治 26 年迄。小封筒 5 点一括
3-28	〔こより〕	—	—	こより	
3-29	種痘証符	明治 29 年 5 月 13 日	京都府医師会京都支会→	一紙	橋野兼吉次女ハマ他。包紙「橋野」。封筒 3 点一括
3-30	証符	—	—	封筒	
3-31	種痘証符	明治 23 年 11 月 5 日	—	一紙	山田音吉妻八重他。包紙「西山田」。封筒 2 点一括
3-32	種痘証符	明治 16 年 5 月 4 日	—	一紙	倉富末吉次女やえ。包紙「倉富」
3-33	種痘証符	明治 28 年 1 月 12 日	—	一紙	熊木忠蔵長男忠次郎他。包紙「熊木」。封筒 4 点一括
3-34	種痘証符	明治 30 年 1 月 15 日	—	一紙	桑原常助方山本伊三郎他。包紙「桑原」。封筒 4 点一括
3-35	種痘証符	明治 17 年 9 月	京都府種痘館→	一紙	中森清兵衛次女すて他。包紙「浦江・なか森」。封筒 9 点一括
3-36	臨時種痘証	明治 30 年 3 月 4 日	→明倫校内教員佐野駒太郎	一紙	種痘医森周三(印)。36 ~ 39 こより一括
3-37	臨時種痘証	明治 30 年 3 月 5 日	→明倫校内教員安達良太	一紙	種痘医森周三(印)
3-38	臨時種痘証	明治 30 年 3 月 6 日	→明倫校内教員内海ノブ	一紙	種痘医森周三(印)
3-39	臨時種痘証	明治 30 年 3 月 7 日	→明倫校内教員建部弥代吉	一紙	種痘医森周三(印)
3-40	証符	明治 7 年 6 月 9 日	→北門前町木下福蔵女くに	一紙	包紙「証符熊木受北門前町木下くに」
3-41	証符	—	—	一紙	「間ノ町田中居兵衛田中ひで」

3-42	証符	—	—	一紙	「元三十三組南禅寺町駒井喜三郎」
3-43	〔種痘証一括〕	明治 7 年 6 月 16 日	→藤井善七孫ナヲ・内藤篤造他	一紙	藤井善七孫ナヲ他 40 点。明治 45 年迄
3-44	証符	—	—	包紙	「小松嘉三郎」
3-45	〔包紙〕	明治 8 年 10 月 15 日	—	包紙	「土橋きく下京区十四組十文字町」
3-46	証符	—	—	包紙	「山伏山町藤井トミ」
3-47 ~ 50	〔封筒〕	—	—	封筒	封筒 4 点、「大郷食」・「荻田」・「南中村」・「今井」
3-51	種痘証符	明治 32 年 4 月 25 日	—	一紙	内藤源助次男紀次郎等。包紙「内藤」。封筒 13 点一括
3-52	種痘証符	明治 30 年 1 月 15 日	—	一紙	西沢升次郎方高田イネ等。包紙「西澤」。封筒 5 点一括
3-53 ~ 55	〔封筒〕	—	—	封筒	封筒 3 点、「吉村」・「中川」・「清水氏」
3-56	種痘証符	—	—	一紙	
3-57	金銭出納帳	大正 13 年 6 月 15 日	山伏山町→	冊子	昭和 13 年 8 月 20 日迄。挟込文書計 9 点
3-58	負担金徴収簿	昭和 16 年 4 月	山伏山町内会→	冊子	挟込文書 1 点
3-59	山伏山町戸籍帳	—	山伏山町→	冊子	
3-60	山伏山町家持坪数調	大正 11 年 6 月	—	罫紙	
3-61	賃貸価格標準調査書	明治 31 年 01 月 10 日	小菅慶太郎→	冊子	明治 31 年 1 月 6 日印刷、京都商業会議所発行
3-62-1	〔山伏山町神事費及町入費地価割〕	—	—	冊子	土地所有者名の印、朱書
3-62-2	山伏山町地価簿地価割早見録	大正 4 年 1 月	—	冊子	「抱屋敷之部」「外之部」、朱書
3-63	坪数調書	—	—	冊子	
3-64	京都府公認建築申請届	昭和 3 年 6 月 18 日	野田尚吉→京都府知事大海原重義	冊子	平面兼配置図付き、昭和 3 年 12 月 26 日京都府承認印 2 つ
3-65	包紙	—	十松屋福井→	包紙	京都市中京区烏丸通り三条上る能楽御舞扇司
3-66	御茶席用御懐紙	—	—	包紙	懐紙包込、全国茶用懐紙工業会 107 番
3-67	京都市補助金二対スル書類	大正 13 年 6 月 9 日	山田寅吉→京都市長馬淵鋭太郎	冊子	見積書・市補助金交付条件請書・請求書・御届・領収書の雛形
3-68	火災保険古書類	—	—	包紙	未開封
3-69-1	地租年賦延納一時上納願	明治 12 年 4 月 12 日	松居庄七→京都府知事北垣国道殿	冊子	
3-69-2	寄留換御届	明治 16 年 7 月 25 日	藤川秀次郎 (印) →山伏山町伍頭中井嘉七殿	罫紙	秀次郎他 3 名
3-69-3	約定証	明治 16 年 6 月 16 日	山伏山町売主中井嘉七 (印) ・烏帽子屋町買主中山和助 (印) ・保証人内藤源助 (印) 他 1 名→	一紙	中井嘉七所有地所、中川和助へ譲渡
3-69-4	約定証	明治 16 年 6 月 16 日	山伏山町売主中井嘉七 (印) ・烏帽子屋町買主中山和助 (印) ・保証人内藤源助 (印) 他 1 名→	一紙	69-3 と同文
3-69-5	閉店御届	明治 16 年 5 月 8 日	山伏山町西村卯之吉 (印) →伍頭中井嘉七殿	罫紙	家事改革

3-69-6	約定書	明治 16 年 6 月 19 日	占出山町前田和助 (印)・証人 古河駒太郎 (印) → 山伏山御町中	罫紙	家屋敷を売渡、二季の出金
3-69-7	御用書	明治 16 年 4 月 19 日	西村卯之吉 (印) → 御町・伍頭 中井嘉七様	罫紙	動産・不動産売払
3-69-8	廃業御届	明治 16 年 4 月 28 日	山伏山町西村卯之吉 (印) → 山 伏山町伍頭中井嘉七殿	罫紙	家事向改革
3-69-9	寄留券	明治 16 年 7 月 20 日	藤川秀次郎 → 総代中井様	一紙	
3-69-10	旅行御届	明治 16 年 5 月 20 日	伏山町西村宇之吉 (印) → 山伏 山町伍頭中井嘉七殿	罫紙	芸州広島・伊予国宇和島・豊 前中津へ
3-69-11	約定証	明治 19 年 (カ)	—	罫紙	町内積立講金払込
3-69-12	町名金銭書上	—	—	一紙	三条 10 円・六角 10 円・山 伏 10 円・天神 8 円等
3-69-13	預り証書	明治 16 年 2 月 21 日	当町惣代 (以下抹消) → 木村嘉 兵衛殿	罫紙	預金受取・利息の記録。前半 を傍線にて抹消
3-69-14	仮証	明治 16 年 5 月 7 日	総代中井嘉七 (印)・勘定掛熊 谷佐兵衛 (印) (抹消線) → 町内 御講方内藤源助殿	一紙	70 円、町内箱に預かり
3-69-15	開業御届	明治 16 年 7 月	中井嘉七 → 戸長山川虎之助殿	一紙	呉服悉皆商
3-69-16	附籍之者産取設之儀 二付願	明治 16 年 6 月 9 日	願人深見磐次郎 (印)・同深見 ぬい (印)・親類総代平民深見 與兵衛 (印) → 総代中井嘉七殿	一紙	ぬい紀伊郡石島村深見佐七長 女、文化元年生
3-69-17	証	6 月	木村 (印) → 伍頭様	一紙	開業の節倉富屋不足分金受取
3-69-18	証	未 6 月	木村嘉兵衛 (印) → 総代中井嘉 七様	一紙	金受取
3-69-19	〔出頭依頼状〕	明治 16 年 5 月 9 日	当組戸長役場 (印) → 総代御中	一紙	付札、商工組合、15 人の名 前
3-69-20	〔出頭状〕	—	—	一紙	洛東鉦泉場相続講満講
3-69-21	記	7 月	清々構社 → 世話係御中	一紙	扇子、草履代依頼
3-69-22	〔断簡〕	—	室町通夷川上る鐘屋町買受人小 池仙蔵・室町通六角上ル烏帽子 屋町買主中川和介 → 東馬場数珠 屋町上ル真宗良現寺旦那	一紙	前欠
3-69-23	通達	6 月 9 日	戸長役場 →	一紙	保勝会株数人名差出し
3-69-24	建家借用証	—	—	一紙	23 番戸明け渡し、証人不在
3-69-25	〔名前押印書付〕	明治 16 年 7 月	総代中井 →	一紙	
3-69-26	〔雇入御届〕	明治 16 年 9 月 21 日	津谷段輔 (印) → 惣代中井嘉七 殿	一紙	和歌山県下海部郡小畑村内芝 長之助
3-69-27	実印御届	明治 16 年 7 月 27 日	平民医業津荷順輔長男路三郎 (印) → 町惣代中井嘉七殿	一紙	実印新調
3-69-28	開業御届	明治 16 年 7 月	中井嘉七 → 長竹邨藤兵衛殿	一紙	呉服悉皆商
3-69-29	〔間取図〕	—	—	一紙	
3-69-30	〔借地建物図〕	—	—	一紙	山伏山町 553 番地、本家物 置の図
3-70	請求書	(昭和) 6 年 6 月 切 日	ナマセ商会 → 野田様内竹内様	一紙	ソケット、ニップル等
3-71	〔山伏山町児童・保 護者一覧〕	昭和 13 年 4 月	—	一紙	13 名
3-72	町費及学校費半季間 統計表	明治 35 年 6 月	—	継紙	用人給料、公同衛生助役料、 夜警費等
3-73	種痘証	明治 28 年 3 月 4 日	下京区種痘医 →	綴	「西澤升治郎妻ラク」他 49 名。 こより一括

3-74-1	瓦代金請求書	昭和 15 年 3 月 切日	石井製瓦工場京都支店→矢野工務店殿	綴	山伏山町土蔵直し
3-74-2	〔材木領収書〕	昭和 16 年 3 月 29 日	矢野工務店→山伏山御町殿	冊子	土蔵床板直し
3-75	記(納品書)	7 月 18 日	吉川餅→山伏山町御中様	一紙	小豆餅、豆餅等
3-76	建家借用証書	明治 20 年 12 月 26 日	借り主林崎虎治郎・証人→山伏山町総代内藤萬助殿・家主第三組中家代中川和助殿	冊子	組中所有の建家を宿として借用
3-77	明倫学区公同衛生組合費各町負担額表	昭和 15 年度	→野田尚一様	一紙	
3-78	永代過去帖	文化 11 年 戌 10 月	山本氏→	豎帳	奥書に寛政 11 年 8 月大坂堺筋備後町南入和泉屋善兵衛・小刀屋六兵衛・唐物町河内屋太助等、近江屋一族記載
3-79	諸税令書控帳	大正 5 年 1 月	山伏山町→	横帳	大正 14 年 7 月迄
3-80-1	山伏山町町内会常会記録帳	昭和 16 年 1 月	—	冊子	80-2～9 挟込
3-80-2	納品書	昭和 16 年 1 月 22 日	文適堂→岡松家御様	一紙	回覧板納品
3-80-3	軍用機献納資金送付書	昭和 18 年 7 月 20 日	第一隣組長松本善三郎(印)→岡松茂三郎殿	一紙	受領者割印、藤井商店外 8 名分
3-80-4	軍人援護会	昭和 18 年 7 月 29 日	—	一紙	会費集金一覧、裏面昭和 18 年 2 月 20 日忠霊塔費の集金
3-80-5	受領書	昭和 18 年 7 月 29 日	明倫町内会連合会会長松居庄七(印)→山伏山町内会長岡松重三郎殿	一紙	割印、林善吉殿外 19 名
3-80-6	軍用機献納資金送付書	昭和 18 年 7 月 21 日	第二隣組長酒井市太良(印)→岡松茂三郎殿	一紙	受領者割印、京都絞商事株式会社外 10 名分
3-80-7	〔金銭書上〕	—	—	一紙	
3-80-8	〔金銭書上〕	—	—	一紙	
3-80-9	〔券購入費用集金表〕	(昭和)18 年 5 月 5 日	—	一紙	
3-80-10	徴用令ニ依ル応召者調査表	(昭和)15 年 12 月 15 日	—	罫紙	「岡松茂三郎商店」の用紙。「丸藤商店、八田光三、十七才」
3-80-11	第二組徴用令応召者名	昭和 18 年 12 月 15 日	—	一紙	「東舞鶴海軍工廠、中定商店方、伊佐三郎、十八歳」「東舞鶴海軍工廠、松居庄七商店方、竹花芳雄、十八歳」
3-80-12	議案	—	—	一紙	年中行事メモ書
3-81-1	明倫小学校校舎建築寄附金台帳	昭和 3 年 7 月 10 日	山伏山町→	冊子	改築寄附金領収証、昭和 8 年 6 月 10 日完納。81-2～5 を挟込
3-81-2	〔金銭書上〕	—	—	一紙	金銭受取総高、決算報告書締高
3-81-3	〔皇陵巡拝承認願書〕	昭和 8 年 6 月 14 日	明倫参陵会委員→会員殿	一紙	円満寺拝観、自動車賃金通知。裏面に学校関係金銭書上
3-81-4	〔学校費用金銭書上〕	昭和 7 年	—	一紙	9 月分受取金
3-81-5	〔収入書上〕	(昭和)7 年	—	一紙	町内納金、学校帳簿収入、申告決算書締高
3-82	堀江家種痘証	明治 27 年 11 月 8 日	→堀江忠七・男忠三郎	一紙	堀江忠七・男忠三郎他。包紙「種痘証 堀江内」。封筒内 33 点

3-83-1	〔名札〕	—	大八教区本部京都神宮協会→山伏山町総代内藤萬助殿	一紙	「大飯 廣岡氏 (印)」他。小封筒名札 20 枚、「山伏山町総代内藤萬助殿」、封筒裏書「大八教区本部 京都神宮協会」。「神事控入」の大封筒 83-1 ～ 13 一括
3-83-2	徴兵適齡御届	明治 21 年 4 月 9 日	戸主浦江徳次郎 (印) →	一紙	
3-83-3	官報要誌第六号付録	明治 20 年 12 月	—	一紙	
3-83-4	〔山伏山町人生業関係文書〕	明治 21 年 1 月	中村利平→下京区長竹村藤兵衛殿	一紙	営業上高届・廃業届・町内職種等、計 22 点
3-83-5	〔交通関係文書〕	明治 21 年 5 月 5 日	町総代中川和助 (印) →京都府知事北垣國道殿	綴	路中へ根石据附願・人乗車除之外車止返上御願等、計 10 点
3-83-6	〔町財政・公債・地租関係文書〕	明治 19 年	—	綴	明治 19 年前半年分会議所諸費・金録公債証書・新地租金高等、計 18 点
3-83-7	〔不動産関係文書〕	明治 22 年 9 月 10 日	右町惣代中川和助→戸長中山研一殿	綴	借家宅地調査・畳敷届・家讓渡届・町内屋敷配置図等計 9 点
3-83-8	〔神事関係文書〕	明治 18 年 7 月	各行事藤井善七・中西拾之丞→	一紙	私祭神事・八坂神社神事控・提灯之控・八坂神事日割等 13 点
3-83-9	〔引継関係文書〕	明治 21 年 2 月	山伏山町惣代中川和助→	冊子	第 1 第 2 類帳簿送状仕切書受検調書等 6 点
3-83-10	〔戸口関係文書〕	明治 17 年 1 月 29 日	中川和助・中川信次郎→戸長山川虎之助	一紙	転籍御届・寄留人退去御届・来住御届・入寄留御届・在学証書等計 10 点
3-83-11	〔雛形〕	—	—	一紙	委任状・19 年 7 月 1 日認在戸数調の雛形の計 2 点
3-83-12	〔白紙〕	—	—	一紙	白紙 6 点
3-83-13	幣	—	—	一紙	幣 8 枚
3-84	市街坪数地価合計帳	明治 13 年 6 月 22 日	山伏山町総代内藤源助 (印)・木村嘉兵衛 (印)・評価人平田平七他 1 名→京都府知事榎村正直殿	冊子	町内私有宅地
3-85	町費及学区会費半期間統計表	明治 44 年 7 月	—	綴紙	街灯費、用人給料、八坂神社不動料等の集金一覧
3-86	本組学区会費及学区諸費表	大正 8 年 7 月	—	綴紙	山伏山町町費表、水道量水器及街路散水人夫給料諸道具直シ買取費
3-87	山伏山町戸籍簿	(明治)	山伏山町→	冊子	写。「除籍之部」。
3-88-1	〔税領収書一括〕	明治 16 年	戸長中山研一→	綴	明治 21 年迄の地租税・商業税・地方税等領収書 163 点。包紙「古戸籍古 / 古寄留古入 / 古役場諸請取入 / 明治廿二年九月改メ」。88- 1 ～ 7 包紙・こより一括
3-88-2	〔諸納付覚書〕	—	—	一紙	役場費、諸費、授業料納付額覚

3-88-3	〔納付通知等一括〕	明治 16 年	—	冊子	明治 21 年迄の神事費請取証・ 地方税納付通知等
3-88-4	〔雇入人名簿〕	—	—	冊子	108 人分の雇主・原籍・被雇 人姓名・年齢、雇入日、解雇 日、種痘の有無
3-88-5	〔山伏山町居住者名 簿〕	(明治)	—	綴	略歴、家族構成、家業、旦 那寺を封筒一括。明治 17 ～ 18 年の婢僕人数 1 点挟込
3-88-6	〔雇入人名簿〕	明治 15 年	—	綴	明治 19 年迄の雇主・原籍・ 雇入日、解雇日等
3-89	〔封筒〕	明治 42 年 6 月 16 日	山伏山町→	封筒	書類入用。「名古屋銀行保護 預り証・明治四拾五年利公債 額面・商工銀行保護預り証 入・大正元年に定期預金証書 入・・・」
3-90	戸籍簿	明治 19 年 12 月	山伏山町→	冊子	
3-91	〔領収書版木〕	明治	下第三組山伏山町→	版木	領収証の版木、「一金」の木 片付属
3-92	〔熨斗紙〕	—	—	熨斗 紙	「志」。熨斗。布袋に入れ込み
3-93	〔坪数調書〕	大正 11 年 6 月	—	罫紙	山伏山町住人所持坪数一覧
3-94	〔山伏山町地価割金〕	—	—	罫紙	地価金 10 円に 2 円 30 銭割
3-95	証	26 年 2 月日	内藤源助 (印) →山伏山町御町 内	一紙	利子等預り
3-96	〔扇子〕	—	—	扇子	裏面に数字記載
3-97	〔板〕	—	—	板	4 枚に「富田富太郎」他名前、 10 枚紐一括
4-1	〔祇園祭山鉦巡行順〕	大正 10 年 7 月	山当番山伏山町→	一紙	同一文書 4 点
4-2	祇園会神事町内役割 表	—	—	一紙	清掃・山飾・山仕舞、山参拝・ 山当番等
4-3	〔包紙〕	—	下京第壱区上黒門町→	包紙	「人別送り一札之事」
4-4	請取券	—	—	封筒	包紙「請取券 八幡町」。 J-55
4-5	〔糸巻板〕	—	七條左京→	板	包紙「白銀七條左京壱封」「御 裏判□兵衛(カ)はさみ板 入」、2 枚
4-6	神事集帳	明治 31 年 7 月	山伏山町→	冊子	同 41 年迄毎年、地価金高表
4-7-1	元方勘定帳	明治 18 年 申 8 月 3 日	山伏山町→	冊子	構(マ)徳金、新公債買入等 町費運用、昭和 18 年 12 月 21 日迄
4-7-2	借用証	昭和 14 年 7 月 15 日	明倫小学校長蘆田松太郎(印)→ 山伏山町殿	一紙	「明倫誌」編纂資料。7-1 に 挟み込み
4-8	〔封筒〕	—	—	封筒	本紙なし
4-9	〔祇園祭会所飾下札〕	—	—	一紙	「御山 壱番」「御神酒 菊水 鉦町」「御下賜 聖護院御殿」 等 10 点
4-10	月集簿	明治 12 年 4 月	山伏山町→	冊子	月々人別集金印帳
4-11	民費課出計算各表	明治 8 年 6 月	山伏山町→	冊子	会議所入費・道路掃除費・カ ラス点燈費等、こより付札「届 書集メ」
4-12	印鑑録	明治 4 年 9 月	山伏山町→	冊子	表紙「明治七年八月新調ニ相 成不要也シ此俟残シ置事」

山伏山町文書目録

4-13	印鑑録 第七番	明治 7 年 8 月	山伏山町→	冊子	反故紙使用、表紙裏書「明治拾五歳六月改正、新帳へ写済」
4-14-1	金銭出納帳	大正 11 年 7 月	山伏山町→	冊子	昭和 16 年 1 月 16 日迄。表紙付札「旧町内経費出納帳昭和十六年四月 30 日不要トナリ」
4-14-2	特別当座預金通帳	昭和 16 年 1 月 20 日	株式会社名古屋銀行京都支店→ 山伏山町総代富田富太郎殿	冊子	14-1 に挟込
4-15	神事出納記	明治 20 年 7 月 20 日	山伏山町→	冊子	明治 25 年迄、本社神酒料・聖護院祈祷料寄進等
4-16	第弐号法要記	大正 4 年 5 月 11 日	山伏山町→	冊子	町人過去帖写・法要執行記録。領収証・命日書上 16 点を挟込
4-17	〔金品受取書〕	昭和 24 年 8 月 22 日	—	一紙	地藏盆奉納品目録カ
4-18	支払帳	大正 7 年 7 月	山伏山町→	冊子	昭和 15 年 9 月迄、覚・請求書等挟込
4-19	〔封筒〕	—	—	封筒	
4-20	〔木箱〕	—	—	木箱	蓋上書「山伏山町」・蓋裏書「大仏師職」、箱裏書「大仏師職」
4-21-1	報国貯金原簿	昭和 13 年 7 月	山伏山町→	冊子	昭和 16 年 6 月迄。21-1 に 2・3 挟込
4-21-2	明倫学区報国貯金預証	昭和 13 年 7 月	山伏山町→	一紙	15 点
4-21-3	領収証	昭和 16 年 7 月 25 日	野田尚彦 (印) → 町会長岡松茂三郎	一紙	
4-22-1	新旧地処及建家図面	明治 16 年 9 月	—	冊子	22-1 に 2 ～ 6 を挟込
4-22-2	〔建物坪数調査書〕	明治 26 年 3 月 25 日	山伏山町→	冊子	4 点
4-22-3	〔図面〕	明治 26 年 2 月	売渡人木村フジ (印) → 烏帽子屋町 8 番戸買受人桑原常助 (印)	一紙	図面類計 4 点
4-22-4	京都市告示	大正 4 年 3 月 30 日	京都市長法学博士井上密→	冊子	特別税戸別税条例改正
4-22-5	山伏山町番地一覧表	昭和 8 年 8 月 10 日	—	罫紙	
4-22-6	地藏盆御供料	—	—	一紙	
4-23	〔地価・営業税・神事費等受取綴〕	明治 14 年	下京区第三区戸長役場 (印) → 山伏山町	綴	
4-24	〔証書類一括〕	明治 14	—	綴	明治 15 年迄、送籍・死去届、コレラ等対策書
4-25	〔第二類印税見積高他書上綴〕	明治 14 年	—	綴	呉服売高見積・売賃等見積等
4-26	〔雇入届綴〕	明治 14 年	—	綴	
4-27	〔雇入届綴〕	明治 14 年	—	綴	15 年迄
4-28	証 (代金書上)	12 月 20 日	義三郎→御旦那様・上	継紙	翌 5 月 22 日迄、社倉積立・地価割・学校諸費・火防費等
4-29	〔領収証一括〕	—	—	綴	石油、半紙、炭等
4-30	御達し控	—	—	一紙	講入用費、学校会議所入用費の徴収方法、建築有志金決議
4-31	〔添状〕	2 月 2 日	南中井→山本様・平田様	一紙	別証返却
4-32	〔下京第三区民費課出計算用紙〕	—	—	一紙	白紙 4 点
4-33	〔附籍票〕	(明治)	—	切紙	萩野りう、山田はる方へ。同一 2 点

4-34	〔山伏山町戸籍票〕	(明治)	—	一紙	山田はる、養男万助、商業、居住地等
4-35	〔山伏山町戸籍票〕	(明治)	—	一紙	松居浅次郎の商業・旦那寺等。同一 2 点
4-36	〔山伏山町戸籍票〕	(明治)	—	一紙	松居浅次郎の商業・旦那寺等。同一 2 点
4-37	寄留御届	(明治)13 年 2 月 12 日	伍頭山本室光(印)→戸長永田孝助殿	罫紙	松居庄七長男浅次郎、西村政助方へ
4-38	証	明治 10 年 11 月 1 日	山伏山町中(印)→内藤源助殿	罫紙	320 円借用
4-39	証	明治 11 年 12 月 15 日	山伏山町中伍頭奥野与左衛門(印)→内藤源助殿	一紙	220 円借用
4-40	〔集銀等覚〕	正月 21 日	—	一紙	町夫銀・軒役、22 日祇園社御千度等
4-41	〔届出一括〕	—	—	綴	生所・相続・死去等、明治 10 年・14 年
4-42	〔営業税等級調査等一括〕	明治 14 年	—	冊子	営業上り高届
4-43	官幣大社八坂神社祭礼行事次第	大正 15 年 7 月	官幣大社八坂神社清々講社神事係→	罫紙	7 月 17 日神幸祭、7 月 24 日還幸祭の神事次第
4-44	〔領収証一括〕	明治 24	—	封筒	明治 25 年迄の祇園祭「見送り掛け金物」代領収証。封筒 85 点一括、「貨幣入」「室蛸南入ル熊谷商店」
4-45-1	〔祇園祭寄付金目録類〕	明治 24 年 7 月 26 日	寺本勘助→内藤様・熊谷様	罫紙	5 点包紙一括。45-1～9 封筒一括、「前講書類入」
4-45-2	御積り書	明治 24 年 9 月	京都市七条通り新町東入寺本勘助(印)→山伏山町内藤様・熊谷様	罫紙	祇園祭山装飾品
4-45-3	御山修繕有志記名録	明治 24 年 8 月 25 日	山伏山町→	罫紙	寄付金額・氏名
4-45-4	〔山修繕費集金関連文書〕	—	山伏山町→	罫紙	山修繕積立金規則・集金帳簿
4-45-5	規則	明治 15 年 9 月	山伏山町中→	折紙	会議所修理営繕費等積立
4-45-6	〔領収書〕	明治 27 年 3 月	山伏山町→	罫紙	山修繕寄付金・大蓮寺等計 7 点
4-45-7	キステル散	—	京都市室町錦小路下ル薬剤師川塚薬館監製→	袋	多汗症効用薬剤
4-45-8	〔書状〕	8 月 1 日	前川→内藤御氏	一紙	金 20 円借用
4-45-9	〔封筒・包紙類〕	—	—	包紙	—
4-46-1	〔町費徴収簿〕	昭和 13 年 7 月	—	冊子	昭和 15 年迄。46-2 を挟込
4-46-2	講費受領証	昭和 14 年	愛宕神社神楽講(院)→山伏山町中	一紙	昭和 15 年迄緒言・講則
4-47	町内各戸神事蠟燭樟脳控	昭和 12 年 7 月 1 日	—	冊子	昭和 16 年神事分迄。表紙「徳田手控」
4-48	請品配給原簿	昭和 15 年 1 月	山伏山町→	冊子	白紙
T1-1	届出一括	明治 12 年	—	綴	京都府達、送籍願
T1-2	積金渡シ之通	慶応 4 年辰 3 月	山伏山町→仲九町組月当番御町	横帳	西錦小路町・天神山町・菊水鉦町等。包紙付。E-8
T1-3	〔名前札〕	明治 4 年未 9 月	—	切紙	四条通立売西町近江屋又七二女下婢むめ。付箋はずれカ

T1-4-1	〔達〕	壬申 9 月 29 日	京都府→山伏山町光嶋文助方雇人定吉	一紙	定吉逃亡、梅の金遣捨て、罰金 75 銭官納。4-1 ～ 4 包紙一括
T1-4-2	〔達〕	壬申 9 月 29 日	京都府→光嶋文助方雇入下女むめ	一紙	定吉儀主家逃亡、預かり金 1 分 2 朱銭 450 文自用に使ひ捨て
T1-4-3	〔達〕	明治 6 年 3 月 3 日	→山伏山町光嶋文助	一紙	贖金と知らず受取費用す、贖金断裁。A-33
T1-4-4	種痘証符	明治 9 年 4 月	下京第三区山伏山町津荷順助・五男五十吉→京都種痘館	一紙	3 通
T1-5	〔包紙〕	明治 11 年寅 1 月 19 日	—	包紙	「中井証書入」
T1-6	証	戊 7 月 26 日	村田五兵衛 (印) →山伏山御町	一紙	祭服代金受取り
T1-7	〔帯封〕	明治 3 年 2 月	—	帯封	「千枳屋利兵衛讓状并死後讓書忤徳次郎千切屋清兵衛□」
T1-8	買請一札	明治 14 年 6 月 11 日	買請人中森清兵衛 (印) ・ 買主吉村太助 (印) →山伏山町戸長伊藤源助殿・伍頭松居正七殿・御町中	一紙	中井嘉七所持の地所 1 ケ所、建物 3 棟。証券界紙を使用
T1-9	〔勘定書〕	—	—	罫紙	折詰・すし・そば・酒等の代金
T1-10	〔包紙・熨斗袋〕	—	—	包紙	5 点。御山寄進料・御餅料等
T1-11-1	券状控	明治 3 年	山伏山町→	竪帳	家屋敷に関する券状。B-110
T1-11-2	送り状一札之事	明治 3 年庚午 10 月	年寄中野嘉兵衛 (印) →山伏山町御年寄林幸助殿	一紙	橋永武兵衛妹たか、石津發三郎方へ縁付、帯「石津内室」。11-1 に挟込
T1-11-3	乍恐御届奉申上候	明治 4 年 2 月 8 日	年寄林幸助 (印) ・ 五人組頭榎本武兵衛 (印) ・ 中年寄森川吉右衛門 (印) ・ 添年寄増田安兵衛 (印) →京都御政府	一紙	石津發三郎、明治 3 年 11 月に平松家召抱、入籍の記載、付紙「聞届候事」(割印) 、11-1 に挟込
T1-12	借家引取請証簿	明治 8 年 4 月 1 日	—	冊子	明治 22 年迄。B-164
T1-12-1	記	—	借主西澤竹次郎・家族壺名・保証人辻川善兵衛→下京区第八組松木町三条下ル浄土宗城安寺	罫紙	錦小路烏丸東本法然寺町 19 番之内 1 号。12 に挟込
T1-13	〔三ヶ年分集金用紙〕	明治 4 年 11 月	榎本武兵衛借家松見永次 (印) →	一紙	明治 6 年迄の 12 ヶ月押印用
T1-14	〔二ヶ年分集金用紙〕	—	—	一紙	
T1-15	〔月名版木〕	明治元年 11 月	山伏山町→	版木	裏書「明治元年戊辰十一月新調之、山伏山町所持」。13・14 の版木。封筒
T1-16	拾九番借家印鑑	明治 15 歳 2 月	山伏山町→	横帳	万延元年～明治 15 年の借家の借主・引取人・請人・口請人の人名書上。J-2
T1-17	金銭出通	明治 7 年 7 月 1 日	山伏山町筥番→	横帳	明治 7 年 7 月 1 日～明治 11 年 6 月 11 日の金銭のやり取り。E-15
T1-18	諸集帳	明治 16 年 10 月	山伏山町→	横帳	明治 20 年 7 月 13 日迄の役場費等徴収
T1-19	明治十二年諸集帳	明治 12 年 6 月	山伏山町→	横帳	明治 13 年 10 月 18 日迄の学務費等
T1-20-1	金銭出納簿	明治 23 年 2 月	山伏山町→	横帳	大正 8 年 6 月 16 日迄の町内諸費用。20-2 ～ 21 を挟込

T1-20-2	〔半期分金額書上〕	明治 35 年	山伏山町→	切紙	33 年下半期から 35 年下半期分
T1-20-3	受取書	11 月 19 日	→井上清三郎	一紙	社債所得割金
T1-20-4	覚	12 月 9 日	生洲まつ清→山伏山町様	一紙	入用
T1-20-5	銭	4 月	升多カ→町内様	一紙	軍人用御千度代金書上
T1-20-6	〔代金書上〕	4 月	小風やカ→町内様	一紙	半紙代金等
T1-20-7	覚	—	生洲まつ清→上	一紙	御入用の受取書
T1-20-8	覚	—	生洲まつ清→上	一紙	御入用の受取書
T1-20-9	証	明治 39 年 4 月	京都電灯株式会社 (印) →瀧廣三郎	一紙	4 月分点灯料並器具損料領収書
T1-20-10	記	—	八新亭→上様	一紙	料理代金等領収書
T1-20-11	覚	—	生洲まつ清→上	一紙	御入用
T1-20-12	〔金銭受取書〕	—	京都錦西洞院西入たん栄→上	一紙	「頂戴」の朱印、9 円 87 銭御入用
T1-20-13	〔金銭受取書〕	—	京都押小路通麴屋町俵屋酒店→山伏山町様	一紙	朱印「此印章持参之者、御支払被下度候也」
T1-20-14	証	明治 42 年 9 月 5 日	京都電灯株式会社→室町錦上ル松居庄七殿	一紙	取換工賃 1 円
T1-20-15	記	8 月 30 日	蛸薬師堀川角畳権→室町蛸東入野田様	一紙	畳取換代金
T1-20-16	京都飛行協会寄付金控	大正 3 年 9 月	—	罫紙	人名・金銭書上
T1-20-17	覚	12 月 17 日	伊勢長→山伏山町様	一紙	サイダー・清酒等飲食代領収
T1-20-18	記	6 月 12 日	山城宇治花屋敷浮舟園 (印) →上様	罫紙	飲食代領収
T1-20-19	御大典用古幕売渡写	大正 5 年 9 月 5 日	—	罫紙	金銭と人名書上
T1-20-20	覚	大正 7 年 6 月 16 日	ちもと→上様	一紙	代金受取
T1-20-21	証	6 月 18 日	京都竹村家→上様	一紙	酒肴代金受取
T1-21	集帳	明治 23 年 4 月	山伏山町→	横帳	明治 29 年迄の地方税他集金帳
T1-22	利足渡帳	安政 3 年 6 月	山伏山丁→	横帳	明治 6 年 6 月迄。E-3
T1-23	覚	18 日	石津→	一紙	金銭受取書。22 に挟込
T1-24	天王講算用帳	文政 3 年庚辰正月	山伏山町講中→	横帳	明治 8 年迄の講運営。E-1
T1-25-1	講金清算簿	明治 15 年 9 月	山伏山町講係→	横帳	明治 31 年迄の決算表、神事費・見送り修復等
T1-25-2	預ヶ金明細	—	—	綴	25-1 に挟込、こより留め
T1-26-1	諸払帳	明治 17 年 2 月	山伏山町→	横帳	大正 7 年迄の神事用払。26-2 ～ 8 を挟込
T1-26-2	〔代金付〕	—	大福→野田様	一紙	金 4 円
T1-26-3	記	12 月	矢野寅→野田様	一紙	盥の輪の代金書付
T1-26-4	記	—	鳴海餅→山伏山町様	一紙	鏡餅の請求書
T1-26-5	記	明治 34 年 4 月 25 日	日ノ出→山伏山町様	一紙	切餅の請求書
T1-26-6	〔領収証〕	明治 34 年 3 月 28 日	日の出→山伏山町様	一紙	2 円受領、「四条通室町東泉春」の印
T1-26-7	〔代金人名書上〕	—	—	一紙	鉛筆書
T1-26-8	〔山建入用書上〕	—	→山伏山御町様	一紙	「一、参円八拾九銭山建及其他用」

T2-1	御触箱	—	山伏山町→	木箱	法量 274 × 74 × 60、蝶番により片開、表墨書「御触」、裏墨書「山伏山町」内部に「早々巡達箱」「町役人」等多数書込
T2-2	御触箱	—	山伏山町→	木箱	法量 274 × 75 × 60、蝶番により片開、表貼紙「格別有用之御布告二候、篤御熟読[]」裏書「山伏山町」内部に「早々順達可成候」「山伏山町」等多数書込
T2-3	覚	卯 6 月 17 日	革棚町 (印) →山伏山御町	切紙	金 1 分 2 朱 157 文八組入用受取。3 ～ 21 こより一括
T2-4	覚	12 月 8 日	さか武→山伏山御町	切紙	年頭分貸金渡。4 ～ 9 一括
T2-5	覚	正月	さか武→山伏山御町	切紙	竹切人足分貸渡
T2-6	証	卯 4 月 30 日	永観堂幹事 (印)・米取締方 (印)・車屋惣中 (印) →山伏山町	切紙	日岡峠蹴上迄道普請寄進金受取
T2-7	覚	卯 12 月	堺武→山伏山御町	切紙	書届手形料受取
T2-8	覚	10 月	さか武→山伏山御町	切紙	筆耕料等の書付 2 点
T2-9	覚	12 月	堺武→山伏山御町	切紙	利足銀書付
T2-10	覚	6 月 15 日	堺武→山伏山御町	切紙	金銭受取。10 ～ 13 一括
T2-11	覚	6 月 18 日	革棚町→内藤様	切紙	八組入用金
T2-12	覚	卯 4 月	饅頭屋丁田村久兵衛→仲九丁組内藤源助様	切紙	金銭受取
T2-13	覚	慶応 3 卯年 6 月	仲拾町小結棚町吉田太助 (印) →仲九町御組内藤源助様	切紙	金銭受取
T2-14	〔触留〕	4 月 11 日	当町菊水鉾町→山伏山町	切紙	寅 5 月米穀高騰、窮民へ米・金銀銭を施行指示書
T2-15	覚	7 月 12 日	伊藤→内藤様	一紙	虫払入用之割・御八組入用之割・町代助成集金書上
T2-16	〔願書〕	正月	尾州御蔵物売捌所千田忠三郎→近江屋與兵衛	切紙	尾州御蔵織物売渡代金の未渡の訴
T2-17	覚	慶 応 丁 卯 年 7 月 10 日	仲拾町小結棚町吉田太助 (印) →仲九町御組内藤源助様	切紙	八組諸入用集金受取
T2-18	覚	慶 応 丁 卯 年 7 月 10 日	仲拾町小結棚町吉田太助 (印) →仲九町御組内藤源助様	切紙	虫払之割金受取
T2-19	口上	卯 3 月 15 日	枳屋甚兵衛 (印) →御年寄源助様	切紙	明地の増屋万兵衛への貸地と住居建築の届
T2-20	〔町内聞調願〕	4 月 5 日	納方年行司→	切紙	風呂敷紛失
T2-21	覚	11 月 29 日	升山与左衛門 (印) →山伏山御町	一紙	金 50 両沽券近江屋儀兵衛請取
T2-22	〔帯封〕	慶 応 卯 (3)10 月 24 日	—	帯封	「中井嘉七 譲り状式通」
T2-23	〔帯封〕	嘉永 3 戊 10 月 14 日	中西屋彦太郎→祖母せい・母まさ	帯封	「死後ハ祖母せい母まさ並に町中へ」
T2-24	〔種痘証符一括〕	—	川木音吉・長女さき→	一紙	袋内に 22 点一括、袋「戸籍、種痘証符入、山伏山町」
T2-25	〔京都府令書第百号〕	明 治 8 年 2 月 28 日	京都府知事長谷信篤→	一紙	1 円銀貨模様量目等改正、政府通達書
T2-26	京都市教育会報記念号こども博覧会	明治 40 年 3 月 15 日	京都市教育会事務所→	冊子	明治 39 年 11 月開催、京都市立記念動物園園内情報。26 ～ 40 紐一括

T2-27	京都市教育会報第 十四号	明 治 40 年 12 月 12 日	京都市教育会事務所→	冊子	京都市教育会の理事退任の記事、科学の進歩と宗教にかんする論説等
T2-28	京都市教育会報第 十三号	明 治 40 年 5 月 5 日	京都市教育会事務所→	冊子	ラッド博士演説文・議事録等
T2-29	京都府教育会雑誌第 百八拾九号	明治 41 年 2 月 20 日	京都府教育会→	冊子	女子教育の発展に関する論説等
T2-30	京都府教育会雑誌第 百八拾八号	明治 41 年 1 月 20 日	京都府教育会→	冊子	明治 41 年を迎えるに関する論説等
T2-31	京都府教育会雑誌第 百八拾六号菟道稚郎 子皇子頌徳紀念号	明 治 40 年 11 月 20 日	京都府教育会→	冊子	菟道稚郎子皇子の歌等
T2-32	京都府教育会雑誌第 百八拾五号	明 治 40 年 10 月 20 日	京都府教育会→	冊子	女子師範学校の特設に関する論説等
T2-33-1	京都府教育会雑誌第 百八拾七号	明 治 40 年 12 月 20 日	京都府教育会→	冊子	明治 40 年を送るに関する論説等
T2-33-2	講習会開設広告	明治 40 年 12 月	京都府教育会→	一紙	「裁縫教授法」の講習
T2-34-1	京都府教育会雑誌第 百八拾貳号	明治 40 年 7 月 20 日	京都府教育会→	冊子	丁未の歳運を論ず等
T2-34-2	京都府下教育当事者 氏名	明治 40 年 7 月 20 日	京都府教育会→	一紙	氏名名簿の表紙
T2-34-3	生徒補欠募集・入会 申込二対スル注意	明治 40 年 7 月 20 日	京都府教育会→	一紙	京都府教育雑誌第 182 号附録
T2-34-4	[学校名・幼稚園名・ ～ 7 校長名等一覧]	明治 40 年 7 月 20 日	京都府教育会→	一紙	京都府教育雑誌第 182 号附録
T2-35	京都府教育会雑誌第 百八拾三号	明治 40 年 8 月 20 日	京都府教育会→	冊子	新旧両事務官の送迎に関する論説等
T2-36	京都府教育会雑誌第 百八拾四号	明治 40 年 9 月 20 日	京都府教育会→	冊子	学力低下の声に関する論説等
T2-37	京都府教育会雑誌第 百八拾号	明治 40 年 5 月 20 日	京都府教育会→	冊子	教育上の根本問題に関する論説等
T2-38	京都府教育会雑誌第 百八拾壹号	明治 40 年 6 月 20 日	京都府教育会→	冊子	東宮殿下山陰行啓に関する論説等
T2-39	京都府教育会雑誌第 百七拾七号	明治 40 年 2 月 20 日	京都府教育会→	冊子	歴史上より丁未の歳運を論ずに関する論説等
T2-40	京都府教育会雑誌第 百七拾六号	明治 40 年 1 月 20 日	京都府教育会→	冊子	常識と判断に関する論説等
T2-41	[包紙]	明 治 16 年 12 月 10 日	助役山田孫兵衛→	一紙	「町白箱書附不用ト見做ス分此所纏候」熊谷佐兵衛の改名の御酒献納の目録を転用。41 ～ 135 こより一括
T2-42	口達	明治 17 年 1 月 24 日	総代山田孫兵衛 (印) → 内藤氏 (印)・石津氏 (印)・小田氏 (印) 他 6 名	罫紙	戸籍作成に印形持参
T2-43	約定証	明治 16 年 8 月 26 日	山伏山町講掛内藤源助 (印)・掛込人小森仁兵衛→	一紙	金 10 円の講金掛込
T2-44	約定証	明 治 16 年 8 月 3 日	山伏山町西村宇三吉 (印)・講掛り内藤源助 (印)・町惣代中井嘉七 (印)・伍頭山田源兵衛 (印) → 西村小三郎後見人西村裕治郎 (印)・同人係り山本定光 (印)	一紙	金 44 円町内の積立講へ西村小三郎より掛込、2 通

T2-45	約定証	明治 16 年 8 月 3 日	山伏山町講掛り内藤源助 (印)・町惣代中井嘉七 (印)・伍頭山田源兵衛 (印)・西村小三郎 (印) → 西村小三郎後見人西村裕治郎 (印)・同人係り山本定光 (印)	一紙	金 33 円町内の積立講へ西村小三郎より掛込
T2-46	約定証	明治 16 年 8 月 3 日	山伏山町西村小三郎 (印)・講掛り内藤源助 (印)・町惣代中井嘉七 (印)・伍頭山田源兵衛 (印) → 西村小三郎後見人西村裕治郎 (印)・同人係り山本定光 (印)	一紙	引出 2 の 45 と同じ内容
T2-47	〔平田平次郎家建屋間取図〕	—	山伏山町廿六番戸平田平次郎 (印) →	一紙	
T2-48	〔中西こう家建屋畳数図〕	明治 17 年 申 1 月 18 日	山伏山町中西こう →	一紙	
T2-49	〔山田孫兵衛家建屋畳数図〕	明治 17 年 第 1 月 18 日	山伏山町山田孫兵衛 →	一紙	
T2-50	〔廣岡豊七家建屋畳数図〕	—	廣岡豊七 →	一紙	
T2-51	〔澤井榴亭家建屋畳数図〕	—	山伏山町三拾貳番戸澤井榴亭 (印) →	一紙	
T2-52	〔深見覚家建屋畳数図〕	—	深見覚次郎 →	一紙	
T2-53	〔中川家建屋畳数図〕	明治 17 年 第 1 月 18 日	中川和助 →	一紙	
T2-54	〔松居庄七家建屋畳数図〕	明治 17 年 1 月 18 日	松居庄七 →	一紙	
T2-55	〔小田七左衛門家建屋畳数図〕	明治 17 年 1 月 1 日	山伏山町小田七左衛門 →	一紙	
T2-56	〔岡阿弥福太郎家建屋畳数図〕	明治 17 年 1 月 18 日	山伏山町岡阿弥福太郎 →	一紙	
T2-57	〔津荷順輔家建屋間取図〕	明治 17 年 1 月 18 日	山伏山町津荷順輔 →	一紙	
T2-58	〔井上清三郎・熊谷佐兵衛家建屋間取図〕	明治 17 年 1 月 18 日	山伏山町井上清三郎・熊谷佐兵衛 →	一紙	熊谷佐兵衛家間取図
T2-59	〔吉田伊助家建屋畳数図〕	明治 17 年 1 月 18 日	山伏山町吉田伊助 →	一紙	
T2-60	〔糸井岩藏家建屋畳数図〕	—	山伏山町糸井岩藏 →	一紙	
T2-61	〔内藤万二郎家建屋間取図〕	—	山伏山町内藤万二郎 →	一紙	
T2-62	〔内藤友二郎家建屋間取図〕	—	山伏山町内藤友二郎 →	一紙	
T2-63	〔木村由治良家建屋畳数図〕	明治 17 年 1 月 18 日	山伏山町八番戸木村由治良 →	一紙	
T2-64	〔吉村太助家建屋畳数図〕	—	吉村太助 →	一紙	
T2-65	〔中井嘉七家建屋間取図〕	—	山伏山町拾番戸中井嘉七 →	一紙	
T2-66	〔太田芳三郎家建屋畳数図〕	—	山伏山町太田芳三郎 →	一紙	

T2-67	〔村田喜兵衛家建屋間取図〕	—	山伏山町村田喜兵衛 (印) →	一紙	
T2-68	〔山城五郎七家建屋畳数図〕	—	山伏山町拾七番山城五郎七→	一紙	
T2-69	〔石津發三郎家建屋間取図〕	明治 17 年 1 月 18 日	山伏山町石津發三郎→	一紙	二階
T2-70	〔熊木忠七家建屋畳数図〕	—	熊木忠七→	一紙	
T2-71	〔今井こう家建屋畳数図〕	明治 17 年 1 月 18 日	山伏山町今井こう→	一紙	
T2-72	〔長谷川源次郎家建屋間取図〕	明治 17 年 1 月 18 日	長谷川源次郎 (印) →総代山田孫兵衛殿	一紙	
T2-73	道路修繕ニ附建札御願	明 治 16 年 10 月 16 日	山伏山町総代山田孫兵衛 (印) →下京区長竹村藤兵衛殿	罫紙	山伏山町道路工事、車止めの建札願、見取図
T2-74	〔戸籍簿関連諸届等控〕	明治 15 年 7 月 19 日	—	綴	入籍御願・死亡御届・寄留御届・出産報告等
T2-75	〔戸籍簿関連諸届等控〕	明治 15 年	—	綴	出生届・印鑑改願・御奥印願等
T2-76	市街地税未納年賦延納の義ニ付願	明治 15 年	山伏山町→京都府知事北垣国道殿	綴	改租不足額年賦延納手続・地租年賦延納証書・地租年賦金一割利引千円年率表等が附属
T2-77	記	明治 16 年 2 月 22 日	惣代内藤→御町中	冊子	市街地税年賦未納、30 年延納、金額・氏名の書上
T2-78	〔戸籍簿関連諸届等控〕	明治 15 年	—	綴	西村家の明治 15 年度上半季営業税の金銭書上・改印御届・家業相続願等
T2-79	〔山伏山戸数・等級別割付金書上〕	—	—	一紙	京都絵入新聞の附録に裏書
T2-80	町中諸祝儀改正規則	明 治 16 年 11 月 13 日	—	冊子	祝儀内容別金額の書上、明治 13 年讓状写、綴じ紐はずれ
T2-81	証	明治 16 年 5 月 17 日	木瓜原町木瓜原狂病院会計局 (印) →山伏山町御中	一紙	金 20 銭受納
T2-82	証	明 治 16 年 7 月 8 日	八坂法観寺世話方 (印) →山伏山町御惣代中	一紙	宝塔修繕有志金 20 銭受納、裏面書込
T2-83	証	明 治 16 年 8 月 7 日	山伏山町内藤源助 (印) (印切除)・証総代中井嘉七 (印) →林藤助殿	罫紙	券状 2 通御書換出願
T2-84	道路修繕ニ附建札御願	明 治 16 年 10 月 10 日	山伏山町総代山田孫兵衛 (印) (印抹消) →戸長山川虎之輔殿	罫紙	山伏山町道路工事、車止の建札願
T2-85	道路修繕ニ附建札御願	明 治 16 年 10 月 10 日	山伏山町総代山田孫兵衛 (印) (印抹消) →下京区区长竹村藤兵衛殿	罫紙	山伏山町道路工事、車止の建札願
T2-86	〔町内苗字書上〕	—	—	罫紙	名前に合点、金 10 円 50 銭
T2-87	保勝会主意書	明治 15 年 10 月	保勝会→	一紙	保勝会発足の主意
T2-88	規約	—	保勝会→	一紙	保勝会の補助金・株券手続き用紙、三井銀行が取締
T2-89	報告	—	京都木瓜原狂病院院長三上天民 (印) →	一紙	抑狂病院設立・入院定則
T2-90	〔本院ヲ設立スル起因〕	—	木瓜原狂病院院長三上天民→	一紙	明治 8 年癲狂病院設立から本院設立経緯等
T2-91	〔讓証・証文書上〕	—	—	罫紙	文書名と所在地の書上

T2-92	確証	明治 16 年 7 月 1 日	山伏山町総代中井嘉七 (印) (印抹消)・会計掛熊谷佐兵衛 (印) (印抹消) → 町内講掛方内藤源助殿	罫紙	金 130 円の預かり
T2-93	〔諸経費金銭書上〕	明治 17 年 8 月 6 日	—	罫紙	救助費、学校諸費等覚書
T2-94	証	—	—	罫紙	金 10 円掛込金等下書
T2-95	保勝会人名録	—	—	冊子	二品熾仁親王・九條道孝・岩倉具視他
T2-96	保勝会規則	明治 14 年 12 月	—	冊子	保勝会の役職・会議運営方法等
T2-97	保勝会役員姓名録	明治 16 年 5 月 1 日調	—	一紙	久邇二品親王・小松二品親王等
T2-98	〔包紙〕	—	—	包紙	「金三拾錢吉田伊兵衛」
T2-99	〔包紙〕	—	澤井榴亭→御山	包紙	「山寄進金三拾錢澤井榴亭」
T2-100	〔包紙〕	—	木村→御山	包紙	「御山寄進金壹円木村」
T2-101	〔包紙〕	—	熊谷芳三郎→御山	包紙	「御山寄進金三圓熊谷芳三郎」
T2-102	〔包紙〕	—	中川和助→御山	包紙	「御山寄附金拾貳円五拾錢中川和助」
T2-103	〔包紙〕	—	中川和助→御樽	包紙	「御樽金五円也中川和助」
T2-104	〔包紙〕	—	—	包紙	「献酒壹樽」
T2-105	証	—	山伏山町講掛り内藤源助・町総代中井嘉七・伍頭山田孫兵衛→	罫紙	町内積立講金預かり証の雛形
T2-106	〔内藤氏立替代金書上〕	—	—	罫紙	地券書換代・印紙代等
T2-107	証	—	—	罫紙	町内の講金払込雛形
T2-108	証	—	→山伏山御町中	罫紙	町内の講金払込雛形
T2-109	〔包紙〕	—	山伏山町内藤源助→	包紙	「校納金拾円也山伏山町内藤源助」
T2-110	売渡証	—	—	罫紙	土地の番地・地価等の情報書上
T2-111	京都絵入新聞第百三十三号附録	明治 16 年 8 月 3 日	—	一紙	金禄・銀貨・金貨、米、油、茶等の相場
T2-112	〔売渡約定証控〕	—	売渡人西村卯之吉 (印)・買受人内藤源助→下京区長竹村藤兵衛殿	罫紙	山伏山町 528 番地・代金等、裏面も記載、加筆訂正多く判読困難
T2-113	〔売渡約定書下書〕	—	売主内藤源助・総代中井嘉七・伍頭山田孫兵衛他 1 名→林藤助殿	罫紙	裏面に書込 (譲渡物件か)
T2-114	〔明治九・十・十一年分地租未納金上納届〕	明治 16 年 4 月	惣代内藤源助 (印) → (印)「下京区三組戸長役場」	一紙	4 月 5 日限の金 32 円 20 銭 3 厘、他手数料 3 銭 2 厘を四拾九銀行へ預け
T2-115	〔取調依頼〕	明治 16 年 2 月 27 日	惣代内藤源助 (印) → 山川虎之助殿	罫紙	公債証取調
T2-116	口演	明治 15 年 2 月	清々講社第拾四号明倫組→	罫紙	八坂神社社西楼門の修復資金集募
T2-117	記	明治 16 年 1 月	総代内藤源助→戸長山川虎之助殿	冊子	山伏山町の土地売買、建物の番地・譲主等
T2-118	営業売上高御届	明治 15 年 6 月 9 日	伍頭内藤源助→戸長山川虎之助殿	冊子	明治 14 年 1 月～12 月の太物御売・呉服卸売商等業種・戸別に記載
T2-119	証	明治 15 年 8 月 16 日	清水寺随求堂修理掛 (印) → 山伏山町御中	一紙	修繕助成の寄付金 80 銭の受取
T2-120	〔書状〕	4 日	→御旦那様	継紙	七日御頼申

T2-121	〔西村卯之吉家戸籍写〕	明治 15 年 4 月 15 日	—	野紙	西村祐次郎から卯之吉への家督譲渡等
T2-122	記	—	—	綴	すだれ・檜木棒・毛せん等代金書上
T2-123	記	—	—	野紙	すだれ・箱・雨障子等代金書上、 ¥ 金 1 円 72 銭
T2-124	証	明治 15 年 5 月 2 日	目疾地藏 (印) → 山伏師町様	一紙	金 1 円の有志金の受領書
T2-125	証	明治 15 年 2 月 7 日	因幡堂薬王院 (印)・世話係七ヶ町 (印) → 山伏山町	一紙	本堂再建有志金 3 円の受領書
T2-126	〔名前札〕	—	—	一紙	「占出山町退役高山弥助・当役三橋又兵衛」
T2-127	証	明治 6 年 5 月	戸長山田孫兵衛・伍頭西村弥助 (印部分切除) → 正副区長殿	一紙	玄米 2 石 5 斗代の金銭預かり証
T2-128	預り米証	明治 8 年 4 月	伍組頭中井嘉兵衛・町中総代内藤源助 (印部分切除) → 正副区長戸長御中	一紙	当学区百石備米の内、山伏山町分玄米 3 石 6 升 7 合
T2-129	入院治療ヲ請フ順序	明治 15 年 10 月 16 日	木瓜原町私立木瓜原狂病院 →	一紙	入院における手続や賄料・看護人料・往診料、医員の指図に従う等の規約
T2-130	湖東八幡同触神社国風冠歌立机輯	—	発起鶴翼社徒松花・桂水・蜻蛉 →	一紙	冠歌の募集、 ¥ 切が 6 月、近江八幡集所にて酒飯等
T2-131	明治十五年度連合町会決議録	明治 15 年 8 月 8 日	下京区第三組連合町会議長荒木重兵衛・副議長渡邊喜助 → 本組戸長山川虎之助殿	冊子	当組各町協議費の予算案、翌 8 月 9 日戸長認可。印刷物
T2-132	明治十六年度学校協議費議案	明治 16 年	下京第三組戸長山川虎之助 →	冊子	印刷物
T2-133	明治十六年度協議費議案	明治 16 年	下京第三組戸長山川虎之助 →	冊子	印刷物。追議案の書込み
T2-134	明治十五年度連合町会決議録	明治 15 年 8 月 10 日	下京区第三組連合町会議長荒木重兵衛・副議長渡邊喜助 → 本組戸長山川虎之助殿	冊子	学校費予算、8 月 9 日戸長認可。印刷物
T2-135	地価控	—	—	一紙	
T2-136-1	金銭出納簿	明治 7 年第 1 月吉日	山伏山町 →	冊子	明治 11 年迄の烏帽子代・菓子料等の町内諸費用。E-15
T2-136-2	覚	3 月まへ	升屋 → 御町内様	一紙	1 月・2 月酒代請求。136-1 に挟込
T2-137	種痘証渡帳	明治 15 年 2 月	山伏山町 →	冊子	明治 17 年迄の各家の家長押印。表紙朱書「第壹号」
T2-138	券状御請調印控	明治 3 庚午年閏 10 月 19 日	山伏山町 →	冊子	法律改正により印鑑の控。J31
T2-139	商売取調書	明治 4 年辛未 6 月	山伏山町 →	冊子	家持・借家人と家業・屋号等。G-4
T2-140	商売取調書	—	山伏山町 →	冊子	家持・借家人の家業。G-16
T2-141	地之口銀当座集帳	明治 2 巳年 6 月	山伏山町 →	冊子	寄町別に地の口米高と金・銭換算を記録。D II -13
T2-142	議事者	慶応 4 戊辰年 6 月	山伏山町 →	冊子	年寄・惣代を入札で選出する京都府布告の写し。A-4
T2-143	京都御所司代様御代日記并町御奉行様御代録	—	山伏山町 →	冊子	文久 2 年迄の京都所司代・町御奉行の在職期間等。D I -14
T2-144-1	諸券雛形	明治 8 年 5 月	西京下第三区井上清兵衛 →	冊子	止宿届・出産届・入学願・徴兵雛形等 11 点

T2-144-2	〔送籍届〕	—	木村和吉→戸長兵藤吉左衛門	罫紙	木村末吉と母ミセ同居
T2-145	他処人来住奉公人雇入仕法書	—	京都府→	冊子	戸籍作成で奉公人届出の指示。A-22
T2-146	寄留人名録仕法書	明治4年辛未12月	京都府→	冊子	戸籍作成で寄留人届出の指示。A-30
T2-147	五軒組合卯印戸籍并寄留人共	明治8年5月	卯伍頭預り→	冊子	平田家・中井家・中西家の戸籍と旦那寺
T2-148	〔戸籍雛形〕	明治元年	—	冊子	戸籍作成方法の注意書。A-21
T2-149	印鑑録	明治15年6月	山伏山町→	冊子	実印・検印・金銭受取印・押切名印の記録
T2-150-1	勸進帳	明治32年	上京区聖護院門跡(印)→	冊子	表紙題箋に「高祖神変大菩薩千式百年御遠忌勸進帳」
T2-150-2	〔名刺〕	—	—	一紙	上京区聖護院町 弥勒院住職 岩本慶雅
T2-151	民費課出計算各表	明治7年12月	山伏山町→	冊子	戸別に布告入費・学校費・火防入費等の入金記録、住民戸籍・旦那寺等。E-13
T2-152	拾壹番下京三番組寺請状	明治2年巳8月	山伏山町→	冊子	明治6年迄檀家と旦那寺の宗派・所在等。J-19
T2-153	地所間数取調書	—	山伏山町戸長上尾徳兵衛・副区長村田五兵衛・区長永田孝助→ 京都府知事榎村正直殿	冊子	地主人名・地番・間口・奥行・坪数等。G-17
T2-154	第五番改正図籍帳	明治4年	山伏山町→	冊子	明治3年10月の券状(地籍図)。G-3
T2-155-1	神事器具録	明治3庚午年5月	山伏山町→	冊子	祇園祭の諸道具を番付、所在・管理者等の記録。朱書。D-II 22
T2-155-2	山建記	—	山伏山町→	冊子	祇園祭諸道具・担当者等書上。D-II 22
T2-156-1	年廻留 近江屋與兵衛過去帳写	文化14丁丑5月15日	山伏山町→	横半帳	元祖与兵衛他戒名扣、大正3年迄法要・施餓鬼等記録、大正4年第2号新調。D I -1
T2-156-2	記	6月3日	(印)「京都先斗町川新」→山伏山町御中様	一紙	すみ・車代等代金勘定書(請求書)
T2-156-3	収証	明治34年5月11日	中堂寺出入石徳代理木村栄次良(印)→山伏山町御中	一紙	石塔直し代金受取
T2-156-4	〔参・不参者人名書付〕	—	—	一紙	✂ 18名に合点・不参を記す
T2-156-5	記	—	河原町四條上ルたん市→上	一紙	御入用代金受取
T2-156-6	〔施餓鬼料等代金書上〕	—	—	一紙	和尚・役僧への供養料・お茶・饅頭等、全欠力
T2-156-7	覚	—	—	一紙	大・中・小別に施餓鬼料・僧侶人数の組寺内定式書付
T2-156-8	収票	壬辰閏4月24日	中堂寺納所→山伏山町御役中	一紙	御施餓鬼料等代金受取
T2-156-9	記	5月11日	(印)「京都先斗町川新」→上	一紙	金銭書付
T2-156-10	記	5月12日	(印)「京都先斗町川新」→上	一紙	金銭書付
T2-156-11	〔代金書付〕	—	(印)「嵯峨嵐山瓢亭支店」→	一紙	

T2-156-12	〔参・不参者送付物 覚〕	—	—	一紙	膳部・饅頭
T2-157-1	存生中相続譲り・死 跡相続譲り・分宅譲 り・死後譲り・買得 書留	明治 16 年	山伏山町→	冊子	昭和 21 年迄町中諸祝儀改正 規則等
T2-157-2	地所建物売渡二付御 届	明治 9 年 11 月 28 日	滋賀県県犬上郡彦根旗本町の谷 澤ヨシ→山伏山町総代中川和助	罫紙	佐々木トミへ売渡、明治 20 年佐々木遠方・婦人で管理を 山伏山町に託す
T2-158	人別送請取帳	明治 3 庚午年 10 月	山伏山町→	縦帳	明治 8 年迄記載、表紙「拾三 番」。J-31
T2-159	御証印願書	明治 6 年 6 月	山伏山町→	冊子	印税上納、山伏山町各商家の 帳簿冊数と紙数を京都府へ報 告。明治 7 年分も合冊。C I -49.50
T2-160	譲状控帳	文政 12 年丑正月 吉日	室町通山伏山町→	縦帳	文化 5 年～天保 6 年。文政 13 年 8 月 14 日譲状写の挟 込文書。B-8
T3-1-1	和歌短冊	—	梅雅→	一紙	菊水鉾前掛・見送新調。1- 1・ 2 包紙一括
T3-1-2	和歌短冊	—	梅雅→	一紙	山伏山埴縁新調
T3-2-1	証	壬申 12 月 22 日	両区長→山伏山町	一紙	金 7 両 2 分受取、2-1 ～ 7 包 紙一括
T3-2-2	証	壬申 11 月	村田五兵衛 (印) →山伏山御町	一紙	40 軒半役金一封受取
T3-2-3	証	壬申 11 月	副区長西邨治兵衛 (印) →山伏 山御町	一紙	役料 40 軒 5 分役分落手
T3-2-4	証	2 月 28 日	下京第五区梅玉 (マ) 町→	一紙	御召状受取
T3-2-5	証	11 月 1 日	御幸町田中幸介 (印) →山田孫 兵衛様	一紙	御召状受取
T3-2-6	覚	明治 6 年 6 月 21 日	区長 (印) →山伏山町	一紙	金 7 両受取
T3-2-7	証	9 月 28 日	下京第二十二区南町戸長若松草 太郎 (印) →山伏山町様御使	一紙	御召状 1 通の受取
T3-3	〔包紙〕	—	→山伏山町	包紙	「沽券状、山伏山居宅南隣買 得一軒役」、本紙なし
T3-4	証	明治 15 年 9 月 7 日	山伏山町総代内藤源助 (印抹 消)・山田孫兵衛 (印抹消) →戸 長山川虎之助殿	一紙	金 20 円の講掛金受取
T3-5	記	(明治)16 年 2 月 22 日	本課→内藤源助様	罫紙	売渡金書上。包紙「送券受取 書、占出山町」
T3-6	人籍請取証	明治 7 年 3 月	上京第十六区新元町戸長岩田治 兵衛 (印) →山伏山町伍長西村 政助殿	罫紙	竹下きくが橋本治助家に借宅
T3-7	〔包紙〕	—	—	包紙	「人籍送り請取一札、大阪上 人町十人年寄」、本紙なし
T3-8	〔帯封〕	天保 13 年 8 月 4 日	—	帯封	明治 2 年迄の帯封 17 点、こ より 1 点、6 月 23 日付火防 費代金取証 1 点、計 20 点
T3-9	〔包紙〕	—	高田吉之助・中森吉郎→	包紙	山寄進 30 銭、2 枚
T3-10	第老回浚除済之証	—	下京区第三組町→	一紙	清井社通常、第 2 類請負約の 記入用紙

T3-11	正金御引替ニ付請取調印	已 8 月 23 日	山伏山町→年寄佐兵衛 (印)・五人組頭幸助 (印)・五人組頭嘉七 (印)	冊子	伊勢屋源助 (印)・近江屋嘉七 (印)・近江屋次郎 (印) 他 12 名の計 1100 両の受取
T3-12	〔旅宿届雛型他触書写〕	9 月	大年寄→	罫紙	廃仏毀釈、仏像破損等
T3-13	水帳古張札	—	—	一紙	住所・名前の記載、元治元年・文化 14 年文久閏 8 月・安政 3 年等糊はずれ付箋 42 点包紙一括
T3-14	〔包紙〕	—	→奥野氏	包紙	「地所売請一札」
T3-15	〔包紙〕	—	—	包紙	「古譲り状」
T3-16	送籍請券	明治 6 年 11 月	仏具屋町戸長片山長兵衛 (印)→山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	西村直治郎が不縁、加籍
T3-17	〔包紙〕	—	—	包紙	種痘証包紙、「証符」
T3-18	〔帯封〕	(明 治)17 年 1 月 19 日	—	帯封	「内置数惣書取下書」
T3-19	〔等級人名書上〕	—	—	一紙	9 等～ 20 等
T3-20	広告	明治 19 年 1 月	裏寺町通蛸薬師之凶子南入第十六番戸京都清井社→	一紙	京都清井社設立と浚除の回数・費用
T3-21	〔京都府達写〕	12 月	京都府→	一紙	京都府役人の陣笠・袖印・小袴等の出役時着具取決め。21～34 一括
T3-22	御断書	午 3 月	—	一紙	昨 21 日止宿人取調届書の返書
T3-23	御宸翰之御写	3 月	総裁・輔弼→山伏山町	継紙	五箇条誓文
T3-24	京都府下人民告諭大意	明治紀元戊辰 (1) 年	京都府→	冊子	御用御書物所京東洞院三條上ル町 村上勘兵衛の官版
T3-25	〔包紙〕	明 治 7 年 9 月 13 日	—	包紙	「平六一件、但シ他之分も有」、本紙なし
T3-26	〔人名書付〕	—	—	一紙	「元蔵人方七條博夫、白木屋助造富小路高辻上ル町」等、28 の包紙カ
T3-27	〔七條博夫屋敷等書付〕	—	家代白木屋助造→	一紙	地下官人元蔵人七條の屋敷・土蔵所有、人別は元出納平田従五位方へ差出
T3-28	〔妹こう縁付書〕	3 月 19 日	—	一紙	安政 3 年 9 月大坂の大和屋利兵衛方へ嫁ぐ
T3-29	〔包紙〕	—	—	包紙	「当町用人平六願書、佐助・親類惣代弥兵衛」、本紙なし
T3-30	〔京都府判府事他衣服雛形〕	—	—	継紙	衣服の図
T3-31	〔包紙〕	慶 応 元 丑 年 8 月 14 日	年寄五人組→	包紙	升屋甚兵衛が所持の抱地改絵図、本紙なし
T3-32	〔包紙〕	明治辰年	悲田院庄兵衛→	包紙	「上、願書」、本紙なし
T3-33	〔包紙〕	明治辰年	—	包紙	「平六願書」、本紙なし
T3-34	〔冷泉町他書付〕	天保 13 年	升万印→岩崎恒次	一紙	「勘兵衛娘」等、「岩崎恒次殿請状」の帯封
T3-35	小屏風入用	—	—	支柱	屏風止め用木材カ
T4-1	〔金銭書上〕	—	—	一紙	〆金 18 両ト 34 貫 550 文
T4-2	天然痘済	明治 7 年 4 月	高岡→山伏山町西村政助雇入亡そよ廿四歳	一紙	4 月 22 日検 (高岡の朱印)
T4-3	天然痘済	明治 7 年 6 月	高岡→山伏山町内藤源助廿五歳	一紙	4 月 22 日検 (高岡の朱印)

T4-4	〔学校講釈聴聞札〕	—	—	木札	表書「聴聞」、毎月4日午半刻から学校講釈に出覺。紐付。N-3
T4-5	〔学校講釈聴聞札〕	—	—	木札	表書「聴聞」、毎月4日午半刻から学校講釈に出覺。紐付。N-3
T4-6	〔番組札〕	—	—	木札	「下京三番組(印)」 「山伏山町」。紐付
T4-7	〔当番札〕	—	—	木札	「下京第三区」「当番」、側面に「三番」。紐付
T4-8	〔板〕	—	—	木板	記述無・穴
T4-9	〔木栓〕	—	—	木栓	穴・こより付
T4-10	〔縄〕	—	—	縄	撚り上げ木綿紐2本
T4-11	〔天王講版本〕	—	—	版本	山伏山町内の天王講案内文
T4-12	〔断簡〕	14日	村井→内藤御旦那様	断簡	包紙断簡等
T5-1	売渡証	明治16年8月7日	売渡主西村卯之吉(印)・後見人西村祐治郎(印)・親族藤川秀治郎→内藤源助殿	一紙	借地の建物。1～32こより一括
T5-2	売渡証	明治16年8月7日	売渡主西村卯之吉(印)・後見人西村祐治郎(印)・親族藤川藤治郎(印)→内藤源助殿	継紙	地所2か所に建物各3棟
T5-3	解傭軍夫救護会設立ノ要旨	明治28年2月	解傭軍夫救護会会長公爵近衛篤磨(印)→	一紙	日清戦争による疾病救護・伝染病の防御、軍国衛生の大計
T5-4	〔抵当建物見取図〕	明治15年4月27日	建物持主奥野與左衛門(印切除)→川崎弥三郎殿	一紙	図は朱書
T5-5	借用金証券	明治11年11月30日	借主奥野與左衛門(印切除)・請人土井治兵衛(印切除)→熊木忠七殿	継紙	
T5-6	買得請合一札	明治15年5月24日	買請人黒田徳兵衛(印)・買主熊木忠七(印)→山伏山町戸長山川虎之助殿・伍頭内藤源助殿	一紙	
T5-7	買得請合一札	明治15年11月25日	買請人小林儀兵衛(印)・買主関嘉七(印)→山伏山町戸長山川虎之助殿・伍頭内藤源助殿	一紙	建物2棟
T5-8	〔売渡建物見取図〕	明治16年5月2日	奥野與兵衛(印)→中井嘉七殿	一紙	山伏山町建物4ヶ所。包紙「御断書、西村祐次郎」
T5-9	〔包紙〕	明治24年6月	—	包紙	「町家之土蔵、熊谷氏ト取換セノ条約書類有之候事、大正七年九月三十日全額支払ニ附全部事済之事」
T5-10	〔包紙〕	—	—	包紙	地所・建物売渡等下書き反故紙
T5-11	条約証	明治11年7月1日	山伏山町伍頭奥野與左衛門(印)・平田平七(印)・山本定光(印)→熊谷佐兵衛殿	継紙	町中持の土蔵大破、材木売却代金を新調土蔵代価、祭礼山道具預け等
T5-12	証符	—	—	包紙	痘瘡証符の包紙
T5-13	〔断簡〕	明治22年2月18日	内藤源助(印)・藤井善七(印)・井上清三郎(印)他5名→	継紙	定約前書と継続立会による連印書、前後欠
T5-14	〔賃入建物見取図〕	明治11年11月30日	建物持主奥野與左衛門(印切除)→熊木忠七殿	一紙	図は朱書
T5-15	〔売渡建物見取図〕	明治16年8月7日	建物持主西村卯之吉(印)→内藤源助殿	一紙	図は朱書

T5-16	御断書	明治 14 年 1 月 14 日	戸主西村祐次郎 (印)・後見人秋山幾次郎 (印)・親類総代西村太兵衛 (印) → 山伏山御町総代平田平七殿・御町中	罫紙	養亡父不行届、今後町法一切相守
T5-17	売渡証	明治 16 年 5 月 2 日	売主奥野與左衛門 (印)・売受人川崎弥三郎 (印) → 中井嘉七殿	一紙	建物 4 棟
T5-18	借入金券証書	明治 15 年 4 月 27 日	借主奥野與左衛門 (印切除)・同区四区坂東屋町証人山田安兵衛 (印切除) → 川崎弥三郎殿	継紙	地所 1 箇所・建家 3 棟・土蔵 1 棟抵当
T5-19	売渡約定証	明治 16 年 未 8 月 7 日	山伏山町売主内藤源助 (印抹消) → 林藤助殿	継紙	地 2 ヶ所・建物 6 棟
T5-20	売渡証	明治 18 年 7 月 17 日	売主中井嘉七 (印)・橋弁慶町証人藤井藤助 (印) → 山伏山町町中総代吉村太助殿	継紙	分地・建物 5 棟
T5-21	〔町内土蔵敷地買入〕	大正 7 年 9 月 30 日	町内総代井上清三郎 →	罫紙	
T5-22	証	大正 7 年 9 月 30 日	熊谷佐兵衛 (印)・証人熊谷芳兵衛 (印) → 山伏山町代理井上清三郎殿	罫紙	土蔵 1 ヶ所売渡
T5-23	〔屋敷地譲状〕	明治 15 年 11 月	山伏山町売主倉富つき (印)・譲主右同人 (印)・釜座町買主関嘉七 (印)・山伏山町譲受主倉富末吉 (印) → 下京区長何村藤兵衛殿	綴	
T5-24	売渡証書	明治 16 年 5 月 2 日	山伏山町売主奥野與左 (印切除)・妙満寺前 (町) 証人川崎弥三 (印切除) → 山伏山御町惣代中井嘉七殿	冊子	地所 1 ヶ所、建家 3 棟、土蔵 1 ヶ所
T5-25	証	明治 16 年 4 月 7 日	内藤源助 (印抹消) → 林孝輔殿	罫紙	買得入費金請取
T5-26	証	明治 16 年 第 4 月 4 日	西邨宇之吉 (印)・後見人同祐次郎 (印)・親族藤川秀次郎 (印) → 内藤源助殿	罫紙	建家 2 ヶ所、庭木・庭石 1 式売渡
T5-27	御請証	明治 24 年 2 月 18 日	亀屋彦兵衛事長男倉本彦兵衛 (印)・親類山口了太 (印) → 内藤源助殿	罫紙	亡父冥加金・利子金 15 円下渡し
T5-28	御届書	明治 14 年 1 月 11 日	山伏山町西村政助 (印) → 山伏山町惣代平田平七殿	罫紙	西村政助病氣、秋山幾次郎後見依頼
T5-29	御断書	明治 14 年 1 月 14 日	戸主西村祐次郎 (印)・後見人秋山幾治郎 (印)・親類総代西村太兵衛 (印) → 山伏山町総代平田平七殿・御町中	罫紙	養亡父不行跡、町法一切背かず差入一札
T5-30	譲り御願	明治 14 年 1 月 17 日	故政助兄西村太兵衛 (印)・祐次郎後見人秋山幾次郎 (印) → 伍頭平田平七殿	罫紙	政助所有の建物 6 棟を息子祐次郎へ
T5-31	証	明治 11 年 2 月 15 日	平田平七 (印) → 奥野與兵衛殿	罫紙	温泉講金預証、明治 13 年内藤源助殿宛

T5-32	証	明治 14 年 8 月 12 日	西村祐次郎 (印)・後見人秋山幾次郎 (印)・親類惣代西村太兵衛 (印)→山伏山町伍頭平田平七殿・御町中	罫紙	西村政助死亡、西村幾次郎相続
T5-33	天王講割渡控	明治 6 年 11 月 11 日	—	横帳	金銭の出入。E-11
T5-34	証府受取簿	明治 20 年 10 月	山伏山町→	冊子	明治 26 年 7 月迄の種痘証受取記録
T5-35-1	御番衆寄宿増町願二附諸入用金高写	万延元年庚申 8 月	古京仲九町組山伏山町→	横帳	川西勘定帳・仲拾町組等入用金勘定書。E-4.5
T5-35-2	覚	3 月 10 日	石店京西洞院通御池上ル町山城屋弥助→山伏山町様	一紙	代金受取。35-1 に挟込。E-5
T5-36	〔罫紙〕	—	—	罫紙	実線のみ
T5-37	支配中書類入	明治 19 年 8 月 4 日	総代内藤万助→	袋	38 ～ 136 は 37 の袋一括
T5-38	〔貸家家賃等取調〕	明治 35 年 4 月 19 日	京都市下京区役所 (印)→山伏山町共同組長御中	綴	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧
T5-39-1	〔京都府告諭〕	明治 33 年 10 月 8 日	古町総代吉村佐助 (印)→坪倉氏 (印)・宇野氏 (印)・藤井 (印) 他 23 名	綴	徴兵現役者入営の告諭を順達
T5-39-2	〔感謝状〕	明治 34 年 4 月	大谷派本願寺保信会 (印)→山伏山町御中	一紙	大谷派本願寺記念法会装飾尽力
T5-40-1	〔貸家家賃等取調〕	明治 33 年 4 月 10 日	京都市下京区役所 (印)→山伏山町共同組長御中	綴	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧、挟込文書 1 点
T5-40-2	〔貸家家賃等取調〕	明治 32 年 4 月 17 日	京都市下京区役所 (印)→山伏山町共同組長御中	綴	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧
T5-40-3	〔貸家家賃等取調〕	明治 34 年 4 月 25 日	山田茂助 (印)→山伏山町共同組合長御中	罫紙	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧
T5-40-4	〔貸家家賃等取調〕	—	—	一紙	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧
T5-41	〔京都府告諭〕	明治 32 年 10 月 22 日	総代熊谷佐兵衛 (印)→坪倉氏 (印)・宇野氏 (印)・藤井 (印) 他 25 名	冊子	徴兵現役者入営の告諭を順達
T5-42-1	〔区役所通達〕	3 月 29 日	総代桑原常助 (印)→坪倉氏 (印)・宇野氏 (印)・藤井 (印) 他 27 名	一紙	書類早々順達
T5-42-2	〔通信省告示〕	明治 32 年 3 月 18 日	下京区役所→下京区各町共同組合長御中	一紙	郵便税改正
T5-43	〔参集通知〕	明治 30 年 4 月 14 日	京都市参事会→	一紙	両陛下 4 月 18 日午後 2 時に烏丸通到着
T5-44	〔豊太閤三百年大祭余興募集〕	明治 31 年 4 月 15 日	豊国会祭典部余興掛→	一紙	屋台曳・趣向服装にて参詣等
T5-45	〔人名・金銭書上〕	—	—	罫紙	
T5-46	〔武徳会会員・特別会員名書上〕	明治 32 年 5 月 3 日	—	罫紙	藤井善七、井口清三郎、内藤源助他 12 名
T5-47	〔貸家料路敷金調〕	明治 32 年 5 月 10 日	京都市下京区役所 (印)→山伏山町共同組長御中	一紙	催促状、蒟蒻版印刷
T5-48	〔衛生演説会案内〕	明治 32 年 4 月	京都私立衛生支会副会頭猪子止戈之助→	一紙	19 日市会議事堂にて医学博士三宅秀・笠原光興・島村俊一の三氏

T5-49	京都市達第四五号	明治 30 年 10 月 11 日	京都市参議会京都府知事男爵山田信道→	冊子	公同組合設置標準
T5-50	〔貸家家賃等取調〕	明治 31 年 3 月 日	京都市下京区役所→山伏山町公同組長御中	綴	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧
T5-51	〔貸家家賃等取調〕	明治 30 年 3 月 27 日	京都市下京区役所→山伏山町公同組長御中	綴	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧
T5-52	〔貸家家賃等取調〕	30 年 4 月 5 日	—	一紙	貸家の家賃・敷金・借主・持主・住所・氏名一覧
T5-53	〔寄付金領収書〕	明治 30 年 5 月 19 日	大阪府庁内小楠公五百五十年祭委員長吉原三郎(印)→山伏山町御中	一紙	小楠公 550 年祭の資金
T5-54-1	〔京都府告諭〕	明治 30 年 5 月 22 日	京都府知事男爵山田信道→	一紙	麻疹流行の兆し、予防法・養生法・消毒法の概要を提示
T5-54-2	〔兩陛下京都見送通知〕	明治 30 年 5 月	京都市参事会→	一紙	本月 4 日送所参集の服装心得
T5-55-1	〔封筒〕	—	創設廿五年紀念博覧会→山伏山町総代御中	封筒	55-2 の封筒
T5-55-2	〔創設廿五周年紀念博覧会案内状〕	明治 30 年 3 月 26 日	創設廿五年紀念博覧会→山伏山町総代御中	一紙	4 月 1 日岡崎町博覧館にて開催の博覧会への入場券・茶券と案内状
T5-56	〔内閣告示・市達通知〕	明治 30 年 1 月 21 日	総代松居庄七(印)→清水氏(印)・藤井氏(印)・八木氏(印)他 26 名	綴	皇太后陛下大葬
T5-57	〔寺什宝鑑査状受領証雛型〕	—	何某印→全国宝物取調委員長九鬼隆一殿	一紙	蒟蒻版印刷
T5-58	井水試験成績書	明治 27 年 9 月	京都市参事会(印)→山伏町二九番戸理髪業野田常七	一紙	清・反応中性・有機物少・硫酸中・塩素多の成績
T5-59-1	〔京都府告諭〕	明治 28 年 2 月 12 日	京都府警部長田中貴道→京都衛生支会々頭渡邊千秋殿	一紙	内国勸業博覧会・遷都紀念祭開催、伝染病予防・衛生準備
T5-59-2	〔京都府告諭〕	明治 28 年 2 月	京都市下京区長辻信次郎→	一紙	清潔法執行の別紙(京都府訓令、遷都紀念祭・内国博覧会の衛生準備)訓令
T5-60	達之写	明治 28 年 7 月 10 日	京都府知事渡邊千秋→	一紙	コレラ流行により、官国弊社私祭・府社以下祭礼の差止令
T5-61	便所消毒の注意	明治 28 年 5 月	京都市参事会→	一紙	広島県・兵庫県・大阪府等に虎列刺病流行
T5-62	〔地方税戸別記入用紙〕	明治 23 年 2 月 日	下京区役所→山伏山町	一紙	地方税(市税)戸数割徴収要用に戸数取調、2 点
T5-63	〔地方税鑑札書替証印通知〕	明治 28 年 3 月	下京区役所→山伏山町総代御中	一紙	28 年度
T5-64	〔聖上通輦参集案内〕	—	京都市奉迎送有志者→	一紙	七条停車場にて来る 14 日迎送
T5-65	長期市公債募集広告	(明治)28 年 3 月	京都市参事会→	一紙	
T5-66	〔親睦会案内〕	明治 28 年 11 月 15 日	五條警察署部内衛生係有志者→山伏山町中村利平殿	一紙	コレラ病終息に尽力
T5-67	〔聖上通輦参集案内〕	—	京都市奉迎送有志者→	一紙	七条停車場にて来る 14 日迎送
T5-68	新築建物及坪数	明治 27 年 6 月 14 日	右町総代内藤万助→下京区長辻信次郎殿	冊子	
T5-69	〔入学式挙行通知〕	明治 27 年 3 月 28 日	明倫尋常小学校→山伏山町総代御中内藤忠三郎・松居定次郎	一紙	4 月 4 日入学式へ父兄の出校依頼、蒟蒻版印刷
T5-70	〔人口調査依頼〕	明治 27 年 4 月 19 日	下京区役所→山伏山町惣代御中	冊子	失踪人の苗字と人数の記載

T5-71-1	〔新築坪数記入依頼〕	明治 27 年 5 月 25 日	下京区役所→山伏山町惣代御中	一紙	
T5-71-2	新築シタル家数及坪数調	明治 27 年 6 月 14 日	内藤万助→下京区長辻信次郎殿	罫紙	
T5-72-1	〔地方税鑑札書替証印通知〕	明治 27 年 3 月	下京区役所→山伏山町総代御中	一紙	27 年度鑑札・標牌の提出依頼
T5-72-2	〔営業上り金高届依頼書〕	明治 27 年 1 月 15 日	下京区役所営業部→山伏山町総代御中	綴	届の書式
T5-72-3	営業上り金高届	明治 27 年	→京都市下京区長辻信次郎殿	一紙	書式
T5-72-4	〔役所出頭令〕	(明治)23 年 7 月 10 日	下京区長竹村藤兵衛 (印) →山伏山町総代御中	罫紙	至急談示の件
T5-73-1	〔封筒〕	—	岐阜県→京都市室町錦上熊谷佐兵衛殿	封筒	「岐阜県用」朱書
T5-73-2	岐阜愛知両県下震災地救助金有志	明治 24 年 11 月 6 日	浦口徳次郎→	綴	救助金の金額・人名
T5-73-3	証	(明治)24 年 11 月 6 日	日出新聞社 (印) →山伏山町熊谷佐兵衛殿外数名御中	一紙	震災義捐金領収証
T5-73-4	〔義捐金取調〕	明治 26 年 3 月 22 日	岐阜県→室町錦上熊谷佐兵衛殿	一紙	義捐者各自の族籍住所・姓名・金額等取調依頼、蒔蒔版印刷
T5-74	自京都至舞鶴鉄道関係図	明 治 25 年 10 月 26 日	村上勘兵衛→	一紙	岐阜～岡山の停車場・開業路線・予定路線の記載
T5-75	〔火防消防組非常召集演習通知〕	明 治 24 年 7 月 8 日	下京区役所→町惣代御中	一紙	南禅寺以西の鴨川筋の疎水運河兩岸にて
T5-76	〔コレラ病伝播、摂生方注意通達〕	明 治 24 年 10 月 20 日	下京区役所→山伏山町衛生組長中西重固殿	一紙	21 日午前 9 時に下京区第三尋常小学校への参集、蒔蒔版印刷
T5-77	記	明治 25 年 8 月	清々講社委員→	一紙	私祭不足額 1 町あたりの出金願
T5-78	〔地方税鑑札書替証印通知〕	明治 25 年 4 月 13 日	下京区役所収支係→山伏山町惣代御中	一紙	各営業者からの差出依頼
T5-79	〔員数取調依頼書〕	明 治 26 年 1 月 4 日	京都市左京区役所→総代御中	一紙	明治 26 年 1 月 1 日現在の町中合算記入
T5-80	〔地租納入人員取調依頼書〕	明治 25 年 12 月 1 日	下京区役所→町総代御中	一紙	区内居住者の地租納入人員、納租額の種類・納付先の記載指示
T5-81	〔京都市立盲啞院基金願〕	明治 24 年 1 月	京都市教育常設委員内貴甚三郎・雨森菊太郎・多田佐兵衛→	一紙	京都市立盲啞院設立後の経営難、有志寄付金募集
T5-82	〔死没軍人遺族取調依頼書〕	明 治 25 年 4 月 4 日	京都市下京区役所→山伏山町町惣代御中	一紙	佐賀の乱・萩、神風連の乱・西南戦争における戦病没者遺族の有無
T5-83	〔京都市居住の通勤者人員調査依頼書〕	明治 25 年 6 月 21 日	下京区役所→山伏山町内藤源助殿	一紙	11 点、貴店への通勤人数
T5-84	〔印鑑差出依頼書〕	明治 26 年 3 月 23 日	京都市下京区役所→町総代御中	一紙	土地建物及船舶所有者に雛形の通り役所へ提出
T5-85	拾銭紙幣交換期限注意通知	明治 6 年 2 月 9 日	京都市下京区役所→各町総代御中	一紙	2 月 27 日を期限に日本銀行支店及び同行各地代理店にて引き換え
T5-86	〔区内建物種類・坪数・等級記入依頼〕	明治 26 年 2 月 15 日	京都市下京区役所→山伏山町総代御中	一紙	区内の建物の等級・坪数記載の雛型、凡例
T5-87	〔印鑑簿改正調印提出依頼〕	明治 26 年 1 月 28 日	京都市下京区役所 (印) →山伏山町総代御中	一紙	印鑑用紙に調印、様式例・注意事項
T5-88	〔種痘施行通知〕	明 治 25 年 1 月 6 日	下京区役所→山伏山町衛生組長殿	一紙	1 月 10 日 12 時、元三組小学校

T5-89	府令	明治 23 年 3 月 14 日	京都府知事北垣國道→	冊子	長屋建築規則・各種届等
T5-90	急達	—	衛生組合幹事→各衛生組合御中	野紙	27 日午後 4 時天神山町矢部重蔵父虎列利にかかり死去
T5-91	領収書	明治 24 年 1 月 20 日	渡辺 善助 (印)・山川虎之助 (印)→山伏山町中殿	一紙	尚武義会議損金。24 年 11 月 20 日の 2 点
T5-92	〔人名・人数書上〕	—	—	一紙	町内雇入・入部・旅行部等
T5-93	〔種痘施行通知〕	明治 24 年 6 月 5 日	下京区役所→山伏山町衛生組長 中西重固殿	一紙	来る 6 月 9 日元三組小学校
T5-94	〔京都府告諭〕	明治 25 年 2 月 16 日	下京区役所→各町・各御町	一紙	衆議院選挙実施
T5-95	家屋・倉庫豊数軒数調書	明治 28 年 1 月 21 日	総代中川和助 (印)→下京区長 辻信次郎殿	一紙	2 通
T5-96	御請書	明治 21 年 5 月	山伏山町二三番戸平民町総代中川和助 (印)→京都府知事北垣國道殿	野紙	街路中へ根石据付願御聞届
T5-97	根石据付工事落成御届	明治 21 年 5 月 17 日	山伏山町二三番戸平民町総代中川和助 (印)→京都府知事北垣國道殿	野紙	山伏山飾付のため
T5-98	道路修繕ニ附建札日延之御願	明治 16 年 11 月 21 日	山伏山町総代山田孫兵衛 (印)→下京区長竹村藤兵衛殿	野紙	
T5-99	街路中へ根石据附之儀ニ付願	明治 21 年 5 月 5 日	町総代中川和助 (印)→京都府知事北垣國道殿	綴	戸長中山研一 (印)、京都府知事聞届 (印)、図
T5-100	道路修繕付車止日延御願	明治 16 年 11 月 24 日	山伏山町総代山田孫兵衛 (印)→下京区長竹村藤兵衛殿	野紙	下京区第三組戸長山川虎之助 (印)、下京区長竹村藤兵衛の聞届の印
T5-101-1	水害民江救助之義ニ付御願	明治 18 年 7 月 11 日	山伏山町惣代吉村太助 (印)→京都府知事北垣國道殿	冊子	寄付金額・寄付者氏名書上。寄付金領収書挟込
T5-101-2	〔礼状〕	明治 31 年 5 月	大谷派本願寺保信会 (印)→山伏山町御中	一紙	本願寺慧燈大師四百回忌御法会尽力
T5-102	家屋修繕ニ付足代取設願	明治 15 年 10 月 12 日	町中惣代内藤源助 (印)→下京区長竹村藤兵衛殿	一紙	当町中持家の建屋破損修繕、図面
T5-103-1	御受書	明治 14 年 12 月 28 日	→北垣國道殿	一紙	学校建設資金寄付、賞与受取書雛形
T5-103-2	〔褒賞状〕	明治 21 年 1 月 6 日	京都府知事従四位勲四等北垣國道 (印)→山伏山町中	一紙	棄児救助費差出
T5-104	市街地税未納年賦延納義ニ付願	明治 15 年 3 月 13 日	地主総代松居庄七 (印)・同中井嘉七 (印)・山田孫兵衛 (印)→京都府知事北垣國道殿	綴	明治 9～11 年分の延納仕訳書、第三組戸長山川虎之助の印
T5-105	〔貸家家賃等取調〕	明治 27 年 5 月 24 日	京都市下京区役所 (印)→元三組山伏山町総代御中	一紙	「貸家所有者住所氏名及家賃取調書」挟込
T5-106	〔学務委員通達〕	—	元三組学務委員→総代御中	一紙	第一軍司令部着京、停車場へ出迎。蒔蒨版
T5-107	〔家数・坪数調〕	6 月 13 日	区役所→御町中	一紙	新築・取壊家屋の調べ
T5-108	口達	明治 25 年 12 月 25 日	総代熊木忠七 (印)→熊谷氏 (印)・清水氏 (印)・藤井氏 (印) 他 27 名	冊子	国旗掲揚・年頭御礼・皇室肖像等の区役所通知及び町中地蔵尊への餅備を順達
T5-109	〔出張診療所開設調依頼書〕	明治 27 年 4 月 27 日	下京区役所衛生部 (印)→元三組衛生組長幹事森善之助殿	一紙	許可年・場所・開業地・医師氏名等を回答。蒔蒨版印刷
T5-110	献納金申出書	明治 27 年	→陸軍恤兵監軍騎兵中佐大蔵平三殿	一紙	軍資金献納証の雛形

T5-111	写(京都府訓令第百十号)	明治27年7月31日	京都府知事代理京都府書記官一坂俊太郎→郡役所・京都市上下京区役所・警察署・同分署・町村役場	一紙	天然痘発生、臨時種痘・衛生組合法波及完備を期す
T5-112	第二回軍事公債応募書	明治27年12月	→下京区区长辻信次郎殿	一紙	軍事公債応募用紙
T5-113	軍事公債応募申込書	—	→日本銀行京都出張所御中	一紙	明治27年8月大蔵省告示第32号
T5-114	〔御達〕	(明治)30年7月1日	本町総代松居庄七(印)→坪尾氏(印)・藤井氏(印)・八木氏(印)他25人	冊子	明治27年戦役遺族扶助受取
T5-115	〔戸籍簿借用願〕	1月21日	松居庄吉→野田常七様	一紙	戸籍簿写加除
T5-116	〔種痘証施行通知〕	明治31年3月14日	下京区役所(印)→山伏山町衛生組長御中	一紙	
T5-117	〔営業者注意書〕	明治31年1月15日	京都商業会議所→	一紙	営業税申告書作成
T5-118	〔取調書〕	明治30年1月	京都下京区役所(印)→山伏山町惣代御中	一紙	徴発により家屋・倉庫・寺院取調
T5-119	通知書	明治30年6月9日	京都下京区役所(印)→衛生幹事組長御中	一紙	病気発生
T5-120	〔達書〕	明治30年7月26日	京都下京区役所→衛生幹事組長御中	一紙	伝染病予防告諭
T5-121	京都府告諭第七号	明治30年7月24日	京都府知事男爵山田信道→	一紙	赤痢発生、衛生に注意
T5-122	〔貸家台帳用紙〕	—	京都府→	一紙	番戸・1ヶ月貸家料・家主住所氏名の記載欄
T5-123	〔貸家家賃等取調依頼書〕	明治29年4月15日	京都市下京区役所(印)→山伏山町長惣代御中	一紙	区内各町貸家家賃并住民氏名
T5-124-1	小楠公五百五十年祭典心得	明治30年3月	—	一紙	寄付者に御神酒・宴会招待等。蒟蒻版
T5-124-2	〔小楠公五百五十年祭典開催通知〕	明治30年3月	男爵山田信道→	一紙	寄付金依頼
T5-125	市達二十四号	明治34年4月14日	京都市参事会京都府知事男爵山田信道→	一紙	両陛下行幸で警戒
T5-126	義捐金募集	明治29年9月	京都府庁内風水災義捐金品取扱委員→	一紙	先月末以来防風雨、府下各地非常の災害
T5-127	〔達書〕	明治29年1月15日	下京区役所営業部→山伏山町惣代御中	一紙	営業税・雑種税届出、明治28年中営業金高届依頼
T5-128	京都府告示第百一十一号	明治34年3月30日	京都市参事会京都府知事男爵山田信道→	一紙	所得税調査委員半数改選
T5-129-1	口達	明治24年12月27日	総代浦江徳次郎(印)→熊谷氏(印)・清水氏(印)・藤井氏(印)他29名	一紙	国旗章掲げ、幕張り、軒釣提灯出す
T5-129-2	口述	(明治)25年12月27日	総代浦江(印)→山伏山町各居御中	罫紙	地藏尊へ戸毎に小餅御供
T5-130	土蔵所有者調書	(明治)26年2月	山伏山町総代熊木→	罫紙	
T5-131	委任状	明治8年	—	一紙	雛形
T5-132	路傍へ板囲取設願	明治25年5月3日	井上清三郎(印)→下京警察署長警部児玉藤介殿	一紙	家改造のため
T5-133	〔府令廿七号等写〕	明治23年	京都府知事北垣国道→	一紙	本文朱書、長屋建築規則5月1日より施工
T5-134	〔種痘証施行通知〕	明治30年8月15日	下京区役所(印)→衛生組長御中	一紙	8月19日午後8時より元三組小学校にて

T5-135	〔通知書〕	明治 31 年 7 月 23 日	下京区役所 (印) → 山伏山町御中	一紙	営業税納期経過
T5-136	〔下京区役所通達〕	明 治 30 年 10 月 29 日	下京区役所→	一紙	京都府参事会よりの公同組合設置に関する通牒
T5-137	覚	庚午 (明治 3) 7 月	山伏山町→	横帳	半期算用集・諸勤化半季集・溝浚道普請入用等町内諸費徴収等。137 ～ 164 紐一括。E-24
T5-138	〔町内諸費徴収算用帳〕	庚午 (明治 3)	山伏山町→	横帳	勤化・券状諸入用・普請等。E-19
T5-139	下京三番組年寄名前控	—	—	横帳	釜座町・衣棚町等 27 ケ町の先役・跡役等。D I -10
T5-140	口上	卯月 7 日	山伏山町→	横帳	用人平六養子祝金出金書上。C II -24
T5-141	〔町内諸費徴収算用帳〕	辛未 (明治 4)	山伏山町→	横帳	学校火防人足雇賃、車橋道直し、学校砂運び諸入用、盗賊用心立番賃等。E-25
T5-142	〔戸別坪数書上〕	申 7 月 15 日	—	綴	G-12
T5-143	〔月々出銭書上〕	申 3 月 1 日	—	横帳	ごもく捨雇置。E-27
T5-144	〔諸費用徴収帳〕	申 2 月 25 日	山伏山町→	横帳	火防費・大年寄役所費用等書上。E-20
T5-145	〔改〕	壬申 10 月 5 日	—	横帳	坪数・所有者書上、代金総計等。G-5
T5-146	〔戸別坪数書上〕	壬申 10 月	—	横帳	G-6
T5-147	覚	—	—	綴	鉄瓶・土鍋・小鉢等の道具書上
T5-148	御断書	明治元年辰 10 月	年寄議事者孫兵衛 (印) ・同佐兵衛 (印) ・同幸助 (印)(3 名とも印抹消) → 京都御府御役所	折紙	小学校所御取建見込み、裏に勘定書。C I -15
T5-149	覚	—	—	横帳	役料出銭等金銭書上。E-27
T5-150	〔金銭・人名等書上〕	—	—	折紙	
T5-151	〔組別構成員書上〕	—	—	折紙	子組～辰組、各 5 名 1 組に頭
T5-152	二月廿四日御集会御名前控	2 月 24 日	—	横帳	鯉山町、七観音町等町名。D I -12
T5-153	御町中顔集	未 12 月	—	折紙	地藏堂屋根直し・提燈張替等資金徴収、顔 16 軒割。E-18
T5-154	〔未年盆前後入用金書上〕	辛未 8 月	山伏山町年寄五人組→	横帳	地藏盆費用明細・寄付者名等
T5-155	〔代金明細書〕	—	山伏山町→上	折紙	炭・薪代、料理人雇賃等。E-30
T5-156	〔白米六合・銀下渡勘定書〕	—	—	折紙	賄料等、160 関連。E-31
T5-157	諸勤化半季集	明治元辰 12 月	—	折紙	金銭・人名書上。E-24
T5-158	〔炭・風呂敷代等代金勘定書〕	—	山伏山→上	折紙	9 月 6 日～ 10 日の膳部・料理人雇賃等。E-32
T5-159	〔炭・風呂敷代等代金勘定書〕	—	—	折紙	9 月 6 日～ 10 日の膳部・料理人雇賃等。E-29
T5-160	〔白米六合・銀下渡勘定書〕	—	—	折紙	別紙賄賄料明細書、156 関連。E-28
T5-161	組内寄合当番控	巳 3 月	—	綴	百足屋町・骨屋町・小結棚町等計 27 町、2 ～ 7 月触番控

T5-162	年頭諸入用銀寄御集 会順席書	慶応3卯年12月 24日	—	折紙	錦小路室町東入町の上下京会 所にて、南良組御倉丁千田右 八郎他10名。D I -5
T5-163	大割下勘定御席順書	慶応3卯年12月 16日	—	折紙	上下京会所にて南良組千田忠 八朗他9名。D I -4
T5-164	〔諸入用徴収帳〕	未12月	山伏山町→	横帳	火防人足・紙代等。E-17
T5-165	地所間数取調書	明治10年8月	→京都府知事榎村正直殿	綴	雛形
T5-166	焼棄物記	—	—	綴	コレラ病類似病人の使用物、 龍安寺にて焼却
T5-167	御断書	明治7年9月1日	姥柳町伍頭惣代西羽善徳(印)・ 山伏山町伍頭惣代中西久右衛門 (印)→上	罫紙	室町蛸薬師通角ガラス灯破 損、新築まで休灯
T5-168	死去御届	明治10年9月13 日	中西てい(印)・毘沙門町医馬杉 定久(印)・戸長太田理助(印)→ 京都府知事榎村正直殿	罫紙	中西てい甥常太郎リユーマチ 罹患
T5-169	死去御届	明治8亥年11月 6日	戸主倉谷益二郎(印)→伍頭中 井嘉兵衛殿	罫紙	倉谷益二郎長男和三郎胎毒
T5-170	死去御届	明治9年3月29 日	伍頭中井嘉兵衛(印)・瀬戸物 町医山本五溪→	罫紙	中西久右衛門卒中風
T5-171	〔触書写〕	11月	—	縦帳	角力・芝居等木戸銭不払・御 土居敷入札等。A-71
T5-172	金銭差出控録	明治8年5月	山伏山町→	縦帳	学校建設・道路整備等。E-14。 E-14
T5-173-1	〔神事用諸費書出一 括〕	大正7年7月3日	神谷伊兵衛商店他→山伏山町	綴	店別に神事用諸物代金請求書 14点。173-1・2小封筒一括
T5-173-2	〔神事用諸費書出一 括〕	大正7年7月13 日	京都市麩屋町通二条南入池田治 兵衛→山伏山町殿御中	一紙	神事用諸物の勘定書等、計5 点。封筒
T5-174	覚	明治3年4月19 日	丹後屋忠兵衛→御年寄	一紙	丹後屋忠兵衛が丸屋喜作娘ふ みを娶る
T5-175	管外男之部備入寄留 名簿	明治20年1月	—	冊子	名表の貼付、「寄留届」4通 挟込
T5-176	府下男之部備入寄留 名簿	明治20年1月	—	冊子	名表・寄留届・死亡届の貼付、 「死亡届」・「寄留届」2通挟 込
T5-177	〔封筒〕	—	—	封筒	底部に朱書
T5-178	印鑑証明願	明治34年3月28 日	京都市下京区内藤源造(印)→ 京都市下京区片山正中殿	罫紙	不動産登記申請
T5-179	委任状	—	—	冊子	委任状・地所建物価格御届・ 戸籍証明預等各種雛形
T5-180	証券印紙規則書	明治23年12月 23日	惣代倉富末吉(印)→熊谷氏 (印)・清水氏(印)・深井氏(印) 他28名	綴	登記法説時示取計方順達、3 枚の綴
T5-181	委任状之事	明治20年9月10 日	石津発三郎(印)→	一紙	宅地売渡の件を野田常七に委 任
T5-182	委任状之事	明治20年9月24 日	内藤源助(印)→	一紙	宅地売渡の件を野田常七に委 任
T5-183	地所建物所有証明願	明治20年9月12 日	本組戸長役場→	罫紙	陸軍部測量局より標旗建設の ため、注意喚起の通達
T5-184	地所建物売買二付登 記願	明治20年9月10 日	売渡主中川和助(印抹消)・買 受人浦江徳治郎(印)→	一紙	
T5-185	委任状之事	—	山伏山町石津發三郎印→	罫紙	宅地売渡に野田常七を代理人

T5-186	決議証	明治 25 年 9 月 5 日	山伏山町吉村太助 (印)・内藤万助 (印)・中川和助 (印) 他 3 名→	冊子	宅地 118 件、建物 5 棟を代金 745 円で買受
T5-187	印鑑証明願	明治 20 年 9 月 10 日	浦江徳次郎 (印) → 京都登記所御中	冊子	印鑑証明願雛形等
T5-188	証	—	—	罫紙	証文図面認料・登記印紙代等勘定書
T5-189	〔登記証明届書〕	明治 28 年 11 月 14 日	京都市下京区長辻信次郎 (印) → 山伏山町藤井元七殿	一紙	不動産買受
T5-190	印鑑証明願	—	—	—	印鑑証明の雛形と野田常七、浦江徳次郎の印鑑証明 2 通
T5-191	改印御届	—	—	一紙	磨滅により改印時に、別紙印鑑を添え提出の雛形
T5-192	代兼委任状	—	—	罫紙	代兼委任状 1 点・連名書 2 点の雛形
T5-193	承諾書	明治 25 年 12 月	親族→京都市七番所御中	罫紙	山伏山町中村利平へ物件売渡
T5-194	委任状	明治 25 年 12 月	俵屋町石津儀一後見人・実母石津→	罫紙	地所建物売買に野田常七を部理代人に定め、売買物件を裁判所へ登記を請求のこと
T5-195	委任状之事	明治 17 年 5 月	今井こう→	罫紙	金録公債証書の利子受取代理人に野田常七を指名する
T5-196	〔土地売渡見取り図〕	明治 20 年 9 月 10 日	売渡人石津發太郎 (印抹消)・買受人浦江徳太郎 (印切除) →	一紙	売渡宅地の寸法・坪数図
T5-197	〔売渡建物間取図〕	明治 22 年 2 月	—	一紙	建物売買の雛形
T5-198	〔売渡建物見取図下書〕	明治 20 年 9 月 10 日	売主山伏山町中・共有総代中川和助印・買受人浦江徳次郎印→	一紙	買受の宅地内建物配置図
T5-199	売渡書	—	売渡人山伏山町中・借家地主石津發三郎・内藤源助他 3 名→浦江徳次郎殿	一紙	宅地・建物代金受取
T5-200	〔土地売渡見取図〕	明治 20 年 9 月 10 日	山伏山町売渡人石津發太郎 (印)・買受人浦江徳次郎 (印) →	一紙	—
T5-201	売渡証	—	山伏山町売渡人石津發太郎・買受人内藤源助→浦江徳治郎殿	一紙	宅地 14 坪 2 合 7 夕
T5-202	委任状	明治 25 年 12 月	俵屋町石津健一後見人実母石津→	罫紙	地所建物売買に野田常七を部理代人
T5-203	送籍願	巳 1 月 6 日	山伏山町八番組木村ふじ家族とも→三拾四組栗田口町聯入ル戸長山田昌平殿	一紙	上京第三拾四組栗田口町第拾七番戸に借家借受
T5-204	〔売買等登記金額書上〕	—	—	罫紙	—
T5-205	印鑑証明願	明治 22 年 2 月	熊木忠七 (印) → 戸長中山研一殿	冊子	地所・建物売買
T5-206	御布告達之扣	明治 10 年 9 月	山伏山町伍頭平田→	冊子	コロリ病予防法等の達。A-48
T5-207-1	道路直シ御帳	明治 16 年 10 月 16 日	—	横帳	封筒「明治十六年十一月道路修覆入用書付入、惣代山田氏、右係内藤」
T5-207-2	〔米受取〕	—	山伏山町→	綴	1 升 11・3 升 1・3 升半 1・4 升 3・6 升 1・2 本 半 1・5 本 半 1・6 本、計 22 点。207-1 ～ 5 包紙一括、207-1・3 と小封筒一括

T5-207-3	〔砂壺升札〕	10月24日	山伏山町→	札	道路修覆用砂札計29枚
T5-207-4	〔譲渡証〕	明治17年7月10日	太田芳三郎(印)→松原東洞院 西入俊成町山田商篇殿	一紙	講金受取通帳一冊、他に公債 証書売渡代金受取・東寺宮繕 費受取等14点
T5-207-5	大勸進録	明治15年8月21日	教王護国寺住職代理権大教正佐 伯旭雅・信徒総代四手井源兵衛・ 中村興平治他2名→京都府知事 北垣国道殿	冊子	東寺塔堂類廃修繕資材勸進の 御願を京都府知事北垣国道が 許可
T5-208	地家券代価控	明治9年子4月	山伏山町→	縦帳	戸別の代価書上
T5-209	〔売渡建物図〕	明治16年8月7日	山伏山町建物持主西村卯之吉 (印)→内藤源助殿	縦紙	奥書戸長山川虎之助(印)。 209～263組一括
T5-210-1	送籍証	明治7年5月21日	石川県下第壹区小四区戸長三輪 平兵衛(印)・副戸長嶋谷小三 郎(印)→西京府下下京第三区 戸長衆中	罫紙	氏神藤塚日吉社より北島 弥三七を熊谷佐平へ養子。 210-1～2包紙一括
T5-210-2	預り申金子之事	元治元年甲子年11月	山伏山町町中(印)→亀屋彦兵 衛殿	縦紙	金子50両、裏面に利子15 円を明治24年町中立会渡す
T5-211	買得一札	明治14年6月11日	灯籠町買請人秋山幾治郎(印)・ 買主西村祐次郎(印)→山伏山 町戸長伊藤源助殿・伍頭松居庄 七殿・御町中	罫紙	燈籠町建物
T5-212	買得一札	明治14年6月11日	白楽天町買請人内田定吉(印)・ 買主廣岡いと(印)→山伏山町 戸長伊藤源助殿・伍頭松居正七 殿・御町中	罫紙	白楽天町の土地1ヶ所、建物 2棟
T5-213	差入置一札之事	明治6年2月	亀屋町橋本伊兵衛(印)→山伏 山町戸長山田孫兵衛様	一紙	地藏尊堂元治元年類焼後、堂 守辻宗兵衛が他へ借宅、包紙
T5-214	〔丁稚茂吉書付〕	明治6年4月	—	切紙	寄留人調等の貼紙か
T5-215	建家借用書	明治16年第5月2日	山伏山町本人奥野與左衛門 (印)・引受証人川崎弥三郎 (印)→山伏山町惣代中井嘉七 殿	罫紙	山伏山町建家を宿料金を代償 にて期限付借用
T5-216	〔澤ツル書付〕	明治23年11月15日	—	切紙	澤久兵衛一家が熊谷佐兵衛宅 に寄留、貼紙か
T5-217	〔山伏山町地番図〕	—	—	一紙	室町蛸薬師南江入町の番地・ 面積。M-3
T5-218	〔山伏山町地番図〕	—	—	一紙	戸主名と番戸
T5-219	〔提灯立寸法図〕	—	—	一紙	提灯屋根・柱の絵図
T5-220	〔封筒〕	—	東京府管下第五大区八小区戸長 →京都府御管轄下京第三区正副 戸長	封筒	小田善右衛門外四人送籍受 書、封筒のみ本紙なし
T5-221	町費受領書等一括	明治10年丑12月	今井善兵衛(印)→御町中様	綴	八坂神社末社の修覆有志金・ 地代金他16点
T5-222	〔帝国教育会関連文書〕	—	—	綴	帝国教育大会申込書・教育大 会規則・同趣意書・「渡邊知 事上下京ヲ巡視シ衛生組合幹 事及組長へ演達筆記」の冊子
T5-223	御断書	明治2年巳4月朔日	伏山町宿主袋屋ひで・譲事者年 寄孫兵衛(印)・同佐兵衛→京 都御政府	一紙	松平圖書頭様御家来小林勇吉 が山伏山町に宿泊。C I -17

T5-224	乍恐口上書	明治元戊申年 12 月	家主近江屋藤次郎 (印抹消)・議事者年寄孫兵衛 (印抹消)→京都御政府	一紙	升屋林兵衛が近江屋藤次郎方へ借家。B-80
T5-225	御願書	明治 2 年 巳 11 月 18 日	山伏山町年寄佐兵衛・五人組幸助→梅忠町御年寄彦左衛門殿・五人頭次兵衛殿	一紙	梅忠町常磐屋宗助殿へ山伏山町近江屋清八郎より未支払い金。B-21
T5-226	御断書	明治 2 年 巳 6 月 21 日	山伏山町議事者年寄孫兵衛→京都御政府	一紙	松平圖書頭様家来小林勇吉が山伏山町袋屋に宿泊。C I -19
T5-227	〔売渡証明下書〕	—	売主西邨卯之吉・後見人西邨祐治郎・証人藤川秀治郎→内藤源助殿	罫紙	土地・建物間口坪数等書上
T5-228	〔印紙代等代金書上〕	—	西村→	罫紙	西村買取分 1600 円、印紙代・認代等
T5-229	〔神事費用・修繕費支出控〕	昭和 7 年	—	罫紙	大正 12 年以降年度別支出金額一覧
T5-230	〔神事費用・修繕費支出控〕	昭和 7 年	—	罫紙	大正 12 年以降年度別支出金額一覧
T5-231	御請書	明治 4 年 未 12 月 19 日	山伏山町中井嘉七・五人組西村政助・町惣代林幸助→	一紙	当町内奥野与左衛門所持の家屋敷・家財・諸道具等を見改、封印の上町分に預け。C I -39・40
T5-232	御請書	明治 4 辛 未 12 月 19 日	山伏山町年寄中井嘉七・五人組西村政助・町惣代林幸助→	一紙	奥野与左衛門所持家屋敷並びに家財諸道具改。C I -39・40
T5-233	送籍受取証	明治 6 年 7 月 27 日	東京府管轄第五大区八小区扱所 (印)→下京第三区正副戸長御中	罫紙	山伏山町小田善右衛門東京府へ送籍
T5-234	証	明治 6 年 10 月 29 日	下京第四区梅忠町戸長中井三郎兵衛 (印)→下京区第三区山伏山町戸長西村政助殿	罫紙	当町内長瀬治兵衛家借宅の七條康教家 4 人に山伏山町より送状、梅忠町への加籍。J-70
T5-235	御請書	申 2 月 7 日	奥野与左衛門 (印)・年寄中井嘉七 (印)・五人組頭山田孫兵衛 (印)→御庁	一紙	去末年 12 月 19 日の封印解き受取。C I -48
T5-236	〔戸籍〕	—	—	罫紙	呉服商松居庄七・妻やえ・養男浅次郎
T5-237	〔戸籍〕	—	—	罫紙	呉服商西村政助家 5 人・煙草商山本定吉家 3 人
T5-238	〔戸籍〕	—	—	罫紙	呉服商光島文助家 5 人・法衣商片山小兵衛家 2 人
T5-239	御断書	明治 9 年 12 月 7 日	山伏山町伍頭代林幸助 (印)→御出張御中	罫紙	当町中道路修繕にて車止願、工事用の車は通行許可。C1-38
T5-240	建家借用証書	明治 31 年 6 月 日	借主山崎孫助 (印)・証人小田徳之助 (印)→山伏山町総代倉富未吉殿・家主熊谷佐兵衛殿	一紙	
T5-241	証	明治 10 年 11 月 1 日	伍頭平田平七・熊谷佐兵衛・西村政助他 3 名→内藤源助殿	一紙	金 320 円借用
T5-242	〔大祓祈祷案内通知〕	—	社掌渡辺喜助→各町総代神事係り御中	罫紙	悪疫流行・蔓延のため、氏子一般八坂神社に参集

T5-243	〔支払代金等書上〕	—	—	一紙	井上方弘・講金利足・学校用入用割合等
T5-244	御断書	午 3 月	千米屋利兵衛 (印) → 山伏山町御年寄佐兵衛殿	一紙	居宅南方の積物小屋と物ほし場その他日用
T5-245	一札	—	—	一紙	地代金借用等手元不如意、御勘弁。C1-58
T5-246	印税願書控	明 治 8 年 亥 3 月 11 日	—	横帳	金銭渡帳等帳面・人名書上、人名の下に印「検査相済」
T5-247	〔町内諸費・戸籍等覚一括〕	明治 15 年 1 月 16 日	下京第三組戸長役場 (印) → 山伏山町総代御中	綴	前半部分に費用書上、後半部分に転籍等の戸籍情報の記載
T5-248	〔戸籍家別調書控〕	—	—	綴	各家族の名前・生年月日・年齢・性別、転居情報
T5-249	物産高御尋二付御届書	明治 6 年 10 月 29 日	戸長西村政助政助→区長河合清兵衛殿・副区長桙和助殿	綴	生地仕入品書上、明治 8 年物産調等
T5-250	物産調	明治 8 年 1 月	—	罫紙	明治 8 年 1 月～12 月中縮緬染色代金書上
T5-251	物産調	明治 9 年 子 3 月 1 日	伍頭林幸助印→八社戸長中井嘉兵衛殿	綴	染物・鹿子・扇等
T5-252	地租改正地主総代人撰書	明 治 10 年 7 月 4 日	伍頭平田平七 (印) ・内藤源助・木村嘉兵衛他 8 名→京都府知事榎村正直殿	綴	上京一条通大宮東入千田藤兵衛等総代人名が他 3 名
T5-253	〔戸籍総計他差出日限通達〕	明治 6 年 12 月	—	綴	戸籍・職分・寄留・死亡・田畑山林総計を例年 1 月 10 日に提出。A-41
T5-254	雛形	—	—	綴	町名・役職書入の雛形
T5-255	〔種痘施行状況調書〕	—	山伏山町→	綴	未痘・試痘人数・人名書上
T5-256	〔地租改正盈縮取調連署書〕	明治 10 年 8 月 10 日	山伏山町木村嘉兵衛 (印) → 伍頭平田平七殿	綴	西村政助・田中伝助・井上清三郎他 17 名
T5-257	建家借用証書	—	—	綴	年月日・借人・証人・宛所の雛形
T5-258	〔通・町名書上〕	—	—	一紙	三条通・烏丸通・新町通・室町通・六角通・蛸薬師通・錦通の各町名
T5-259-1	券状	—	—	罫紙	室町通蛸薬師通下ル東側奥野与左衛門が松前屋清兵衛方に家屋敷を金子 300 両で質物に差置。C I -46
T5-259-2	券状	—	—	罫紙	259-1 と同文。C I -47
T5-260	入学御願	明治 10 年	山田孫兵衛 (印) →	罫紙	寄留人片桐りよ
T5-261-1	寄留人増減表	10 年 8 月 14 日	山伏山町組頭平田平七 (印) → 八社戸長太田理助殿	罫紙	寄留人の人数及び身分書上
T5-261-2	〔寄留人増減表〕	—	—	一紙	寄留人の人数及び身分書上。261-1 の続か。
T5-262	〔解傭軍夫救護会へ改称通知〕	明治 28 年	解傭軍夫救護会会長公爵近衛篤麿 (印) →	一紙	病院を広島市に開設、患者逐日増加のため病院拡張の必要
T5-263	寄留人増減表	明治 10 年 8 月 14 日	山伏山町→戸長	一紙	他管男 14 人・女 8 人、府下男女 40 人の書上
T5-264	課出簿	明治 16 年 7 月	山伏山町→	冊子	各戸別に学校費・救助費・役場費等の納入額まとめ。「山伏山町関係古文書 38 冊」264 ～ 318 組一括

T5-265	掛込金額調査簿	明治 15 年 9 月	山伏山町講係→	冊子	明治 27 年の月別の徴収印 25 人分
T5-266	当座預金通帳	明治 24 年 2 月 19 日	株式会社第一国立銀行京都支店 →山伏山町代内藤源助殿	冊子	明治 30 年迄
T5-267	〔京都府達写〕	辰 11 月 (明治元)	行政官・京都府→	冊子	水害に遭った淀川諸河川修 復、蒸気船通過のため拡張工 事。A-19
T5-268	〔祇園祭道具目録〕	—	山伏山町→	冊子	山入用の道具の番号・名称の 記載。D II -20
T5-269	申渡之覚	11 月	神泉苑町御池下ル大鳥羽太郎兵 衛・錦小路大宮東入多田宇兵衛・ 蛸薬師油小路東入木村小兵衛・ 新町四条上之町吉田太助他 2 名 →	綴	町内の年寄・議事者交代、戸 籍取調府達写。A-69
T5-270	商売取調書	明治 2 年 巳 9 月	山伏山町→	縦帳	町内各戸別の商売記録。G-2
T5-271	覚	明治 3 庚午年 5 月 20 日	蛸薬師通柳馬場東入油屋町布屋 九兵衛→山伏山町御年寄様	縦帳	金子融通等取引。C I -26
T5-272	地之口金当座集帳	明治 3 年 6 月	山伏山町→	縦帳	寄町名と地之口米の相場金等 書上。D II -14
T5-273	拝領御金割賦請取帳	文久 3 癸亥年 5 月	山伏山町→御奉行様	縦帳	拝領金受取人印形。C I -7
T5-274	〔会社取建規則〕	明治 4 年 辛未 6 月	—	冊子	加入金・利子等全 13 条。 A-28
T5-275	町中表口ニ而奥江壺 間宛引込ニ而地坪相 改総計控	明治 6 年 1 月	—	冊子	坪数人名書上、表紙「但角地 面南北二而 1 間欠ル」。G-7
T5-276	券状改正地券与相成 候節申合シ調印之控 簿	明治 6 年 5 月	山伏山町山田孫兵衛 (印)・西 村政助 (印)・中西久右衛門 (印) 他 22 人→	縦帳	町内各戸押印。A-38
T5-277	町中地面表江裏行等 書上ケ雛形写	明治元年 11 月	山伏山町→	縦帳	町中の図面と組町内社寺調書 雛形、他に御土居上の生竹の 府達写。A-15
T5-278	〔京都府達写〕	辰 (明治元) 11 月	京都府→	縦帳	御一新以来窮民救助。A-17
T5-279	五人組調印控	明治元年 戊辰 9 月	山伏山町→	縦帳	氏名・職業を各組 (子組・丑組・ 寅組・卯組・辰組) 毎に連印。 A-9
T5-280	備入寄留人名簿	明治 20 年 4 月 日	山伏山町総代内藤萬助 (印) → 下京第二組外式ヶ組戸長中山研 一殿	冊子	雇入人の雇用主・出身・住所・ 生年月日等。J-86
T5-281	雇入寄留人名簿	明治 20 歳 12 月	山伏山町→	冊子	雇入人の雇用主・出身・住所・ 生年月日等。J-87
T5-282	〔天然痘検規則増補、 証符付与等府達〕	明治 7 年 戊 4 月	京都府→	綴	山伏山町組毎の接種人数と組 頭記載
T5-283- 1	風之儀ニ附連印帳	壬 申 (明 治 5) 11 月 29 日	内藤源助 (印)・山田林兵衛 (印)・ 吉村甚三郎 (印) 他 26 人→戸 長孫兵衛殿	綴	電信機のある所での風揚げ禁 止。A-34
T5-283- 2	地所間数改正願	—	下京第三区戸長・伍頭→京都府 知事	一紙	町内の地所沽券取調、283-1 の挟込文書。C I 57
T5-284	戸毎番号控	明治 6 年 3 月 日	戸長山田孫兵衛→	冊子	番地と人名の書上。G-8
T5-285	御布告之趣奉拝承候	明 治 6 年 第 1 月 18 日	—	縦帳	165 号～ 217 号の布告、組 毎に 31 名連印。A-35
T5-286	〔触書写〕	辰 11 月	大年寄→	縦帳	窮民救済のため救米・病状等。 A-18

T5-287	〔京都府達〕	—	—	縦帳	制札掲示・宗門人別帳・帯刀人僧尼屋敷地等。A-72
T5-288	下京区第三区室町通り蛸薬師南入山伏山町毎地等級表	明治 11 年 12 月	山伏山町評価人平田平七・同山本定兵衛・同熊谷佐兵衛他 11 人→京都府知事榎村正直殿	冊子	区長・戸長・評価人立会、模範地等級取決め
T5-289	〔衛生注意法之儀二付無留置御順達〕	10 月 14 日	惣代藤井→清水氏(印)・藤井氏(印)・八木氏(印)他 26 名	綴	
T5-290	〔山伏山町地番・戸主名書上〕	—	—	綴	屋敷番号
T5-291	乍親類以代筆願上口上之覚	明治 8 年 3 月	中西久右衛門(印)・親族山田源助(印)→御役中様	綴	病気で町役退役願
T5-292	京都府布令書	明治 8 年 3 月 30 日	—	綴	第 138・160・162・165～167 号・番外 14 号、家券の雛形
T5-293	〔山伏山町地番・戸主名書上〕	—	伍長西村政助→	冊子	戸数 32 軒、屋敷番号、朱書・加除訂正
T5-294	〔常帯刀届一括〕	明治 2 年	—	綴	辰年 4 月会計官貨幣局勤務の小田善右衛門・石津発三郎、地下役七條左京等。C I -24
T5-295	八坂神社南門建築有志	—	—	冊子	寄付金額・氏名書上
T5-296	〔戸籍雛形〕	明治 7 年 6 月 20 日	三社戸長→	冊子	御神事式定日。D II -16
T5-297	地券証御下渡二付御請書	明治 7 戌年 3 月	戸長西村政助→	冊子	山伏山町地券証 29 枚内訳、熊谷佐兵衛・田中専助・中村半兵衛他 22 名連印。G-9
T5-298	〔雇入人届〕	明治 8 年 3 月 4 日	山伏山町総代中西久右衛門(印)→戸主岡田儀兵衛殿	冊子	雇用主・雇人の年齢・種痘の有無等の記載
T5-299	〔町内戸数・人数等明細調査〕	明治 10 年 12 月	山伏山町伍頭平田平七(印)→八社戸長上尾徳兵衛殿	冊子	寺社・華族・士族、平民男 23 人女 2 人・他死亡者等
T5-300	〔流民救済府達写〕	11 月	京都府→	綴	流民集所と疾病の治療等
T5-301-1	〔山伏山修繕費補助一件綴〕	大正 12 年 7 月 9 日	京都市長馬淵鋭太郎(印)→山伏山代表者野田常七	冊子	山伏山鉾修繕費見積書・請書・交付条件等、昭和 7 年迄
T5-301-2	〔各御山町調査報告依頼書〕	—	山町当番平岡新太郎→各御山町御中	一紙	大正 12 年修繕費補助金支出額等
T5-302	〔改正前後の土地間口坪数等書上〕	—	—	綴	1 間 6 尺 5 寸から 6 尺に改め、土地見取図・地主氏名・地代価金等
T5-303	平安神宮時代祭神幸具調制衣費寄附金名簿	明治 31 年 6 月	平安神宮々司伯爵冷泉為紀・信徒総代公爵近衛篤磨・濱岡光哲他 23 人→	冊子	時代祭神具調製費予算等、平安神宮時代祭神幸図
T5-304	〔明治 20 年諸届書〕	—	—	罫紙	表題のみ
T5-305	〔戸籍人口調雛形〕	明治 16 年 12 月	—	罫紙	
T5-306	雇人御届	明治 18 年 6 月 27 日	藤井善七(印)→戸長村田五兵衛殿	冊子	
T5-307	出産御届書	明治 20 年 10 月 28 日	野田常七(印)→山伏山町惣代中川和助殿	罫紙	野田常七妻うの
T5-308	全戸寄留換御届	明治 21 年 6 月 21 日	伊藤忠兵衛支店代理人渡辺平七(印)・家主熊谷佐兵衛(印)→惣代中川和助殿	冊子	鶏鉾町から営業の便宜により転移、雇人 4 名転籍、一紙 4 点

T5-309	出寄留届	明治 22 年	内藤源三郎 (印) →山伏山町総 代松居庄七殿	罫紙	相続 2・戸数調書 1・転入転 住 5・衛生戸長交代 1・教育 会義務会員名簿 1・出生 3・ 死亡 2・寄留 29(内年代不明 1)・その他 3
T5-310	[明治 23 年諸届書]	明治 23 年	—	罫紙	転住 11、雇入・解雇 6、出生 2、 寄留 62、死亡 1、養子・入籍 3、 婚姻 1、同居 1、その他 (燈 籠建設見積書)6、計 94
T5-311	[明治 24 年諸届書]	明治 24 年	—	罫紙	養子 3、寄留 17、出生 4、転 住 4、婚姻 3、死亡 1、退去 7、計 39、附籍 1。年未詳明 治 24 年力
T5-312	[明治 25 年諸届書]	明治 25 年	—	罫紙	寄留 19、出生・出産 8、廃 業 2、送籍・転住 2、死亡 4、 委任状 1、戸口調 1、納租額 1、婿養子入籍 1、婚姻入先 1 計 49 紐一括
T5-313	[明治 26 年諸届書]	明治 26 年	—	冊子、 罫紙	出生 7、転籍 8、雇人 4(年未 詳 126 年力)、死亡 5、相続 3、結婚入籍 2、廃嫡 1、寄 留 14、退去 1、その他 3 計 48
T5-314	[明治 27 年諸届書]	明治 27 年	—	冊子、 罫紙	死亡 4、出生 7、寄留 11、 後見人 2、雇入 1 件、養子 1、 転宅 3 件、その他 4、失踪復 帰 2、離婚 1 計 36 紐一括
T5-315	[明治 28 年諸届書]	明治 28 年	—	罫紙	証符 1、寄留 15、転住 4、死亡・ 死産 2、送籍 1、出生 2、相 続 2、婚姻 1、建築 1、計 29
T5-316	[明治 29 年諸届書]	明治 29 年	—	冊子、 一紙	寄留 5、出生 4、貸家料 1、 退去 1、証符 1、転住 1、死 亡 2、商業 1、その他 1、計 17
T5-317	[明治 30 年諸届書]	明治 30 年	—	罫紙	夜警代人 1、転住 1、死亡 1、 寄留 7、出生 2、宿代 1、そ の他年 1、計 14
T5-318	[明治 31 年諸届書]	明治 31 年	—	罫紙	口演 1、出生 2 計 3 紐一括
T5-319	文久貳年壬戌極月改 講銀預ヶ高	文久 2 年 12 月	—	綴	人名・金銭書上。E-6
T5-320	俵屋新兵衛殿借家	—	—	一紙	借主・引取・請人・宗旨・檀 那寺等の記載。B-188
T5-321	[女学校生徒志願者 書付]	—	—	一紙	志願者は町分規則
T5-322	御伺之義二付口上書	—	—	一紙	奥野与左衛門家財諸道具等封 印、下書か
T5-323	[雇入人覚書付一括]	明治 3 年 9 月	升屋万兵衛→	綴	山形屋娘いさ下女等 9 点
T5-324	[京都府達写]	巳正月	—	継紙	衛士横井平四郎殺害一件、材 木川筋運搬一件。A-24

T5-325	〔軒役券状調覚〕	明治 4 年	—	縦帳	各戸の土地寸法・坪数・建物等の書上、土地図
T5-326	〔戸籍総計〕	明治 6 年 12 月 25 日	戸長西村政助→区長河合清兵衛殿・副松和助殿	冊子	山伏山町の戸数・男女別人口・生業・死亡総計等書上。J-75
T5-327	〔通達写〕	明治 7 年	戸長→	冊子	明治 7 年から半年の諸役給料等諸入費金銭書上、陸軍行軍演習。A-45
T5-328	〔人名書上〕	—	—	一紙	六角新町向五丁土居常盤や清兵衛、梅忠町土居宗助、高倉二条下ル町川崎弥兵衛
T5-329	建家借用証書	明治 19 年 3 月	—	冊子、一紙	明治 32 年迄建家借用証書一括 (19 年・21 年各 1、23 年 5、26 年 3、27 年 2、28 年 6、29 年 1、30 年 3、31・32 年各 1) 計 24
T5-330	御届申上候	庚午 5 月	山伏山町年寄佐兵衛→	一紙	常盤屋与左衛門姪こう、5 月 23 日に 14 才で死去。J-22
T5-331	〔万助生年月日等書付〕	8 月 26 日	内藤源助→	一紙	高林嘉助長男
T5-332	死後譲り状之事	明治 7 年 戌 9 月 9 日	中村半兵衛→山伏山町伍頭中西久左衛門	綴	妻きみ・孫泰太郎に家屋敷地。他同年譲状等 8 通。B-186
T5-333	至急御達	明治 7 年 8 月 27 日	京都府知事長谷信篤→正副区長	一紙	証券印税規則布告
T5-334	〔達写〕	8 月 19 日	—	一紙	区長人選書・裁判所・種痘の節等
T5-335	口上	8 月 4 日	山伏山町→笋御町・手洗水御町・橋弁慶御町他 3 ケ町	一紙	戸長役人選、4 日午後 2 時の出席ご案内。D I -13
T5-336	止宿人有之節無失念可届出申合調印控	明治 5 壬申年 3 月	山伏山町→	綴	博覧会の開催、止宿の届出の厳守を通知、30 名連署。A-31
T5-337	〔布達断簡力〕	—	—	一紙	改租総代人選の通知、付紙
T5-338	御請書	辛未 (明治 4) 5 月	年寄林幸助 (印) →山田孫兵衛 (印)・中井嘉七 (印)・奥野与左衛門 (印) 他 27 名	綴	菊御紋・御用印の所持の取り調べ、一切無し。A-27
T5-339	〔戸籍断簡〕	—	明治四未三十一歳中村忠兵衛 (印)・明治四未二十七歳妻ふみ→	一紙	明治 4 年 11 月寅組から明治 5 年 9 月親族の小林万平より家屋敷を譲請
T5-340	証	明治 6 年 10 月 8 日	中村忠兵衛 (印)・平井万兵衛 (印)・光嶋文助 (印) 他 22 名→	横帳	証券・印紙の規則遵守。A-40
T5-341	〔雇入人届〕	明治 8 年 4 月	山田孫兵衛→伍頭中井嘉兵衛様	綴	豊岡県但馬・敦賀県若狭・愛媛県伊予温泉等から
T5-342	御断書	—	年寄→京都御政府	一紙	土地売渡証文雛形
T5-343	御断書	明治 2 年巳正月	山伏山町年寄議事者孫兵衛 (印) 抹消→京都御政府	一紙	鹿嶋又之丞他 3 名の止宿者取調。C I -16
T5-344	有志簿	—	内藤源助 (印) →	綴	仁和寺・東福寺等 4 カ所への寄付金・氏名書上。E-26
T5-345	七年十月四日 大検査当番二付諸雑費	明治 7 年 戌 10 月	正副区長→	綴	学校営繕諸入費等総計を表家・裏家一戸別割宛負担額を記載。E-12
T5-346	雇入寄留名簿	明治 19 年 12 月	山伏山町総代内藤万助 (印) →下京区第三組戸長中川研一殿	綴	J-81

T5-347-1	溝さらへ諸入用集	文政 10 年丁亥閏 6 月	年寄彦兵衛→	袋	「文政十年丁亥閏六月溝さらへ諸入用控」。347-2～347-7 袋一括。E-2
T5-347-2	溝ざらへ諸入用集メ	—	—	綴	代金書上。E-22
T5-347-3	覚	文政 10 年亥閏 6 月	—	綴	溝中さらへ土砂運び。E-2
T5-347-4	御積り書	—	→御檀那樣	一紙	溝筋増上等。B-182
T5-347-5	覚	戌 5 月 4 日	親方清八 (印) →檀那中様	一紙	御普請手間銀受取。B-180
T5-347-6	覚	6 月 5 日	親方清八 (印) →御檀那樣	一紙	御普請手間賃残り受取。B-181
T5-347-7	溝ざらへ道普請諸入用	—	—	綴	代金書上。E-23
T5-348	廻達	明治 5 年 5 月 23 日	→山伏山町戸長・伍組頭	冊子	東京に天皇が赴く際に大通を掃除、赤裸で戸外出禁止布告を町内各 30 名連印。A-32
T5-349	小学校申定連印控	明治元年戊辰 11 月	山伏山町→	冊子	半季毎に一軒金百疋ずつ出金、町内 25 名連印。A-14
T5-350	両便裸体斬髪禁止調印控	明治 7 年 8 月 3 日	山伏山町中西久右衛門 (印)・中井嘉兵衛 (印)・内藤源助 (印) 他 26 名→	冊子	三ヶ条禁止事項了承連印。A-44
T5-351	下京第三区三社適宜書	明治 7 年甲戌 4 月	姥柳町・不動町・手洗水町他 4 町→正副長河合清兵衛殿・副区長榎和風殿・戸長下村忠兵衛殿	冊子	当区四社に分け一社一人戸長等、市中制法御条目。A-43
T5-352	旧習弊風正心得方調印控	明治 6 年 2 月 16 日	戸長山田孫兵衛 (印)・伍組頭西村政助 (印)・伍組頭中西久右衛門 (印) 他 25 人→	冊子	嵯峨十三参り・摂州本澄寺厄除参詣、婚姻・出産・年賀の贈物諸事簡素化等。A-36
T5-353	〔山伏山町地番・戸主名書上〕	明治 7 年戊 3 月	伍長西村政助 (印) →	冊子	戸数 31 軒、内借家 16 軒の屋敷地番・居住者等の書上
T5-354	〔道路・溝等修繕請書〕	明治 8 年 亥 2 月 20 日	山伏山町中西久右衛門 (印)・小田七右衛門 (印)・倉富みね (印) 他 31 名→	冊子	溝筋・悪水溜り・家の建樋・明地囲板等。A-46
T5-355	代理証書	明治 8 年月日	山本定光・証人中村忠兵衛→山伏山町伍頭総代中西久右衛門殿・御町中	野紙	実伯父小林万平諸事繁多、委任状受取。B-163
T5-356	〔総区長并助役等給料及諸入費勘定書〕	明治 8 年 2 月	総区長→	冊子	明治 7 年 7 月 1 日～12 月 31 日。A-47
T5-357	滞留御届	明治 8 年 3 月 21 日	山伏山町小林万平 (印) →伍頭総代中西久右衛門殿	一紙	丹波国桑田郡第二区下矢田村山本定光・妻ゆき・長男定功の亀岡授産会社物品取扱用として。J-79
T5-358	豊国神社例年御祭典有志帳	明治 32 年 10 月 17・18・19 日	世話係 (印) →	冊子	金拾銭 山伏山町総代熊谷佐兵衛 (印)
T5-359	証	明治 31 年 7 月 11 日	明倫尚武会西村吉右衛門 (印) →山伏山町殿	一紙	明治 31 年半年分醸金領収
T5-360	輿地誌略巻四	—	文部省→	一紙	15・19・55・57 の 4 丁のみ、木版刷

T5-361	輿地誌略巻五	—	文部省→	一紙	ジブラルタル海峡やパリの地理情報記載、7・54・70・71・73の5丁、木版刷
T5-362	輿地誌略巻六	—	文部省→	一紙	4・18・61の3丁、木版刷
T5-363	民事便覧第一集租税部	明治7年第10月	西田義方輯→	一紙	表紙のみ、印刷物
T5-364	夜警給料渡シ判取帳	(明治)24年9月14日	山伏山町→	冊子	天野新給料受取
T5-365	書出し申候	9月30日	(朱印)「京都黒門通綾小路南二入中村嘉三郎」→野田様	一紙	金5円5銭書付、(朱印)「引合」
T6-1	〔告示官報回覧名前書上〕	明治15年4月2日	松居庄七→	冊子	明治15年3月の官報
T6-2	〔告示官報回覧名前書上〕	明治15年6月24日	内藤源助→	冊子	明治16年1月11日迄計16冊、明治15年12月官報1冊、内藤源助役中布告の下札
T6-3	記	(明治)15年10月	上京二組川端丸太町上ル師岡武雄(印)→山伏山町惣代御中	罫紙	塵芥採取方委任規則等
T6-4	〔告示官報回覧名前書上〕	明治17年1月20日	山田孫兵衛(印)→	冊子	同年3月11日迄計5冊
T6-5	〔告示官報回覧名前書上〕	明治17年1月10日	総代山田孫兵衛(印)→	冊子	明治16年12月煙草税改定規則、国立銀行支店設立、府議会補選の実施等。5～7こより一括
T6-6	〔告示官報回覧名前書上〕	明治16年1月25日	内藤源助→	冊子	明治16年4月11日迄計10冊
T6-7	〔売薬営業鑑札・行商鑑札紛失者通知〕	明治16年3月	下京区役所→	冊子	東京、山梨等の行商人の名
T6-8	〔領収書〕	明治28年8月	学務委員→山伏山町	綴	明治33年度迄の衛生費、学区費、営業税等
T6-9	〔領収書〕	明治33年7月	京都府衛生会(印)→山伏山町殿	一紙	明治33年度の衛生費、学区費等8点
T6-10	〔領収書〕	明治34年2月12日	下京区元三組衛生組長幹事(印)→山伏山町衛生組長御中	一紙	明治34年度の衛生費、学区費等30点
T6-11	〔領収書〕	明治35年4月21日	下京区元三組衛生組長幹事(印)→山伏山町衛生組長御中	一紙	明治35年度の衛生費、学区費等25点
T6-12	〔領収書〕	明治36年4月20日	下京区元三組衛生組長幹事(印)→山伏山町衛生組長御中	一紙	明治36年度の衛生費、学区費等11点
T6-13	証(領収書)	明治30年4月24日	衛生組長幹事(印)→衛生組長御中	綴	明治30年～32年衛生費・明治36年后半年京都府会費分醸金・明治40年明倫尚武会醸金、綴3点。13～14こより一括
T6-14	〔領収書〕	明治22年7月20日	京都市下京区長竹村藤兵衛→西村徳兵衛	綴・一紙	明治29年迄の地方税・営業税・衛生費・教育会費・尚武義会費・宝錦舎年頭箸紙篤志金等の綴13点・一紙131点
T6-15	徴税令書兼領収証書	明治39年	下京区長中山研一(印)→	綴	明治40年迄の第参学区費・四等戸別税・明倫尋常小学校授業料、綴4点

山伏山町文書目録

T6-16	〔町会費諸費集計表〕	明治 31 年 7 月	—	冊子	明治 35 年迄の所得税・市税 教育費・町費・営業税・有志 金等、「覚」1 通挟込
T6-17	〔京都府達〕	明治 15 年 12 月 22 日	京都府知事北垣国道代理京都府 大書記国重正文→	冊子	郵便条例制定
T6-18	記	—	—	罫紙	白鶴酒・神事他代金書上。 18～92 封筒一括
T6-19	証	26 年 9 月 12 日	竹村家→室町錦御区中様上	綴	御膳・うまき等代金書上、他 に覚(白鶴酒書上)等 2 点
T6-20	砂持之節払	9 月 11 日	—	折紙	金額と氏名書上、氏名に印
T6-21	大極殿地鎮祭砂持区 有志	(明 治)26 年 9 月 11 日	山伏山御町中他→	綴	砂持諸入費等氏名と金銭の書 上、代金書付覚 10 枚
T6-22	口上	5 月	信続講→	一紙	竹田村不動尊にて信続講初会 開催案内
T6-23	廿九年度学区費戸別 割授業料納金表	29 年	学務委員→山伏山町	罫紙	等級・戸数・生徒・人員・金 高の記載、10 日 10 時迄に 差し出すこと、2 枚
T6-24	記	31 年 5 月 26 日	下京区役町→松居庄七殿	一紙	金銭納証
T6-25	帳簿検査費	—	—	罫紙	氏名の書上
T6-26	八坂神社御千度入費	明治 31 年 4 月 6 日	—	罫紙	1 戸分 20 銭 5 厘宛等、人名 書上
T6-27	平安宮神事費	明治 31 年 10 月	—	罫紙	戸数割一戸に金 5 銭宛等、人 名書上
T6-28	〔集メ金一覧表〕	明治 31 年 1 月	—	冊子	市税・雇車税等
T6-29	〔集メ金一覧表〕	明治 31 年 4 月	—	冊子	上半年分地租割・雑種税・御 千度割等
T6-30	〔集メ金一覧表〕	明治 31 年 4 月	—	冊子	31 年度上半年方学区戸数割・ 葬芥衛生費等
T6-31	〔集メ金一覧表〕	明治 31 年度	—	罫紙	上半期分租税・地方税・営業 税等
T6-32	〔集メ金一覧表〕	(明治)31 年 6 月	—	綴	上半期分筆墨料・名代料・授 業料等
T6-33	〔集メ金一覧表〕	(明治)30 年 11 月 15 日	—	冊子	営業税・市税国税営業割等
T6-34	豊国会有志	—	—	冊子	金額・氏名書上
T6-35	和気清磨有志	—	—	綴	金額・氏名書上
T6-36	明倫尚武会特別会員	—	—	罫紙	特別会員名書上げ 17 名
T6-37	尚武会名簿	25 年 10 月 20 日	—	罫紙	会員 29 名記載
T6-38	記	明治 24 年 5 月日	千阪徳兵衛(印)→山伏山御町 中	横帳	土蔵と山伏山町会議所の図 面。改修費用が記載
T6-39	覚	(明治)27 年 12 月 27 日	竹勝商店(印)→山伏山町御中	綴	提灯立て・国旗等代金書付(請 求書)
T6-40	記	—	—	罫紙	国旗 31 枚・提灯新調 31 張 等代金書上
T6-41	明治廿六年十月八坂 神社衆所再有志金	明 治 26 年 10 月 13 日	内藤万助→	罫紙	有志金額と出金者姓書上
T6-42	記	明治 23 年 8 月 13 日	松居庄七(印)→倉富末吉殿	綴	寄付金額と五条天神・岩間寺 等寺社名書上
T6-43	記	明治 21 年 7 月	中川和助(印)→藤井善七殿	罫紙	寄付金額と空也堂・豊国神社 等寺社名書上
T6-44	武徳会入者員名簿	(明 治)28 年 7 月 25 日	—	罫紙	入会金書上
T6-45	記	明 治 20 年 7 月 2 日	内藤萬助(印)→中川和助殿	罫紙	有志に出金内訳書上

T6-46	祝凱旋有志金表	明治 28 年 7 月 8 日	—	冊子	納金者別有志金書上
T6-47	祝凱旋有志金表	明治 28 年 4 月	山伏山町総代中川和助→凱旋祝掛御役員御中	罫紙	氏名書上
T6-48	軍人戦死者遺族有志簿	明治 28 年 7 月 8 日	—	冊子	献納者別有志金書上、日清戦争か
T6-49	〔学校建築之外諸入費有志金割〕	明治 27 年 5 月 15 日	総代内藤 (印) →	罫紙	金額・人名書上
T6-50	〔使用印鑑証〕	—	—	罫紙	氏名金銭書上、使用印 1 冊、2 冊の記載
T6-51	建家坪数調手形諸入費	明治 26 年 4 月 1 日	—	罫紙	大工手間料等代金書上、回覧者書上
T6-52	記	—	—	罫紙	帳簿証符・手数料等金額・名前の書上
T6-53	神事弁当料	(明治)27 年 7 月	—	罫紙	弁当代大 20 銭・小 10 銭、氏名書上
T6-54	夜警ガイト費有志	—	惣代浦江 (印) →	罫紙	金額別出金者書上
T6-55	〔八坂神社楽所再有志出金〕	—	—	罫紙	寄進金の書上
T6-56	〔御千度費用出入金控〕	明治 23 年 9 月 12 日	—	罫紙	出金各自 10 銭ずつ、弁当代等書上、2 枚組
T6-57	夜警小家有志	明治 23 年 9 月 8 日	惣代倉家末吉→町内各位御中	冊子	出金書上
T6-58	御千度諸入費	明治 25 年 4 月 14 日	惣代浦江→	罫紙	八坂神社神米料・茶料等書上、町内回覧
T6-59	〔八坂神社御千度費覚〕	明治 23 年 3 月 19 日	—	罫紙	町内回覧、朱書
T6-60	〔不勤料・名代料出金覚〕	明治 23 年 6 月 6 日	惣代藤井彦七 (印) →	罫紙	
T6-61	八坂神社御千度集メ	明治 22 年 9 月 22 日	惣代松居→	罫紙	出金者回覧、出金済 (印)
T6-62	〔公用諸費用戸別割〕	—	—	罫紙	等級と人名、各家負担割合書上
T6-63	有志表	—	惣代中川 (印) →	罫紙	八坂神社清々新講、北野楼門掛捨講
T6-64	施米有志名簿	—	—	罫紙	袋数・金額書上
T6-65	〔貧民救助有志名簿〕	明治 23 年 8 月 17 日	松居庄七 (印) →御町内各位御中	冊子	宝錦舎において、袋数・金額・氏名の書上
T6-66	〔登記費用勘定書覚〕	—	—	罫紙	筆料・登記印紙代・証券印紙代の書上
T6-67	〔学校書記柴田孫七祝金〕	—	—	罫紙	70 歳の祝金 5 円と扇子を贈与、出金者書上
T6-68	〔八坂神社御千度入費集メ〕	明治 26 年 4 月 1 日 4 日	—	罫紙	神酒料等代金と人名書上
T6-69	有志金名簿	—	—	罫紙	同盟会出金の部
T6-70	帳簿検査ニ附入費手数料	明治 26 年 6 月 23 日	—	罫紙	金額・氏名の書上
T6-71	諸方社寺有志集メ	明治 26 年 10 月 6 日	(印)「浦江」→	冊子	金額・氏名の書上
T6-72	〔軒提灯代出金回覧〕	—	—	罫紙	本校建築開業式
T6-73	御千度費	—	—	罫紙	諸経費・人名の書上
T6-74	明治廿五年度九月廿七日本社御千度之節入費割	明治 25 年 9 月 28 日	総代浦江徳次郎 (印) →	罫紙	諸経費・人名の書上

T6-75	記	6月21日	総代(印)→	罫紙	帳簿検査下調の書記雇謝礼他 諸入費書上
T6-76	〔授業料集金表〕	明治23年4月	—	冊子	明治23年4月以降と明治 23年10月以降
T6-77	〔領収書〕	9月17日	山伏山町(印)→内藤氏・熊谷氏・ 熊木氏	綴	御千度弁当料・夜警入費、出 金済(印)、4点内2点綴
T6-78	収稟	明治23年8月	宝錦舎(印)→山伏山町総代殿 御中	一紙	施米50袋受取、2点
T6-79	〔出席表〕	明治25年度	—	罫紙	山伏山町生徒人名
T6-80	〔寄進金書上〕	—	—	冊子	人名と金額の記載
T6-81	証	明治24年7月30 日	津荷順輔→	罫紙	満講の節引取願
T6-82	収稟	明治27年12月	宝錦舎(印)→山伏山町御中	一紙	年頭箸紙、特志金1円領収
T6-83	記	明治26年5月21 日	明倫校(印)→山伏山町御中	罫紙	営業鑑札木札手数料金25銭
T6-84	授業料領収人員表	(明治)24年	山伏山町→	罫紙	
T6-85-1	〔寺院関係領収書〕	明治21年2月21 日	山伏山町御中→下京区廿五組五 条下寺町本覚寺執事(印)	一紙	明治25年迄の恋塚寺・南禅 寺等の本堂再建・修繕料等寄 付金計23点
T6-85-2	〔神社関係領収書〕	明治21年7月18 日	北野神社楼門築地建築係(印)→ 山伏山町御中	一紙	明治31年迄の八坂神社清々 講・豊国神社等寄付金計14 点
T6-86-1	〔教育補助金受領書 他〕	明治22年8月13 日	校務係→山伏山町	一紙	明治24年迄、計18点
T6-86-2	〔教育会費等受領書 他〕	明治22年12月 20日	—	一紙	明治28年迄、計12点
T6-87-1	証	明治19年8月26 日	化芥所(印)→戸長役場御中	一紙	金43銭を塵芥採取量領収書 他 計13枚
T6-87-2	記	明治9年9月8日	京都化芥所袍衣取扱事務所 (印)→戸長役場御中	一紙	汚穢物の焼却領収書 計2枚
T6-88	証	明治22年8月20 日	下京区元三組衛生組町幹事 (印)→山伏山御町	一紙	衛生費の受取、計6枚
T6-89	領収書	明治23年6月25 日	委員渡邊喜助(印)・山川虎之 助(印)→山伏山町中	一紙	尚武義会義損金、計9点
T6-90	領収証	20年10月29日	広告舎(印)→山伏山町御中	一紙	町内・雑費・内国博覧会寄附 等計11点
T6-91	誌	明治23年7月	本部伊勢朝熊社総長那須初見 (印)→	一紙	4枚一括、伊勢朝熊社偽り、 印鑑証明の配布
T6-92	学区費戸別割授業料 納金表	(明治)27年6月	学務委員→	罫紙	備考に町内別の記載、計15 点
T7-1	〔通〕	明治24年	山伏山町→	折紙	山修復金規則、27年3月2 日迄毎月(印)、包紙綴付、 53点一括
T7-2	〔祝儀等包〕	—	—	包紙	婚礼祝金・寄付金を入れる包 紙に47点水引一括
T7-3	記	1月20日	恵比須町→山伏山町殿	一紙	夜方9時御召状1通落手
T7-4	証	申7月	副区長村田五兵衛(印)→山伏 山御町	一紙	40軒5分役領収
T7-5	証	申7月	区長森川吉右衛門(印)→山伏 山町	一紙	40軒5分役領収
T7-6	覚	亥3月	井戸掘作兵衛→山伏山御町中様	一紙	井戸掘り材料費石灰・砂り・ 葛石代金・人足賃等書上
T7-7	〔書状〕	19日	石津時三郎→戸長政助様	切紙	懸金・借用の件
T7-8	〔達〕	申10月9日	総区長→	一紙	札引換、当分見合

T7-9	覚	壬申7月5日	会社(印)→山伏山御町	一紙	金1両ト25銭の29竈戸分受取
T7-10	口上	巳7月	山伏山町年寄孫兵衛→	一紙	年寄役年限により跡役近江屋作兵衛苗字熊谷案内
T7-11	〔伍頭総代名前手札〕	明治8年亥1月	—	一紙	三社姥柳町・手洗水町・三社橋弁慶町・筈町の名札計5点
T7-12	麦効能之弁	—	伏見谷木氏施印→	一紙	「徳用御飯そんげぬたきよの法」他2点と合わせて4枚1組が2点計8枚、版刷
T7-13	〔京都府達〕	8月24日	戸長→	一紙	故伏見宮御葬祭にて炮發
T7-14	〔梅宮神社神徳略記〕	明治7年4月	梅宮神社社務所→	一紙	他に梅宮神社・丹州内宮の印鑑札、因幡堂寄進受取、計4点
T7-15	〔領収書〕	明治15年10月26日	東福寺事務所(印)→下京三組山伏町御中	一紙	東福寺伽藍再建助資・衛生費・建勲神社御旅所建築寄附等領収書10点
T7-16	議会原案誌目	—	—	冊子	山伏山町会所屋根修繕等3点
T7-17-1	〔山鉾町年寄役人手札〕	—	—	一紙	名札21点・口上3点・掛金領収書2点・白紙6点、計32点包紙一括、「手札紙入」
T7-17-2	〔山鉾町年寄役人手札〕	—	—	一紙	名札31点・白紙1点・包紙1点・お守8点。計41点一括
T7-17-3	小学授稲荷日掛集之通	未霜月22日	世話占出山町→山伏山御町	一紙	日24文3年限
T7-17-4	通	明治3午年5月	元祖御千度講→山伏山御町	折紙	毎月金2朱の領収印
T7-17-5	覚	2月14日	孫兵衛→	一紙	金2歩2朱・銀57匁2分・銭916文の返済金受取
T7-18	〔戸籍宗門帳町控〕	—	山伏山町→	冊子	山伏山町の戸籍・氏神・檀那寺の書上
T7-19	諸雛形写	—	山伏山町→	冊子	止宿御届・出立御届・往来券等
T7-20	京都府并官員非常目標雛形	庚午(明治3)7月	—	冊子	簾・提灯・参事頭巾等寸法・着色図
T7-21	山伏山構(講)満会渡金	(明治)15年9月	—	冊子	18年8月3日迄の講金・人名等書上、東寺営繕事務局用紙使用
T7-22	下京第三区山伏山町番地等級表	—	山伏山町評価人熊谷佐兵衛(印抹消)・山本定光(印抹消)・平田平七(印抹消)→	冊子	1～30等の番地毎の評価
T7-23	小学校有志金	明治10年1月	伍頭奥野与左衛門(印抹消)・戸長上尾徳兵衛(印抹消)→学校御取締	冊子	明治11年8月迄の金銭と人名書上
T7-24	評価之義付請証	明治11年11月26日	→評価人熊谷佑兵衛殿・山本定光殿・平田平七殿	冊子	評価人の依頼23名連印、他に町別等数書上1点
T7-25	寄留人名簿	明治12年4月	下京区第三組山伏山町→	冊子	寄留先・出身地・期間等
T7-26	〔年寄役手札〕	—	—	一紙	山伏山町・他町年寄の名前札、年寄役期限、退役の口上等、169点包紙一括。包紙は反故紙(「乍恐口上」明治4年丹後峯山藩御用達金取調)

T7-27-1	〔地方税関連書類〕	明治 15 年 9 月 13 日	—	一紙	金銭出納完了報告書・地方税地租割上納領収書・地方税地租割戸数割京都府布告の計 4 点。包紙「明治拾五年七月壹日 / 営業税鑑札 / 内藤源助様鑑」、裏「明治拾五年十一月拾三日小学校戸長〆受取也」。27-1 ~ 4 封筒一括
T7-27-2	記	明治 16 年 1 月	下京区第三組戸長役場 (印) → 山伏山町中井嘉七殿	綴	15 年度分卸売、小売等営業税の領収書。24 点綴一括
T7-27-3	〔地租未納金等支払命令書〕	明治 16 年 3 月 29 日	下三組戸長役場 (印) → 山伏山町	罫紙	未納金・端金上納証、計 3 点
T7-27-4	〔地租税等受取〕	明治 15 年 4 月 11 日	山伏山町総代松居庄七 (印) → 下京区第三組戸長	一紙	地租金未納金・地方税・公儲金等、明治 16 年 2 月 13 日迄計 8 点
T7-28	山伏山町文字本紙	—	—	継紙	山伏山幟旗の文字、揮毫者名
T7-29	当区各町申合議定書	明治 8 年 3 月	—	罫紙	家券発行の雛形
T7-30	記	明治 8 年 4 月 2 日	山伏山町伍頭中井嘉兵衛 → 戸長岡田儀兵衛殿	冊子	明治 7 年 1 月より同 6 月の学校・消防等諸入費書上
T7-31	〔木札・筵竹〕	—	—	木・竹	筵竹 4 本 (番号 135・177 ~ 178)、木札 1 点「あたご西大路」
T7-32	〔断簡〕	—	—	一紙	「年寄代切紙入」「御山寄進金三拾歩」、包紙、京都府達綴、計 4 点
T8-1	御布告調印	明治 6 年 3 月 15 日	下三区山伏山町 →	冊子	明治 6 年 8 月 31 日迄、200 号 ~ 300 号、確認印 28 名分。A-42
T8-2	〔布告〕	(明治 2)6 月	京都府 →	冊子	金札 13 ヲ年通用を仕法改により引替変更、『京都町触集成』13 巻 886、887
T8-3	注意要項	明治 23 年 8 月 21 日	山伏山町総代倉富末吉 (印) →	冊子	伝染病流行
T8-4	等級坪数取調書	—	評価人平田平七・熊谷佐兵衛・山本定光・戸長上尾徳兵衛 →	冊子	
T8-5	〔布告〕	辰 12 月	京都府 →	冊子	神社神職継目手続き、年始拝礼等
T8-6	〔表紙〕	—	—	一紙	「山伏山町」冊子の断片
T8-7	〔布告〕	(明治元)	大年寄 →	切紙	京都府御用仕廻の件、『京都町触集成』13 巻 745
T8-8	神事注文控并雑費控	昭和 12 年 7 月 1 日	野田手控 →	冊子	御山松・ノ縄・榊・粽等
T8-9	雑記簿	大正 9 年 7 月	野田尚吉 →	冊子	裏表紙「注文控帖 神事用尚吉手元控」大正 9 年 7 月 ~ 昭和 11 年、各世帯収入調査、神事費用
T8-10	御山手伝方出勤名簿及表	昭和 14 年	山伏山町行事 →	冊子	
T8-11	神事蠟燭樟脳控	大正 11 年 7 月	野田尚吉 →	冊子	昭和 11 年迄、蠟燭樟脳他
T8-12	御山修覆積立講金貸附簿	明治 24 年 3 月	山伏山町 →	冊子	借用書、本文抹消

T8-13	〔布告〕	(明治元)12月	京都府→	冊子	先帝(孝明天皇)三周忌神祇式朝中祭奠山陵御参詣、『京都町触集成』13巻741
T8-14	〔布告〕	明治元年11月朔日	—	冊子	京都の町組編成、『京都町触集成』13巻701
T8-15	〔建家畳数届〕	明治17年1月18日	—	冊子	図面
T8-16	御山寄進	—	山口源兵衛→	袋	祝儀袋、水引
T8-17	幕範地位等級簿	—	—	冊子	上・下京各区の等級別114迄
T8-18	証	—	→副戸長御中	切紙	急病死去、送籍、下書
T8-19	積立講集メ帳	明治24年3月	山伏山町→	冊子	31名分
T8-20	達シ	(明治)33年10月	衛生組長井上清三郎(印)→坪倉氏他	罫紙	衛生規則順達
T8-21	積立講利子集メ簿	明治31年3月	山伏山町→	冊子	15名分
T8-22	順達	明治33年11月11日	衛生組長井上清三郎(印)→	冊子	塵芥容器他廃棄物に関する布告
T8-23	〔町名札〕	—	—	木札	木札に「当番山伏山町」の紙を貼付
T8-24	夜警費集簿	明治28年9月改書	山伏山町→	冊子	28名分、明治30年1月より5錢ずつ
T8-25	夜警費集メ金収入簿	明治24年9月14日	山伏山町→	冊子	明治33年迄の収入細目
T8-26	課出簿	明治19年末7月	—	冊子	明治20年迄の町人個別の諸税一括支払、町費の月別書上
T8-27	証券	明治13年11月11日	六角堂頂法寺住職池坊専正(印)・呉羽講中(印)→山伏山御町中伍組平田平七殿	一紙	六角堂の聖徳太子像再建に寄付。27～33封筒一括
T8-28	記	—	加藤雄善→山伏山町御中	罫紙	金50錢受取
T8-29	点灯料課出簿	明治10年1月	下三校役場→山伏山町	切紙	明治12年迄の各月支払額に柴田の印
T8-30	〔別封下賜通知〕	明治10年3月30日	京都府→山伏山町	一紙	鉄道開業式の停車場・外国公使旅館装設に物品用立の謝礼
T8-31	学校建築月地家券	明治10年3月	—	冊子	20ヶ月分の金銭徴収記録
T8-32	〔代金請求書綴〕	—	—	綴	油・唐物・木材等の購入記録
T8-33	〔地方税等受取〕	明治12年12月14日	戸長役場(印)→山伏山町総代山本定光殿	綴	明治11年～14年、地方営業税・講銀・八坂神社楼門建営有志金等
T8-34	〔御達回覧名前書上〕	(明治)28年10月10日	右町総代藤井・衛生組長中村→	冊子	「祭典区域内各戸衛生上ノ注意要件」、食品要加熱、祭礼渡御の生水提供禁止等
T8-35	〔鳶札〕	—	—	木札	表書「鳶」「下京三番組」の烙印、裏書「下三番組」、紐
T8-36	〔学校講釈聴聞札〕	—	—	木札	表書「聴聞」、毎月4日午半刻から学校講釈に出費。紐
T8-37	〔干支紙札〕	—	—	一紙	鬺札カ、午・巳の字。直径約6cmの8角形紙札23点。こより一括。
T8-38	富山市大火義捐金募集趣意書	—	発起人石川舜台・池田芳松・林幹他21名・賛助員飯田新七・濱岡光哲・堀五郎兵衛他22名・8社→	冊子	富山大火(明治31年8月12日)に対する義援金・京都新聞・日出新聞賛助
T8-39	積立講集メ帳	明治27年3月	山伏山町→	冊子	25名分

山伏山町文書目録

T8-40	〔会所夜勤番割〕	—	会所定席平田平七→	罫紙	24 日終夜勤番 6 名
T8-41	記	10 年 10 月 2 日	下三校会議所 (印) →山伏山町	罫紙	黒武ツ枕・平皿等受取 2 枚
T8-42	死去御届	明治 10 年 9 月 13 日	戸主中西てい (印) →京都府知事 榎村正直殿	罫紙	薬種商中西てい甥常太郎リュウマチにて死去、奥書上京第三区毘沙門町医者馬杉定久 (印) ・戸長太田理助 (印)
T8-43	〔請求書綴〕	12 月 15 日	上茂→山伏山町様	綴	石炭・箸・仕出等の請求書 7 点
T8-44	入校願	明治 10 年 10 月 8 日	山伏山町五百五拾八番邸右親上田敬直 (印) →下京三区小学校御中	罫紙	上田ぬい転居により上京 28 区小学校より転入
T8-45	〔人別帳〕	明治 7 年 4 月 20 日	—	冊子	子〜巳組に組分、雇人も記載、総計 108 人。J-85
T8-46-1	覚	—	山伏山町年寄佐兵衛→	一紙	戸籍加入届
T8-46-2	人別一札	明治 3 年 4 月	嶋屋武兵衛→御年寄佐兵衛	一紙	戸籍
T8-47	〔布告写〕	10 月 14 日	—	冊子	諸侯供廻り召連れ往来等、下宿届雛形
T8-48	送籍頼書	明治 7 年 9 月	山伏山町世話人倉富みね・親類惣代村上五兵衛・五軒頭小田七右衛門・伍頭中西久右衛門→葛野郡第壱区八条村戸長・組頭御中	冊子	藤原利三郎弟末吉雇入
T8-49	〔御布告調印用紙〕	—	—	一紙	引出 8-1 の書式
T8-50	〔帯封〕	—	—	帯封	「明治二巳十月近江屋藤二郎死後譲り」「文久貳年戌閏八月廿四日近江屋佐兵衛死後はりう佐七ちか并町中へ売請買請寺請状共」他、計 3 点
T8-51	〔手札〕	—	—	一紙	退役百足屋町林勘兵衛、跡役伍頭惣代七里亀治郎
① 1	〔御札包紙〕	—	城南離宮社事真幡寸神社→熊谷佐兵衛様		天井①-2〜4 の全体包紙。作成者は朱角印にて表記
① 2-1	御祈祷之札	—	成就院清水寺→		札は「(梵字) 奉観誦千手千眼悲延寿陀羅尼」1 枚、朱字「(梵字) 音羽山千手千眼守護所」1 枚、清水寺千手観音と脇侍の三尊の絵像 1 枚
① 2-2	御祈祷之札	—	成就院清水寺→		中身は天井①-2-1 と同様。「大般若宝牘 天龍僧堂」札附属
① 3	御祈祷御札	—	男山八幡宮→		「八幡三所大前 邦家安全祭政一致 / 五穀豊穰万民娛樂」札
① 4	御札	—	真幡寸神社→		帯封「御札」内に、包紙「城南離宮皇神御祈祷御札 祠官」の中に「城南離宮皇神守護所」札。「城南離宮御箸」(水引付)。水引一括
② 1	御札	—	真幡寸神社→		全体帯封「御札」内に「真幡寸神社御箸」(水引付)、札包紙「真幡寸神社御祈祷御札 祠官」、この中に「真幡寸神社守護所」札 5 枚水引一括